

令和六年度
病院年報

伊東市民病院

伊東市民病院 2024 年度年報 巻頭言

関係者の皆様のご尽力により 2024 年度の年報が編集・出来上がりました。2023 年度になりコロナ禍はほぼ終息し、その扱いも 2 類感染症から 5 類感染症へ変更されました。コロナ禍が過去のものとなり、病院も世の中も新たな第一歩を踏み出す年になりました。そんな中、都会を離れた地方においては、少子高齢化、人口減少が顕著で、更に医師、看護師、薬剤師を中心に医療資源の確保に困窮する状況が日本中で大きな問題となっています。当院においても看護師の離職を補うに新採用は過去になく少なく、4 月には看護師不足が影響して一病棟を一時閉鎖する形での出発となりました。地域医療を支える病院運営という意味では、大変な逆風にさらされた 2024 年度だったと振り返らざるを得ません。

限られた医療資源の中で如何に合理的、効率的に地域医療を継続するかについて、職員みんなて議論を戦わせて、知恵を振り絞った一年です。当院において掲げる 3 つミッションのうち、急性期診療の根幹となる救急医療においては、本年も救急搬送受入れは応需率 100% を継続しており、救急搬送受入れは 4500 件になりました。地域包括医療との関りについては、医療連携室、認知症疾患医療センターを中心に、これまで以上に地域における医療・介護・福祉・行政の連携が計られていると実感されます。若い医療人の教育、育成についても研修センターにおいて、初期研修医が 8 名フルマッチで採用されています。地方の中小病院としては大変な実績だと振り返られます。改めて職員の皆様の奮闘に心より感謝申し上げます。

2024 年度年報の御挨拶を執筆している 2025 年現在、本年報中にはコロナ禍を乗り越えて、新たな一歩を踏み出した中での診療内容を実績として見てとることができます。そして中身を振り返りながら、逆風に負けず、伊東・伊豆の地域医療を守るために更に頑張ろうと勇気づけられています。この場をお借りして、一年間御指導・御協力をいただいた医師会、他施設、関係者の皆様に深謝申し上げます。そしてお忙しい中を年報の発刊に漕ぎつけていただいた編集委員の皆様にも心より敬意を表したいと思います。

2025 年 12 月

伊東市民病院管理者 川合耕治

目次

I. 概要、沿革	1
II. 現況と実績、業績等	
1. 診療部	
(1) 死亡統計、剖検とCPC	5
(2) 救急診療の現状	9
(3) 内科	13
リウマチ	16
(4) 消化器内科	17
(5) 循環器内科	18
(6) 小児科	20
(7) 外科	22
(8) 整形外科	27
(9) 脳神経外科	29
(10) 泌尿器科	30
(11) 産婦人科	31
(12) 耳鼻咽喉科	33
(13) 眼科	35
(14) 形成外科	36
(15) 皮膚科	37
(16) 麻酔科	38
(17) 放射線科	39
(18) 心療内科	40
(19) 総合診療科	41
2. 臨床研修センター・シミュレーションセンター	
(1) 臨床研修センター	43
(2) シミュレーションセンター	51
3. 医療技術部	
(1) 薬剤室	55
(2) 放射線室	61
(3) 臨床検査室	65
(4) 栄養室	70
(5) リハビリテーション室	73
(6) 臨床工学室	89

4. 看護部	82
5. 事務部	
(1) 総務課	98
(2) 医事課	99
(3) 診療支援課	100
6. 医療安全管理室	101
7. 感染対策室	106
8. 診療情報管理室	108
9. 入退院支援室	109
10. 医療福祉相談室	111
11. ドック・健診センター	113
12. 認知症疾患医療センター	115
13. 医事統計	
(1) 入院患者数	119
(2) 外来患者数	122
(3) 救急患者、手術・主要検査件数	128
(4) 紹介・逆紹介件数	131
(5) 地域別患者数・分娩件数	136
14. その他	
(1) 指定・認定、土地、建物、設備等	137
(2) 施設基準一覧	137
(3) 主要医療機器一覧	139
(4) 組織図	146
(5) 職員の状況	147
 巻末資料	
(1) 合同ケースカンファレンス	148
(2) 院内研究発表会	149

I 概要、沿革

【名 称】

公益社団法人地域医療振興協会 伊東市民病院

【所在地】

〒414-0055 静岡県伊東市岡196番地の1

【経営形態】

開設者 伊東市

運営者 公益社団法人地域医療振興協会

指定管理者として管理する施設

伊東市が設置する地方自治法 244 条の規定に基づく住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設（公の施設）。伊東市は、伊東市病院事業の設置等に関する条例（平成 12 年条例第 35 号）第 9 条の第 1 項の規定により当協会を指定管理者として指定し、当協会に管理運営をさせている。当協会は、設置者との間で管理運営協議会を設け、管理運営等について協議することとしている。

【環境等】

伊豆半島の東玄関口、国際観光温泉文化都市として発展している伊東市（人口約 6.4 万人）の中心地より、西方 1.5 km の豊富な温泉に恵まれた温泉地区の高台に位置しており、東に温泉繁華街を隔て相模湾に浮かぶ初島や、三浦・房総の両半島を眺め、南は小室山から大室山へと広がる伊豆高原、西に遠笠山から連なる天城の山々を一望に眺め、四季を通じ温暖な海洋性気候と共に、医療環境としての立地条件に恵まれている。

【交 通】

J R 伊東線伊東駅下車、東海バスにて 10 分（2.5 km）

私鉄伊豆急行線南伊東駅下車北西へ徒歩 10 分

【二次保健医療圏の状況】

伊東市の二次保健医療圏は、熱海・伊東保健医療圏であり、構成市は熱海市及び伊東市である。人口は伊東市 63 千人、熱海市 31 千人である。主な病院の設置状況は以下のとおりである。

伊東市

伊東市民病院	一般	250 床
--------	----	-------

熱海市

国際医療福祉大学附属熱海病院	一般	234 床
	療養	31 床
	感染症	4 床
熱海所記念病院	一般	144 床
熱海ちとせ病院	療養	89 床
南熱海病院	療養	89 床
熱海海の見える病院	一般	76 床
	療養	36 床

【病院の特徴】

当院は、伊東市はもとより伊豆半島東部の地域医療を担う急性期中核病院として機能しています。

- ・ 24時間365日の救急医療体制を提供している。
- ・ 急性期入院医療を提供している。
- ・ 周産期医療を提供している。
- ・ 回復期リハビリテーション病棟を有し、回復期医療を提供している。
- ・ へき地診療所等への診療支援を行っている。
- ・ 臨床機能病院であり、研修医の育成・教育を行っている。
- ・ 地域医療研修センターとして、地域医療指向型卒後医師臨床研修プログラムを提供している。
- ・ 県指定の災害拠点病院であり、DMAT(災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム)を配備している。
- ・ 高度医療機器(CT・MRI)を所有しており、共同利用を積極的に推進している。
- ・ 認知症疾患医療センターとして、地域における認知症対策に取り組んでいる。

【規模】

許可病床数 250 床

(内訳) 一般病床 194 床

回復期リハビリテーション病床 42 床

HCU 14 床

診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、心療内科、
小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科
計 19 診療科

【沿革】

昭和14年12月	2日	傷痍軍人伊東温泉療養所として創設
昭和20年12月	1日	国立伊東温泉療養所として発足
昭和25年	4月 1日	国立病院に転換し、国立伊東温泉病院となる
平成13年	1月31日	MRI・ANGIO装置導入
平成13年	2月26日	手術室・中央材料室増設及び改修工事竣工
平成13年	3月 1日	伊東市に経営移譲 市立伊東市民病院として開院
平成13年	3月20日	マルチスライスCT装置導入
平成15年	9月26日	多項目自動血球分析装置導入
	〃	緊急マルチ自動分析装置導入
平成16年10月	25日	全自動化学発光酸素免疫測定システム装置導入
平成17年10月	24日	血管内超音波診断装置導入
平成19年	6月 8日	外来治療室新設及び内視鏡室移設工事竣工
平成19年12月	4日	マルチスライスCT装置更新
平成20年	9月16日	電子カルテシステム導入
平成20年11月	17日	病院機能評価 Ver.5.0 認定
平成21年	4月 1日	生活習慣病予防健診事業開始
平成21年	7月 1日	DPC対象病院 認定
平成21年11月	11日	人間ドック事業開始
平成22年	7月 1日	皮膚科標榜
平成24年	4月 1日	泌尿器科標榜
平成24年	9月 1日	消化器内科標榜
平成25年	3月 1日	新病院移転
	〃	伊東市民病院に名称変更
	〃	循環器内科標榜
平成25年10月	1日	ハイケアユニット病棟開棟
	〃	回復期リハビリテーション病棟開棟
平成25年10月	1日	災害拠点病院認定
平成25年10月	1日	看護師宿舎竣工
平成27年	2月 1日	救急科標榜
平成29年	1月 1日	形成外科標榜
平成29年	2月 1日	認知症疾患医療センター認定
平成30年10月	1日	地域医療支援病院認定
平成30年11月	1日	病院機能評価 3rdG : Ver. 2.0 認定
令和 2年	7月 1日	新型コロナウイルス重点医療機関 認定
令和 6年10月	4日	病院機能評価 3rdG : Ver. 3.0 認定

伊東市民病院令和 6 年度死亡統計、剖検と CPC

令和 6 年度の死亡統計を死亡診断書より集計いたしました。直接死因の診断名は死亡診断書の診断名とカルテ内容を再検討して集計しました。

年齢別・性別集計を入院・外来別に表 1. に集計いたしました。死亡件数は女性が 35 歳から 104 歳まで 180 件、男性が 34 歳から 103 歳まで 260 件、全 440 件でした。

居住地別では(表 2. 平成 31・令和元年度死亡統計 地区別集計)、伊東市内が 384、東伊豆町 21、熱海市 2、河津町、下田市、南伊豆町、松崎市が各 1、他 29 であります。

月別死亡数を入院と外来に分けて表 3. 令和 6 年度院内死亡統計 月別集計に示しました。入院死亡件数が 278 件、外来死亡件数が 162 件でした。

担当科別にみますと (表 4. 令和 6 年度院内死亡統計 診療科別集計)、内科が 254、救急科 28、総合診療科 24、外科 14、循環器内科 8、整形外科 5、消化器内科 4、脳外科 1、耳鼻科 1、形成外科 1、の順となっております。

直接死因の診断名を一表 5. 令和 6 年度院内死亡統計 直接死因一に示しました。死亡原因は例年通り悪性腫瘍、肺炎が多く以下、原因不明の死 (CPA/救急搬送例で外来死)、老衰、心不全、急性心筋梗塞、敗血症、脳梗塞、COVID-19 感染の順でした。

悪性腫瘍 95 件についてその詳細を一表 6. 令和 6 年度 CPC 一院内死亡統計 悪性腫瘍による死亡一に示しました。肺癌、膵癌、胃癌、大腸癌、肝癌、胆管癌、他の順です。剖検数は 7 件でした。

一表 8. 令和 6 年度 CPC 一に示しましたように 6 回の CPC を開催し、6 例の剖検例について検討いたしました。今年度も院内職員に止まらず医師会、関連病院の先生方にも参加していただき、症例の検証について活発な議論がなされました。

令和 6 年 11 月 25 日には第 100 回 CPC が開催されました。これまでの関係者の皆様で集合して、簡単ですが記念式典を併せて施行させていただきました。検体を賜った患者様、ご家族様に心より、ご冥福とお悔やみを申し上げます。

表1.令和6年度死亡統計 年齢・性別集計

年齢	男	女	合計
0 - 19	0	0	0
20 - 29	0	0	0
30 - 39	1	1	2
40 - 49	1	2	3
50 - 59	6	5	11
60 - 69	19	6	25
70 - 79	55	33	88
80 - 89	98	73	171
90 - 99	71	56	127
100 -	9	4	13
計	260	180	440

表2.令和6年度死亡統計 地区別集計

	伊東市	東伊豆町	河津町	下田市	南伊豆町	松崎町	熱海市	他	計
男	230	11	1	1	0	0	1	16	260
女	154	10	0	0	1	1	1	13	180
計	384	21	1	1	1	1	2	29	440

表3.令和6年度死亡統計 月別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	17	19	14	12	22	21	26	26	25	46	28	22	278
外来	8	16	17	14	14	7	7	14	11	28	16	10	162
計	25	35	31	26	36	28	33	40	36	74	44	32	440

表4.令和6年度死亡統計 診療科別集計

	内科	外科	救急科	整形外科	総診科	循環内科	形成外科	脳外科	耳鼻科	消内科
男	205	11	21	2	14	4	1	1	0	1
女	149	3	7	3	10	4	0	0	1	3
計	354	14	28	5	24	8	1	1	1	4

表5.令和6年度死亡統計 直接死因

診断名	ICD	男	女	合計
悪性腫瘍	C80	60	35	95
肺炎	J189	52	27	79
原因不明の死亡	R99	24	13	37
老衰	R54	20	11	31
うっ血性心不全	I500	10	15	25
急性心筋梗塞	I219	12	9	21
敗血症性ショック	A419	11	4	15
脳梗塞	I639	3	9	12
COVID-19	U071	7	4	11
溺水	T751	8	2	10
急性大動脈解離StanfordA	I710	3	6	9
間質性肺炎	J849	4	3	7
腎不全	N19	2	4	6
非閉塞性腸間膜虚血	K550	1	4	5
くも膜下出血	I609	2	2	4
胸部大動脈瘤破裂	I711	0	4	4
膿胸	J869	4	0	4
窒息	R090	2	2	4
肝硬変症	K746	2	2	4
自殺	X70	3	1	4
脳挫傷	S062	3	1	4
腹部大動脈瘤破裂	I713	2	1	3
脳出血	I619	2	1	3
骨髄異形成症候群	D469	2	0	2
低ナトリウム血症	E871	1	1	2
心室細動	I490	1	1	2
慢性閉塞性肺疾患	J449	1	1	2
尿路感染症	N390	1	1	2
急性硬膜下血腫	S065	1	1	2
菌血症	A499	1	0	1
日本紅斑熱	A778a	1	0	1
肝腫瘍	D376	1	0	1
胸膜腫瘍	D382	0	1	1
粘液水腫性昏睡	E035	0	1	1
神経性食欲不振症	F500	0	1	1
細菌性髄膜炎	G009	1	0	1
パーキンソン病	G20	0	1	1
てんかん重積状態	G419	1	0	1
僧帽弁閉鎖不全症	I340	0	1	1
特発性拡張型心筋症	I420	1	0	1
肥大型心筋症の疑い	I422	1	0	1
心臓急死(疑い)	I461	0	1	1
来院時心肺停止	I469	1	0	1
インフルエンザ	J111	0	1	1
呼吸不全	J9699	1	0	1
気道閉塞	J988	1	0	1
S状結腸穿孔	K631	0	1	1
急性腹膜炎	K650	0	1	1
細菌性腹膜炎	K658	0	1	1
肝不全	K729	1	0	1
肝膿瘍	K750	1	0	1
壊疽性胆嚢炎	K810	1	0	1
上部消化管出血	K922	0	1	1
褥瘡	L893	0	1	1

壊死性筋膜炎	M7269	0	1	1
急性腎盂腎炎	N10	1	0	1
徐脈性不整脈	R001	1	0	1
CO2ナルコーシス	R068	0	1	1
出血性ショック	R571	0	1	1
腐蝕性物質の毒作用	T549	1	0	1
計		260	180	440

表6.令和6年度院内死亡統計 悪性腫瘍による死亡

診断名	ICD-10	男	女	計
肺癌	C349	12	7	19
膀胱癌	C259	10	6	16
胃癌	C169	12	3	15
大腸癌	C189	7	5	12
肝癌	C220	5	1	6
胆管癌	C240	4	2	6
乳癌	C509	0	4	4
子宮癌	C55	0	2	2
悪性リンパ腫	C859	1	1	2
歯肉癌	C039	0	1	1
胸部食道癌	C151	1	0	1
肝内胆管癌	C221	1	0	1
胆のう癌	C23	0	1	1
喉頭癌	C329	1	0	1
悪性胸膜中皮腫	C450	1	0	1
外陰癌	C519	0	1	1
前立腺癌	C61	1	0	1
腎癌	C64	1	0	1
原発不明癌	C800	0	1	1
濾胞性リンパ腫	C829	1	0	1
節外性NK-T細胞性リンパ腫	C860	1	0	1
慢性骨髄性白血病	C921	1	0	1
計		60	35	95

(2) 救急診療の現状

伊東市民病院救急診療部門の令和6年度の診療状況等について紹介します。平日診療時間内は救急科医師1名と初期研修医1～2名が初療を行っています。時間外は内科医師1名、外科系医師1名、産婦人科医師1名が常駐し、各科がオンコール体制で対応しています。伊東市では唯一の総合病院であり令和6年度の救急車応需率は99.5%でした。

令和6年度の総受診者数は6888人(1日平均18.9人)、入院患者数は1691人(1日平均4.6人)、救急車受入は4435件(1日平均12.2件)、来院時心肺停止患者数は130人(月平均10.8人)でした。空床状況や診療体制を理由として、やむを得ず転院しなければならなかったのは229人(月平均19.1人)でした。

表1. 令和6年度 救急診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	115	105	96	125	120	110	120	123	139	159	105	109	1,426
時間外	408	418	440	443	510	417	419	387	582	600	415	423	5,462
計	523	523	536	568	630	527	539	510	721	759	520	532	6,888

表2. 令和6年度 救急診療 入院件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	41	42	43	52	44	54	53	38	68	48	40	37	560
時間外	98	95	94	85	86	92	104	89	131	103	75	79	1,131
計	139	137	137	137	130	146	157	127	199	151	115	116	1,691

表3. 令和6年度 救急診療 救急車搬送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	115	105	96	125	120	110	120	123	139	159	105	109	1,426
時間外	231	234	211	234	285	220	220	227	319	335	252	241	3,009
計	346	339	307	359	405	330	340	350	458	494	357	350	4,435

表4-1. 令和6年度 救急診療 時間内・科別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	72	68	66	97	91	83	87	86	96	118	71	80	1,015
小児科	3	2	0	4	4	3	0	1	3	4	1	1	26
外科	5	6	2	6	9	7	9	2	3	6	3	1	59
整形外科	25	26	24	15	14	12	18	28	30	20	21	22	255
脳神経外科	9	1	3	3	2	5	6	5	6	9	8	5	62
産婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
救急科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	115	105	96	125	120	110	120	123	139	159	105	109	1,426
うち入院	41	42	43	52	44	54	53	38	68	48	40	37	560
	35.7%	40.0%	44.8%	41.6%	36.7%	49.1%	44.2%	30.9%	48.9%	30.2%	38.1%	33.9%	39.3%

表4-2. 令和6年度 救急診療 時間外・科別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	248	249	296	295	345	293	275	260	412	452	273	264	3,662
小児科	31	27	27	30	27	13	26	12	24	30	31	31	309
外科	30	44	32	33	32	32	32	29	34	26	24	29	377
整形外科	64	59	61	56	59	50	65	58	70	69	56	72	739
脳神経外科	26	36	21	18	34	19	18	22	30	21	24	21	290
産婦人科	4	1	1	8	5	4	1	2	3	1	0	2	32
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
耳鼻咽喉科	4	2	1	1	5	3	2	3	7	1	3	2	34
泌尿器科	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	5
皮膚科	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	5
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	2	7
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	408	418	440	443	510	417	419	387	582	600	415	423	5,462
うち入院	98	95	94	85	86	92	104	89	131	103	75	79	1,131
	24.0%	22.7%	21.4%	19.2%	16.9%	22.1%	24.8%	23.0%	22.5%	17.2%	18.1%	18.7%	20.7%

表5. 令和6年度救急診療 他院への転送例

病名	ICD10	男性	女性	総数
急性心筋梗塞/急性冠症候群	I219	25	15	40
四肢骨折/外傷	T1420	12	9	21
脳梗塞	I639	11	7	18
急性胸/腹大動脈解離	I710	9	7	16
心不全	I509	8	3	11
イレウス	K56	3	6	9
脳出血	I619	3	5	8
消化管穿孔	K57	5	2	7
急性硬膜下・外血腫	S0640	6	1	7
くも膜下出血	I609	3	3	6
肺動脈血栓症	I269	4	1	5
肺炎	J189	3	2	5
腎不全	N19	1	4	5
尿路感染症	N390	3	2	5
致死性不整脈/ブロック	I49	0	5	5
外傷性くも膜下出血	S0660	4	0	4
閉鎖性内臓損傷	S36	4	0	4
敗血症性ショック	A419	1	1	2
卵巣腫瘍捻転	D27	0	2	2
低血糖	E162	2	0	2
脱水症	E86	2	0	2
腹腔動脈解離	I72	2	0	2
胃穿孔	K255	1	1	2
ヘルニア嵌頓	K45	0	2	2
急性胆嚢炎	K810	2	0	2
消化管出血	K922	1	1	2
頸部痛/腰痛	M54	0	2	2
急性腎盂腎炎	N10	1	1	2
痙攣重積発作	R568	1	1	2
急性循環不全	R579	2	0	2
骨盤骨折	S3280	0	2	2
急性薬物中毒	T509	0	2	2
Malgリンパ腫	C859	0	1	1
骨盤腫瘍	D487	0	1	1
溶血性貧血	D589	0	1	1
糖尿病性ケトアシドーシス	E111	1	0	1
高ナトリウム血症	E870	0	1	1
パニック発作	F410	0	1	1
心外膜炎	I319	0	1	1
蘇生に成功した心停止	I460	1	0	1
インフルエンザ	J111	0	1	1
扁桃膿瘍	J36	1	0	1
肺うっ血	J81	1	0	1
呼吸不全	J969	0	1	1
維持療法の必要な難治性逆流性食道炎	K210	1	0	1
睪炎	K85	1	0	1
精巣捻転症	N44	1	0	1
不正性器出血	N939	0	1	1
異所性妊娠	O009	0	1	1
弛緩出血	O721	0	1	1
出血性ショック	R571	0	1	1
頸髄損傷	S141	1	0	1
外傷性外陰血腫	S302	0	1	1
気管異物	T174	1	0	1
気道熱傷	T273	1	0	1
計				229

内科 令和6年度

【診療担当者】

◇常勤医師（カッコ内は主な専門、担当分野、または診療期間）

小野田圭佑（内科、消化器内科）
川合耕治（消化器内科、内科）
築地治久（内科、神経内科、認知症）
藤井幹久（循環器）
飯笹泰蔵（リウマチ・膠原病）
庄司亮（内科、消化器内科）
松田浩直（内科）
田中まゆみ（総合診療）

◇非常勤医師

諸井泰興（リウマチ・膠原病）
宇佐美潤一（国際医療福祉大学熱海病院 糖尿病）
夏山卓（精神科、認知症）
横山健（横山医院、腎臓内科）
和田英樹（順天堂大学医学部附属静岡病院 循環器内科）
三澤恭平（順天堂大学医学部附属静岡病院 血液内科）
秋本知則（内科）

◇当院専攻医

佐藤駿一、宮川直人（4月～9月）
岡田暁生（4月～3月）
浅野晃輔（10月～3月）

◇東京ベイ・浦安市川医療センター所属の専門科・総合内科専攻医（支援・研修）

中塚無我、萩原彩（4月～6月）
北島慎太郎、越智航、難波範太（7月～9月）
遠藤卓也、加藤勇冴、勝木幹太（10月～12月）
平本琢也、高嶋啓介、山本智也（1月～3月）

◇練馬光が丘病院所属専攻医（支援）

小瀬村鴻平（4月～6月）

◇東海大学医学部附属病院所属専攻医
杉崎豪（4月～3月）

◇特定ケア看護師
小川法之、進士勇介

【診療責任者】

小野田圭佑

【外来患者数】

延人数 29,554 人/年
1日平均 121.7 人/日

【入院患者数】

入院人数 34,473 人/年
1日平均 94.5 人
平均在院日数 17.8 日

【DPC からみた主要入院疾患】

1. 肺炎等	228 件
2. 腎臓又は尿路の感染症	113 件
3. 脳梗塞	91 件
4. 胆管（肝内外）結石、胆管炎	86 件
5. その他の感染症（真菌を除く）	85 件
6. 誤嚥性肺炎	79 件
7. 小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）	54 件
8. ヘルニアの記載のない腸閉塞	49 件
9. 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄 （穿孔を伴わないもの）	48 件
10. 膵臓、脾臓の腫瘍	42 件
11. 頻脈性不整脈	41 件
12. 弁膜症（連合弁膜症を含む）	28 件
13. 胃の悪性腫瘍	27 件
14. 敗血症	27 件
15. 胃の悪性腫瘍	27 件
16. 穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	25 件

17. 急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）	24 件
18. 間質性肺炎	23 件
19. 高血圧性疾患	23 件
20. 慢性閉塞性肺疾患	23 件

リウマチ

当院は、静岡リウマチネットワークの一角として指定されています。このホームページで、関節リウマチ、膠原病を診療できる病院として紹介されています。

【診療担当者】

飯笹泰藏 (常勤、診療責任者)
諸井泰興 (非常勤、元国立伊東温泉病院院長)

【診療患者】

関節リウマチ 350例
全身性エリテマトーデス 7例
強皮症 4例
多発性筋炎、皮膚筋炎 3例
リウマチ性多発筋痛症 5例
結節性多発動脈周囲炎 3例
顕微鏡的多発血管炎 2例
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 2例
側頭動脈炎 1例
ベーチェット病 3例
混合性結合組織病 2例
シェーグレン症候群 4例
成人スチル病 4例
再発性多発軟骨炎 1例
乾癬性関節炎 2例

消化器内科

1. 消化器内科スタッフ（令和7年3月現在）

以下に令和6年度消化器内科担当医を紹介します。

常勤医 ■ 診療責任者

■ 川合 耕治

□ 小野田 圭祐

□ 庄司 亮

2. 診療実績

令和6年度の実績を内視鏡診療について報告します（都合上、一部令和6年1月1日から同12月31日で集計しています）。消化管・肝胆膵に関わる診療は以上3人が中心となりました。消化器疾患を有する患者さんの受け持ち医については必ずしも3人のみでなく、内科医全員で担当しております。

内視鏡件数は上部消化管内視鏡件数 2482（うち健診 1437）、下部消化管内視鏡件数 1072（うち健診 19）、ERCP(Endoscopic Retrograde Cholangio-Pancreatography)192、EUS(Endoscopic UltraSonography)8、小腸内視鏡検査（小腸内視鏡を使用したERCP含む）15でした。治療についてみるとESD(Endoscopic Submucosal Dissection)件数は食道1、胃17、大腸9でした。EMR(Endoscopic Mucosal Resection)件数は食道0、胃4、十二指腸3、大腸349でした。切除した癌については食道0、胃12、十二指腸0、大腸29でした。ステント留置件数(EMS)は食道1、胃・十二指腸5、大腸25でした。胆管ドレナージ(ERBD)件数は100でした。止血術についてみると上部で37件、下部で3件でした。EVL(Endoscopic Variceal Ligation)件数は3、EIS(Endoscopic Injection Sclerotherapy)件数は1でした。

内視鏡検査	総数	ESD	EMR	切除癌	EMS	ERBD	止血	EVL	EIS
上部									
食道		1	0	1	1			3	1
胃	2575	17	4	12	5		37		
十二指腸			3	0	0				
小腸	4								
下部	1105	9	349	29	25		3		
ERCP	192				8	92			
EUS	8								

他、腹部血管塞栓術6件、肝生検4件、インターフェロンフリー療法を4件実施しています。

内科（循環器内科）

1、 担当医

（1） 藤井 幹久

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション学会認定医

日本内科学会認定医

（2） 非常勤医師 和田英樹（毎週水）

富永新平（第1金）片山卓志（第2金）、古川亜美（第3金）

濱畑安梨沙/菅原由宇太/辻武志（第4金） 亀谷良介（第5金）

2、 入院患者数 年間サマリー数で 藤井担当 36件 コンサルト併診症例 118件

外来患者数 一日平均 藤井初再診 31 再診 73、和田 42人

年間の紹介患者の初診 394人で、藤井 186、和田 151（順天から 98）人

3、 診療内容

今年度も、循環器内科の常勤医は、藤井ひとりであったため、心カテは施行せずに、外来診療中心の診療となった。循環器内科宛の紹介状は、394件と多く、その多くを、藤井と和田先生で対応した。尚、金曜日の循環器内科外来とペースメーカー外来の支援には、辻先生・片山先生・亀谷先生・富永先生・古川先生・に月一回来て頂いている。

ACS患者さんは、そのほとんどが救急の現場から直接順天堂大学静岡病院（順天）に搬送されていますが、心不全患者さんでトロポニIが上昇しているだけで搬送になっても、ACSではない症例は送り返されており、順天さんとより密接な関係が保たれています。順天さんでPCIされた症例のほとんどが、水曜日の和田先生外来でフォローされている。ここでは胸痛/狭心症疑いで紹介して頂いた患者さんの実態を、冠動脈CT施行患者さんから検討した結果を述べる。45件のうち、狭心症疑いで順天に16件CAG目的で紹介され、うち11症例にPCI（ステント留置）、2件にCABG施行されました。狭心症の否定は25件で、9件はPVCや発作性心房細動が原因でした。冠攣縮性狭心症として加療されたのは2例。CHF入院中にIHD否定目的で施行されたのが7例で、たこつぼ心筋症 1例、心サルコイドーシス 5例であった。

心エコー専門技師によるオフィシャル心エコーは、今年度も1749件と多数施行され、循環器内科診療レベルに絶大なる貢献をしてもらっている。

一昨年前から、順天さんと岡村記念病院さんと静岡医療センターの3施設で、TAVIが施

行されるようになったので、一昨年3月の時点で生存していた Vmax4m/sec 以上の重症 AS の 28 例と、昨年3月からの新規患者さん 11 例の経過をフォローしたところ、平均年齢 91 歳（女性 8 割）で、順天で TAVI を 5 例、県総で 1 例施行して頂いていた。全く無症状でフォローのみが 10 例、TAVI 適応ありながら拒否症例や、高齢で認知症症状や合併症多く TAVI 適応なしのフォロー症例の 11 例の内、4 例が心不全増悪で、肺炎で少なくとも 3 例が亡くなっていた。今回、HOCM 化して亡くなった症例を経験した。毎年フォローしていると、重症 AS の場合、急に心不全を起こし TAVI 適応になる症例があるので、無症状の症例の定期的なフォローが大切と思われた。

入院患者さん 118 名の内、20 名が亡くなったが、心不全の増悪が 10 例、肺炎 5 例、末期腎不全・肝不全・敗血症が各 1 例であった。

今年度の循環器疾患の状態を、心エコー症例から拾ってみた。相変わらず、慢性心房細動からの慢性心不全症例が断トツで多かったが、その他の原因として、DCM 様の左室機能不全患者さんの多く（61 例）が、心サルコイドーシスであった。他院で心筋炎後としてフォローされていた小生の知り合いの症例が、当院の心エコーで典型的な心サルコイドーシス症であり、急性期での診断の困難さを痛感した。心アミロイドーシス症疑いは 11 例いたが、その症例の多くが超高齢者で認知症症状があり、精査のために 3 次医療機関に紹介する対象ではなかった。肺高血圧症例は難病指定でフォローして 3 例以外にも 10 例いるのだが、多くは高齢で認知症や腎障害が強く、PH の新規の薬の導入をするための右心カテの施行をためらわざるをえない症例であった。HOCM 症例も骨折後の出血による一過性のものや、そうでない重症の症例がのべ 44 例みられた。その他、最近の新規の治療法としての M 弁クリップ症例や、COVID-19 症例が 3 例いて、そのうち 1 例がコロナ心筋炎疑い症例であった。珍しい症例としては、重複 M 弁口（DOMV）や三心房心が見られた。

ペースメーカーの電池交換 5 例を辻先生にして頂いた。

最後に、伊東以南に循環器内科専門医の常勤医が小生しかおらず、近隣の循環器施設から通えなくなったとフォロー依頼が絶えず、専門外来が相変わらず飽和状態である。

4 研究実績など

なし

令和6年度 小児科

【診療担当者】

荒川 洋一（常勤）

鈴木 徹也（非常勤）

【診療責任者】 荒川 洋一

【外来延べ患者数】 (R5) (R6)

年間延べ患者数： 1407 例 1465 例

月平均延べ患者数： 117 例 122 例

年間初診患者数： 488 例 453 例

年間紹介患者数： 118 例 115 例

【救急患者数】 (R5) (R6)

年間救急患者数： 378 例 335 例

【外来診療の内容】

感染症、アレルギー疾患(気管支喘息、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、食物アレルギー、花粉症等)、てんかんや神経疾患、重症心身障害児者、発達障害関連疾患、静岡県立こども病院通院患児のフォローアップなど。

【入院患者数(実数)】 (2024年4月～2025年3月)

	患者数	延在院日数	平均在院日数
小児	26	141	5.4
新生児	10	94	5.4
合計	36	235	5.4

【入院患者の内容】

症例(実数) (2024年4月から2025年3月) 入院患者数 36 例
(病名の重複あり)

小児科入院患者 病名 (患者数)

アデノウイルス感染症 2

気管支肺炎 2

気管支喘息 3

hMPV 肺炎 1

薬物過剰摂取 1

MIS-C 1

扁桃周囲膿瘍 1

新生児入院患者 病名 (患者数)

帝王切開児 4

低出生体重児 1

新生児嘔吐	1
低酸素血症	5
無呼吸発作	2
周期性呼吸	1
縦隔気腫	2
新生児呼吸障害	2
菌血症（疑い）	1
(以上)	

外科

【診療担当者】

*令和6年度の外科は常勤医師4名（10月から3名）と外科専門専攻医1名、特定ケア看護師1名の体制で診療をおこないました。

*常勤医師；令和6年3月末現在

- 神谷 紀之 副病院長兼診療部長兼外科部長（H15. 4月～）
日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会専門医
検診マンモグラフィ読影認定医師
乳がん超音波検診実施者
日本乳癌学会所属

- 天池 寿 副病院長兼肝胆膵外科部長（R2. 7月～）
日本外科学会外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医（胃）
日本がん治療機構認定医
（所属学会）
日本肝胆膵外科学会、日本大腸肛門病学会、日本肝臓学会、日本癌治療学会、
日本癌学会

- 城野 晃一 救急科部長兼外科科長（R6. 10月～非常勤医師）
（H23. 1月～R6. 9月）
日本外科学会外科専門医
日本救急医学会救急専門医
検診マンモグラフィ読影認定医師

- 小倉 礼那 医師（H31. 4月～）
日本外科学会外科専門医
検診マンモグラフィ読影認定医師

日本ヘルニア学会 鼠径部ヘルニア修得医
日本乳癌学会所属

□ 政次 恭祐医師 (R 6. 10月～R 7. 3月)
日本専門医機構外科専門専攻医

【診療責任者】

神谷 紀之 副病院長兼診療部長兼外科部長

【外来患者数】

延人数	35.4 人
1 日平均	8,595 人

【外来患者の内容】

- ・ 消化器癌
- ・ 乳癌
- ・ 急性虫垂炎、穿孔性腹膜炎、腸閉塞など消化器救急疾患
- ・ 胆石症など消化器良性疾患
- ・ 痔核・痔瘻などの肛門疾患
- ・ 鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、閉鎖孔ヘルニアなどの各種ヘルニア
- ・ 乳腺症、良性乳腺腫瘍など乳腺疾患
- ・ 外傷（領域により整形外科や脳神経外科、形成外科と連携）
- ・ 体表の炎症・化膿性疾患
- ・ 乳がん検診（2次検診）

【入院患者数（令和6年度）】

総入院患者数	455 人
--------	-------

平均在院日数

すべて	10.5 日
手術あり	10.4 日
手術なし	11.1 日

【入院患者の内容（令和6年度）】

保存的治療（緩和ケアを含む）	132人
化学療法	17人
内視鏡手術（ポリープ切除/EMR/ESD）	7人
検査入院	1人
手術（定時）	263人
手術（緊急）	49人
その他	0人
合計	469人

【手術件数（令和6.4.1～令和7.3.31、および令和4年度、5年度）】

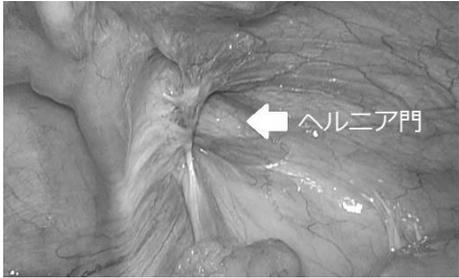
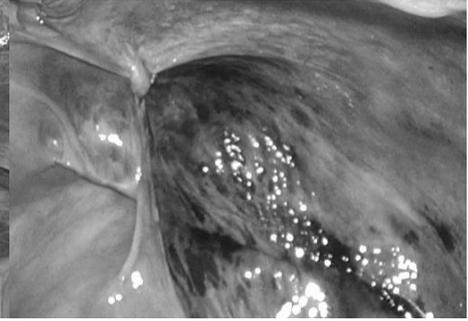
手術診断名	4年度	5年度	6年度
乳癌	22	23	22
乳腺良性疾患	0	1	0
急性虫垂炎（15才未満）	1	1	2
急性虫垂炎（15才以上）	21	16	22
慢性虫垂炎（interval appendectomy）	4	5	4
食道癌	0	0	1
胃癌・胃粘膜下腫瘍（腹腔鏡）	1	3	6
胃癌・胃粘膜下腫瘍（開腹）	8	5	2
結腸癌/直腸癌/結腸ポリープ（腹腔鏡）	25	31	34
結腸癌/直腸癌/結腸ポリープ（開腹）	11	15	6
消化管その他 （良性、バイパス、人工肛門造設/閉鎖など）	20	28	18
経肛門内視鏡手術（TAMIS）	2	1	0
肛門疾患（痔核、痔瘻、肛囲膿瘍、直腸脱）	23	17	17
胆石症・胆嚢炎・胆嚢ポリープ（腹腔鏡）	37	32	37
胆石症・胆嚢炎（開腹）	4	0	1
総胆管結石症	2	1	0
転移性肝癌・原発性肝癌（肝切除術）	4	2	3
胆道癌（膵頭十二指腸切除術）	1	1	0
胆道癌（肝切除）	1	1	0
胆道癌（胆管切除など）	0	1	0
膵癌/膵腫瘍（膵頭十二指腸切除術）	0	1	0
膵癌/膵腫瘍	1	0	0
腸閉塞	13	20	15
穿孔性腹膜炎	15	18	5
成人鼠径ヘルニア（腹腔鏡）	66	75	63

成人鼠径ヘルニア（前方アプローチ）	19	8	17
小児鼠径ヘルニア	1	1	0
その他ヘルニア（閉鎖孔、大腿、腹壁癒痕、臍）	9	12	11
その他ヘルニア（閉鎖孔、大腿、腹壁癒痕、臍） （腹腔鏡）	7	3	3
その他（体表、頭頸部、四肢）	3	1	4
その他（腹部）	0	0	4
下肢静脈瘤（ストリッピング術）	0	0	0
CV ポート植込み術	23	17	15
合計	344	337	312

【鼠径部ヘルニアについて】

鼠径部ヘルニアに対して、鼠径部切開法と2種類の腹腔鏡手術（TAPP、TEP）の3刀流で対応しています。症例に応じて、適切な手術方法を呈示しています。今回は TAPP（transabdominal preperitoneal repair）と TEP（totally extra peritoneal repair）の違いについて解説します。図のように、TAPP は腹腔内から、TEP は腹膜外からのアプローチでヘルニア門に補強材であるメッシュを留置します。

手術名	TAPP 法	TEP 法
アプローチ法	腹腔内	腹膜外（筋肉と筋膜の間）
利点	<ul style="list-style-type: none"> 解剖がわかりやすい。 再発症例や複雑症例でも比較的対応しやすい。 TEP より全国的に普及しており、習熟している外科医が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜損傷をしないので、術後の癒着を起こしにくい。内臓損傷のリスクが低い。 腹腔内の癒着の影響を受けない。 腹膜刺激が少なく、術後疼痛が弱い。
良い適応	<ul style="list-style-type: none"> 大きな外鼠径ヘルニア 再発例、複雑例 	<ul style="list-style-type: none"> 内鼠径ヘルニア 小さな外鼠径ヘルニア 腹腔内の癒着が懸念される症例
イメージ		

手術名	TAPP 法	TEP 法
術前		
完成図		

【業績】

・腹腔鏡下で修復した鼠径部膀胱ヘルニアの一例

小倉礼那、神谷紀之、天池寿、城野晃一]

2024年5月26日 第20回日本ヘルニア学会学術集会（新潟）

・鏡視下手術を適応した成人発症の横隔膜ヘルニアの2症例について

天池寿、小倉礼那

2024年12月5日 第37回日本内視鏡外科学会総会（福岡）

（文責 神谷紀之）

整形外科

【診療担当者】

渡邊安里
平田一博
三原徳明
西原 周
神田章男(非常勤)
間部 毅(非常勤)

退職者

三原徳明

【診療責任者】

渡邊安里

【外来患者数】

延人数 17842 人 一日平均 73.5 人

【外来患者の内容】

変性疾患(変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症)外傷、関節リウマチ 等

【入院患者数】

延入院患者数 18930 人 一日平均 52.0 人

【入院患者の内容】

大腿骨頸部骨折、転子部骨折、脊椎圧迫骨折、骨盤骨折、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折、人工関節置換術(膝、股関節)、関節リウマチ、肩関節疾患

【治療成績】

【手術件数】

385 件

人工股関節全置換術 24 件、人工骨頭挿入術 70 件、大腿骨骨折手術 91 件)

人工膝関節全置換術 0 件

【主な手術（入院のみ）】

骨折観血的手術（大腿）	91 件
人工骨頭挿入術（股）	70 件
人工骨頭置換術（股）	23 件
骨折観血的手術（下腿）	21 件
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）	9 件

骨内異物（挿入物を含む。）除去術 前腕、下腿	8 件
骨折非観血的整復術（前腕）	8 件
関節内骨折観血的手術（肘）	7 件
骨折観血的手術（膝蓋骨）	6 件
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	5 件
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	5 件

等

【改良事項】

大腿骨頸部骨折で比較的年齢の若い人には、人工関節置換術を行うことがある。stem 周囲骨折の頻度が高くなり手術数も増えている。人工骨頭は CPP 法で行っている。術中に stem により近位大腿骨骨折を起こした際に遠位固定型 stem に変更している。

リウマチ治療で JAK 阻害剤を一部の症例で使用している。

脳神経外科

【診療担当者】

中島 進 (常勤)

浅野 真利子 (非常勤)

順天堂大学医学部附属静岡病院支援医師

【外来診療時間】 月～金 午前 救急診療 24時間

【外来患者数】

一日平均患者数 6.3人 延べ患者数 1,530人

一日平均初診患者数 1.9人 初診患者数 446人

【外来患者内容】

頭痛、神経痛、認知症、脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、頭部外傷、慢性硬膜下血腫など

【入院患者数】

年間延人数 835人

一日平均患者数 2.3人

平均在院数 17.4日

【入院患者内容】

頭部外傷、脳挫傷、頭蓋骨骨折、慢性、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、
血(脈)管障害、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など

【治療内容】 内科的治療、経過観察、手術治療、三次救急病院への紹介

【手術】

手術総数 22件

【主な手術実績】

脳腫瘍摘出術 2件

脳動脈瘤 1件

脳室－腹腔シャント 3件

慢性硬膜下血腫 13件

泌尿器科

【診療担当者】

東 直隆【責任者】(常勤) : 日本専門医機構認定泌尿器科専門医、日本泌尿器内視鏡学会会員、身体障害者福祉法指定医(ぼうこう又は直腸機能障害)

順天堂静岡派遣医師(非常勤)

【外来患者数】

延人数 3,371 名

1日平均 13.9 名

【外来患者の内容】

尿路悪性腫瘍、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁、尿路感染症、尿路結石、ED など

【入院患者数】

延人数 78 名

1日平均 0.3 名

平均在院日数 2.2 日

【入院患者の内容】

前立腺針生検、尿管ステント留置術、経尿道的膀胱腫瘍切除術 など

【手術件数】

令和6年度 51件

前立腺針生検法 23件

経尿道的尿管ステント留置術 14件

経尿道的膀胱腫瘍切除術 2件

背面切開術 1件

陰嚢水腫根治術 1件

産婦人科

【診療担当者】 ■－診療責任者

■吉永 浩介

□早川 篤正

【外来患者数】

延べ人数 2,877人

1日平均 11.9人

【外来患者の内容】

妊婦検診、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症、月経困難症、更年期症候群、膀胱瘤および子宮脱、子宮がん検診（人間ドックとクーポン）、子宮がん検診精密検査、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、外陰がん

【入院患者数】

延べ人数 357人

1日平均 1.0人

平均在院日数 5.4日

【入院患者の内容】

産科・・・流産手術のみ

婦人科・・・良性疾患手術 悪性腫瘍の緩和医療

【分娩件数】

31件／年

【治療成績】 概ね良好（インシデントおよびアクシデント発生なし）

【手術件数】

令和 6 年度手術統計

Kコード	手術名	件数
K0004	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満）	1
K856-3	膣ポリープ切除術	1
K866	子宮頸管ポリープ切除術	1
K867	子宮頸部（膣部）切除術	5
K8722	子宮筋腫摘出術	1
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術	1
K872-31	子宮内膜ポリープ切除術（電解質溶液利用のもの）	2
K877	子宮全摘術	1
K893	吸引分娩	11
K897	頸管裂創縫合術	1
K8981	帝王切開術（緊急切開）	5
K8982	帝王切開術（選択切開）	2
K9091 ^ア	流産手術（妊娠11週まで）	4

【手術成績】概ね良好（インシデントおよびアクシデント発生なし）

【検査件数】MRI/CT 以外の特殊検査なし

【改良事項】

令和 5 年 4 月 1 日より人員・体制・物品を整備し約 2 年ぶりに分娩応需再開予定。
周産期診療に関しては総合周産期センターである順天堂静岡病院と綿密に連携。
婦人科悪性腫瘍についてはがん診療拠点病院である静岡県立静岡がんセンターと綿密に連携。緩和患者の逆紹介を受け入れ。
婦人科良性腫瘍については当院治療希望者の手術療法を施行。

【実績】なし

耳鼻咽喉科

【診療担当者】

山田哲也 (常勤)

診療統計 令和6年4月～令和7年3月

【外来患者数】

*延人数 1013人

1日平均 4.2人

*新患人数 200人

【入院患者数】

*延人数 83人

*1日平均 0.3人

*平均在院日数 3.4日

【外来患者の内容】

アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎、鼻出血、鼻腔腫瘍
めまい、難聴、耳鳴症、慢性外耳道炎、慢性中耳炎
口腔咽喉頭腫瘍、頸部腫瘤、頭頸部感染症等

診療内容に大きな変化はありませんでした。

入院内訳

	疾患	件数
口腔 咽喉頭	慢性扁桃炎	1
	急性喉頭蓋炎	2
	喉頭異物	1
	上咽頭腫瘍	1
	下咽頭癌	1
	両側声帯麻痺	2
	鼻	鼻中隔彎曲症
鼻	慢性副鼻腔炎	4
	鼻副鼻腔乳頭腫	1
頸部	耳下腺腫瘍	1
その他	睡眠時無呼吸症候群	10
	脊髄小脳変性症	1
計		26

入院手術内訳

	手術名	件数
口腔 咽喉頭	口蓋扁桃摘出術	4
	アデノイド切除術	1
	上咽頭腫瘍摘出術	1
	喉頭異物摘出術	1
鼻	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 II 型	2
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 III 型	3
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 IV 型	2
	鼻中隔矯正術	1
頸部	耳下腺腫瘍摘出術	1
	先天性耳瘻管摘出術	1
	喉頭形成術	2
	気管切開	2
	リンパ節生検	1
計		20

その他、鼓膜切開、鼻腔粘膜焼灼術など外来で手術を施行しています。

眼科

【診療担当者】 (令和7年3月末日現在)

伊藤浩一

杉田丈夫 (非常勤)

【診療責任者】

伊藤浩一

【外来患者数】 (延人数、1日平均)

延人数 6 1 5 4 人、1日平均 2 5 . 4 人

【外来患者の内容】

白内障患者、緑内障患者、加齢黄斑変性患者、

糖尿病網膜症患者など

【入院患者数】 (延人数、1日平均、平均在院日数)

延人数 1 3 6 人、1日平均 0 . 4 人、平均在院日数 2 日

【入院患者の内容】 (主たる疾患別患者数)

白内障手術患者

【治療成績】 (主たる疾患毎、治療法別、治療法の根拠)

白内障手術、術後は視力向上し問題なし

緑内障については点眼治療

加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫に対しては抗 VEGF 抗体硝子体注射

【手術件数】

手術件数 2 3 1 件、白内障手術 6 8 件、硝子体注射 1 6 3 件

【手術成績】 (手術内容毎)

白内障手術は全例術後視力向上

硝子体注射については概ね網膜所見改善

【検査件数】 (検査内容毎)

視力検査、眼圧検査、眼底検査、視野検査など

形成外科

【診療担当者・診療責任者】 古元将和（常勤）

【外来患者数】 外来患者：延べ 1 8 9 9 名 1 日平均 7. 9 名

【入院患者数】 入院患者：延べ 3 9 8 名 1 日平均 1. 2 名

【外来患者の内容】

形成外科的疾患全般、熱傷、褥瘡、難治性皮膚潰瘍、小児外傷、顔面外傷等必要に応じ入院治療を行います。

【手術実績】 総件数 2 2 2 件(手術室分)

【主な手術】

皮膚腫瘍切除術：	1 5 5 件
軟部腫瘍切除術：	5 件
血管腫切除術：	5 件
陥入爪手術：	9 件
皮膚悪性腫瘍切除術：	1 0 件
デブリドマン：	6 件
植皮術：	2 件
皮弁・筋皮弁移植術：	1 件
眼瞼下垂症手術：	9 件
神経腫瘍切除術：	2 件
四肢(足部も含む)切断術：	3 件
顔面骨骨折手術(鼻骨含む)：	3 件
副耳切除術：	3 件
全身麻酔下レーザー照射術：	1 件
異物除去：	1 件
断端形成術：	2 件
骨腫瘍切除術：	1 件
耳介形成手術：	1 件
滑液膜摘出術：	1 件
組織試験採取：	2 件

皮膚科

【診療担当者】

H26 年 10 月に常勤 1 名体制（それまで週 2 回の非常勤体制でした）となり
11 年経過しました。

■竹下 芳裕（常勤医） 診療責任者

診療日 月・火・水・木

金曜日は神奈川県相模原市の内科クリニックで皮膚科外来診療午前半日、

第 1・3 金曜日午後は相模原市の往診クリニックで皮膚科訪問診療を担当。

第 2・4 金曜日午後は神奈川県藤沢市の緩和ケアクリニックで皮膚科訪問診療を担当。

土曜日は第 1・3・4・5 は藤沢市の皮膚科クリニックで外来診療午前半日、

第 2 は国際医療福祉大学熱海病院で皮膚科外来診療半日を担当しています。

【外来患者数】

R6 年度のべ患者数 6245 人

R6 年度 1 日平均 25.7 人（週 5 日で計算になるため実情より少ない人数です）

【外来患者の内容】 湿疹・皮膚炎群、

（アトピー性皮膚炎，接触皮膚炎，うっ滞性皮膚炎など）

炎症性角化症（尋常性乾癬、類乾癬など），

良性腫瘍（色素性母斑，脂漏性角化症），

水疱症（天疱瘡，類天疱瘡），

ウイルス感染症（帯状疱疹，伝染性軟属腫，尋常性疣贅など），

中毒疹・薬疹，

皮膚リンパ腫（菌状息肉症），

付属器疾患（爪疾患、脱毛症など），

掌蹠膿疱症など

【入院患者数】 R6 年度入院のべ患者数 2 人（一日平均 0.04 人）

【手術内容】 月から木曜日の午後予約制で皮膚科外来にて

局所麻酔下の手術や皮膚生検を行っております。

病理組織診断を要する手術が令和 4 年度は 36 件ありました。

麻酔科

- 【診療担当者】 富樫秀彰
非常勤麻酔科医師（月（隔週）、金）
退職者 飯田武彦（令和6年12月31日付）
- 【診療責任者】 富樫秀彰

手術麻酔

【麻酔科管理麻酔件数】 703 症例

種類別

- 全身麻酔（硬・脊・伝麻 併用を含め） 507例
脊髄くも膜下・硬膜外併用麻酔（CSEA） 8例
脊髄くも膜下麻酔 184例
その他（伝達麻酔、静脈麻酔など） 4例

【実績】 救急救命士挿管実習（ビデオ喉頭鏡を含む） 2名終了

ペインクリニック外来

【外来患者数】 週平均 約12名

【外来患者の内容】 頭痛、三叉神経痛、非定型顔面痛、顔面神経麻痺、頸椎症、頸椎ヘルニア、頸肩腕症候群、带状疱疹、带状疱疹後神経痛、肋間神経痛、肩関節周囲炎、腰椎椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、会陰部痛、閉そく性動脈硬化症、筋筋膜性疼痛症候群、etc.

【ブロック治療（外来）】

頸胸腰椎弓間硬膜外ブロックのほか、エコー装置を多用し安全にブロック行っております。
（後頭神経ブロック、眼窩上神経ブロック、眼窩下神経ブロック、オトガイ神経ブロック、星状神経ブロック、頸部神経根ブロック、仙腸関節ブロック、肩峰下滑液包注射、トリガーポイント注射、関節内注射、etc.）

【ブロック治療（手術室）】 外来ブロックにて痛みの緩和が芳しくないときに、当院では透視下ブロックを行いました。通常のブロック（神経根、椎間関節、仙腸関節）のほかに、当院では Abbott 製 Ionic Generator デバイスがあり、神経根パルス治療（頸・胸・腰神経根パルス療法）、末梢神経高周波熱凝固（三叉神経末梢枝、脊髄後枝内側枝、仙腸関節、etc.）も行いました。

放射線科

【診療担当者】

- 画像診断 ■眞鍋知子（常勤医）
IVR □小坂哲也（非常勤：東京北保険病院）
遠隔画像診断 □東京北医療センター・練馬光が丘病院 放射線科医

【診療責任者】 眞鍋知子

- 【読影件数】 CT 9080 件 （前年度比 100.4%）
 （うちオープン検査 630 件 前年度比 102.1%）
 MRI 2850 件（前年度比 98.5%）
 （うちオープン検査 966 件 前年度比 100.8%）
 遠隔読影件数も含む
 検診マンモグラフィー 796 件（前年度比 146.6%）
 IVR 11 件（前年比 220%）

【診療内容】

画像診断：CT, MRI の画像診断は 1 名の常勤の放射線科専門医と、東京北医療センター・練馬光が丘病院の放射線科医による遠隔画像診断で行っています。CT・MRI 検査終了後の速やかな読影報告を心がけています。

開業院の先生方からの直接予約していただく CT・MRI 検査（オープン検査）も行っています。

また検診センターのマンモグラフィーの読影も行っています。

IVR：東京北医療センターからの非常勤医師により行われており、令和 6 年度は TACE10 件 BRT-O 1 件でした。

【改良事項】

地域医療懇話会に積極的に参加し、開業医の先生方への働きかけを行いました。その結果、オープン検査の件数は前年度比より増加させることが出来ました。

医療放射線管理や適切な検査オーダー推進の観点から、事前に CT, MRI のオーダーをチェックし、検査の適応について疑問がある場合には主治医に連絡するようにしています。

また放射線技師と協力し、検査画像の画質の改善も心掛けています。

心療内科

【診療担当者】

- 精神科専門医 夏山 卓（非常勤）
公認心理師 瀧川 徹

【基本方針】

病院都合により標榜は心療内科となっているが、診療内容は精神科である。認知症疾患医療センター業務を主として、器質性精神障害としての BPSD への対応を行っているため、外来では一般の精神障害の初診は原則として行っていない。BPSD への薬物調整が終了したものは本来のかかりつけ医に逆紹介しており、院内他科がかかりつけの場合のみ器質性精神障害の治療を外来で行っている。それ以外の精神科診療業務としては紹介された精神障害のセカンドオピニオン、職域での産業保健衛生であり、さらに薬物療法では対応困難であるパーソナリティ障害、適応障害、不安障害に対しマインドフルネスによる認知行動療法を行っている。認知行動療法対象者は一般に寛解するため、1年以上の治療期間が必要となる症例はない。また院内リエゾンとして精神障害やせん妄などに対するコンサルテーションを行っている。

【人員構成】（令和6年4月現在）

精神科専門医	1名
公認心理師	1名

【内容】

認知症疾患医療センターと重複しないものは、うつ病・適応障害・パーソナリティ障害・大人の神経発達障害など、ただし院内リエゾンを含む。今年度は PTSD なし

【発表実績】

なし

総合診療科

【診療担当者】

荒川洋一 静岡伊豆半島総合診療後期研修プログラム責任者

アレルギー科部長・小児科(兼務)・総合診療科(兼務)・臨床研修センター顧問

昭和 55 年自治医科大学卒

日本小児科学会専門医

日本アレルギー学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

インфекションコントロールドクター

日本医師会産業医

総合診療特任指導医

築地治久 認知症疾患医療センター長・神経内科・総合診療科

昭和 54 年自治医科大学卒

総合内科専門医

神経内科専門医

総合診療科専門医

田中まゆみ 臨床研修センター長・総合診療科

昭和 54 年京都大学医学部卒

医学博士

公衆衛生学修士

プライマリケア学会認定医

総合診療特任指導医

山田哲也 総合診療科科長・耳鼻咽喉科科長

平成 17 年自治医科大学卒

耳鼻咽喉科専門医

総合診療特任指導医

小川法之 NDC (特定ケア看護師)

坂本真弓 NDC (特定ケア看護師)

進士勇介 NDC (特定ケア看護師)

【診療責任者】

山田哲也 総合診療科科長

【在宅診療の内容】

平成 30 年 06 月から在宅診療(訪問診療、往診)を開始しました。

対象患者 ・ 疾病などで通院が困難な場合 (疾患についての制限はない)
・ かかりつけ医が在宅診療を実施していないか、対応できない場合
・ 訪問看護ステーションでの訪問看護が導入済
・ 伊東市内で病院から 16 km以内の居住者 (診療報酬上の制限)

安定している患者はなるべく診療所にお越し、癌以外も含めた終末患者を主に担当しています。そのため末期癌患者の対応が多く、短期間で在宅看取りとなることが多いです。看取り患者のうち在宅看取りは 83%程度となっており、前年度より増えています。

臨床研修センター

【基本方針、目標】

基本方針

臨床研修センターは平成16年4月より、当院の医師・スタッフ及び協会内外施設のご協力をいただきながら、地域医療振興協会の「地域医療専門医」育成のための初期臨床研修のサポートを行っています。

目標

* 初期臨床研修における

- 研修医各自の研修目標達成に考慮した2年間の研修ローテーション作成
- 各科ローテーション研修のサポート（目標設定・研修科調整・形成的評価）
- オリエンテーション日程と内容の作成・講師依頼・調整(医師としての基本的心得・社会人としての常識・多職種医療チームとの協同講義/実習病棟看護業務見習(かるがも実習)・診療技術講義等)
- 「一般外来」研修
- ハーフデイバック(基本的手技実習・テーマ別医学的講義)の日程と内容の作成・講師依頼・調整
- 各専門科・技術研修の調整
- 学会方式症例提示カンファレンス
- 専攻医講義カンファレンス
- EBMのステップでの問題解決サポート（二次資料検索・ジャーナルクラブ）
- 東京ベイ・浦安市川医療センターのコアレクチャーへの参加
- 静岡医師会/保健所共催の県下研修病院合同セミナーへの参加
- 医学生の病院実習・見学の受け入れ調整

* 初期臨床研修及び静岡伊豆半島総合診療専門研修プログラム共通のサポートとして

- 基本的外来・病棟手技指導
- 臨床的な疑問・課題への個別アドバイス
- 研修医主催の勉強会等のサポート
- 研修内外に関する悩みの相談
- 学会発表に準じたプレゼンテーションを行うカンファレンスの開催

* 「地域医療専門医」「静岡伊豆半島総合診療専門研修プログラム」における

- 長期・短期の目標・研修内容設定・評価サポート
- 外来診療サポート（プリセプターシステム）

*院内全スタッフとの知識共有・研修サポート

- 看護研修システムの構築・指導看護師養成
- 将来的には看護部以外も含めた研修教育システムの構築、相互活動のサポート

【人員構成】（令和7年3月末現在） ■－責任者

■田中 まゆみ 臨床研修センター長 昭和54年京都大学卒
昭和63年京都大学大学院卒 医学博士
平成12年米国ボストン大学公衆衛生大学院卒公衆衛生学士
臨床研修指導医
プライマリ・ケア学会認定医
総合診療領域特任指導医
臨床研修プログラム責任者

□荒川 洋一 臨床研修センター顧問 昭和55年自治医科大学卒
日本小児科学会専門医
日本医師会認定産業医
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医
日本アレルギー学会専門医
臨床研修指導医
静岡伊豆半島総合診療専門研修プログラム責任者

□川合 耕治 臨床研修センター副センター長 昭和59年自治医科大学卒
日本内科学会指導医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器学会専門医
日本内視鏡学会専門医
臨床研修指導医

□上原 弘成 2年目初期臨床研修医 令和4年東邦大学卒
□越後谷 雅一 2年目初期臨床研修医 令和5年帝京大学卒
□岡田 奈那 2年目初期臨床研修医 令和5年国際医療福祉大学卒
□陶山 里佳 2年目初期臨床研修医 令和5年筑波大学卒
□高安 崇真 2年目初期臨床研修医 令和5年川崎医科大学卒
□張 一弛 2年目初期臨床研修医 令和5年慶応義塾大学卒
□濱野 一太 2年目初期臨床研修医 令和5年川崎医科大学卒
□本多 洋貴 2年目初期臨床研修医 令和5年慶応義塾大学卒

□江畑 春菜	1年目初期臨床研修医	令和6年昭和大学卒
□菊池 昌樹	1年目初期臨床研修医	令和6年群馬大学卒
□吉川 慧	1年目初期臨床研修医	令和6年杏林大学卒
□熊澤 倫玖	1年目初期臨床研修医	令和6年岐阜大学卒
□高見 北斗	1年目初期臨床研修医	令和6年大分大学卒
□千原 清加	1年目初期臨床研修医	令和6年群馬大学卒
□出川 陸	1年目初期臨床研修医	令和6年日本大学卒
□皆田 美月	1年目初期臨床研修医	令和6年大分大学卒

【実績】

当院が基幹病院である初期研修プログラム(「地域医療指向プログラム」および「地域医療重点プログラム」)の「理念」と「基本方針」を、以下のように更新しました。

【理念】

地域医療の現場で高い臨床能力をもって、健康に関わるあらゆる問題に向き合うことのできる医師を育成する。

【基本方針】

1. 傾聴と共感から出発する患者中心の医療を実践する。
2. 広く深い系統的鑑別診断から臨床推論に基づいて効率的に検査治療を進める診療能力を培う
3. 医療技術の限界と社会資源の有限性を認識し、多職種医療チームで実現可能性を検討しつつ患者家族の地域での生活の質の向上を支援する。
4. 自学自習の習慣を育む環境を提供し、学術活動に継続的に参加する医師を育成する。

月	活 動 内 容 <場所>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・入職式 <院内> ・2024 年度新人研修医オリエンテーション <本部> ・初期研修医オリエンテーション・かるがも研修<病棟> ・本部第 1 回医師研修運営委員会 <Teams>
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県医師会主催 第 1 回 Welcome Seminar in Shizuoka 2024<Web> (1.2 年目初期研修医 9 名参加) ・本部第 2 回医師研修運営委員会 <Teams>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチング登録開始 ・広報誌『伊東市民病院でございます』発行 ・JADECOM WEB 病院合同説明会 <Teams> (初期研修医 2 名参加) ・オレゴン健康科学大学 (OHSU) 研修医受入 ・本部第 3 回医師研修運営委員会 <Teams> ・レジナビ Fair (初期・専門研修合同) <東京ビッグサイト> (初期研修医 2 名参加) ・第 1 回研修管理委員会 <院内> ・静岡県医師会主催 第 2 回 Welcome Seminar in Shizuoka 2024<Web> (初期研修医 6 名参加) ・第 17 回へき地・地域医療学会 <本部・Web>
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第 4 回医師研修運営委員会 <Teams> ・ふじのくに主催 病院見学バスツアー<伊東市民病院> (中止) ・静岡県医師会主催 第 3 回 Welcome Seminar in Shizuoka 2024<Web> (1 年目初期研修医 8 名参加) ・静岡県臨床研修・専門研修病院合同説明会 <アクトシティ浜松> (初期研修医 2 名参加) ・県医学修学研修資金利用者意見交換会 <アクトシティ浜松> 不参加
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに主催 こころざし育成セミナー (中止) ・ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー<グランディエール ブケトーカイ>なし ・マッチング採用試験 8 月 5 日 (月)、8 月 26 日 (月) 実施。 医学生受験者 6 名 (*) ・本部第 5 回医師研修運営委員会 <Teams>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第 6 回医師研修運営委員会 <Teams> ・マッチング順位登録開始
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第 7 回医師研修運営委員会 <Teams> ・マッチング結果発表 (マッチ者 1 名) ・採用試験 2 次募集実施 (10/25、10/29、11/5、12/11) 4 名採用。

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第8回医師研修運営委員会 <Teams> ・JADECOM 地域医療セミナー2024<湯沢町保健医療センター> (不参加)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第9回医師研修運営委員会 <Teams> ・卒後臨床研修評価機構 (JCEP) 「臨床研修制度の変遷と第三者評価に関する講習会」<グランドアーク半蔵門> (横山医師参加)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第10回医師研修運営委員会 <Teams> ・基本的臨床研修能力評価試験 <院内> ・ふじのくに次世代医師リクルーター委嘱式 (1年目初期研修医1名参加)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・本部第11回医師研修運営委員会 <Teams> ・レジナビFair (初期) <ポートメッセ名古屋> (初期研修医2名参加) ・屋根瓦塾in静岡 2024 (中部地区) (不参加)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回研修管理委員会 <院内・Zoom> ・ふじのくに主催 病院見学バスツアー <伊東市民病院> (初期研修医2名参加) ・県医学修学研修資金利用者意見交換会 ・静岡県臨床研修・専門研修病院合同説明会in静岡 <グランシップ> (初期研修医1名参加) ・本部第12回医師研修運営委員会 <Teams> ・初期臨床研修修了式 <院内> 初期研修医8名修了 (**) ・レジナビFair (初期) <東京ビッグサイト> (初期研修医2名参加)

(*) 病院見学・実習等受入 人数：48名 (マッチング対象者：16名)

(**) 初期研修修了者進路

- 上原 弘成 前橋赤十字病院救急科専攻医
- 越後谷 雅一 前橋赤十字病院救急科専攻医
- 岡田 奈那 昭和大学病院形成外科専攻医
- 陶山 里佳 横浜市立大学麻酔科専攻医
- 高安 崇真 静岡県立総合病院泌尿器科専攻医
- 張 一弛 慶応義塾大学リウマチ膠原病内科専攻医
- 濱野 一太 浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科専攻医
- 本多 洋貴 九州大学眼科専攻医

2024年度 ハーフデイバック 木曜日 13:00～14:00

月日	曜日	テーマ	講師
4月4日	木	超音波検査(1) 血管エコー 多職種	臨床検査室 田中健太郎技師
4月10日	水	入院患者の栄養管理(試食あり) 多職種	栄養室 須藤優希管理栄養士
4月11日	木	超音波検査(2) 腹部エコー 多職種	臨床検査室 田中健太郎技師
4月18日	木	超音波検査(3) 心エコー 多職種	臨床検査室 小塚裕之技師
4月25日	木	リハビリテーション(1) 理学療法 ・言語聴覚療法 多職種	理学療法士・言語聴覚士
5月2日	木	リハビリテーション(2) 作業療法 多職種	医療技術部長 梶原幸信作業療法士
5月8日	水	意識障害・失神・けいれん	認知症疾患医療センター長 築地治久医師
5月9日	木	入院患者のせん妄・認知症	心療内科 夏山卓医師
5月10日	金	外科縫合	形成外科科長 古元将和医師
5月14日	火	中心静脈カテーテル	救急部長/外科科長 城野晃一医師
5月15日	水	腰椎穿刺	麻酔科部長 富樫秀彰医師・ 認知症疾患医療センター長 築地治久医師
5月16日	木	医療機器実習 多職種☆	臨床工学室 飯田技師
5月29日	水	ACP(含:終末期医療の医療倫理)	総合診療科・耳鼻咽喉科科長 山田哲也医師
5月30日	木	放射線科講義(1) 放射線被ばく	放射線科部長 眞鍋知子医師
6月5日	水	在宅訪問診療	総合診療科・耳鼻咽喉科科長 山田哲也医師
6月6日	木	放射線科講義(2) 単純写真	放射線科部長 眞鍋知子医師
6月12日	水	めまい	総合診療科・耳鼻咽喉科科長 山田哲也医師
6月13日	木	放射線科講義(3) CT	放射線科部長 眞鍋知子医師
6月20日	木	〃 (4) CT	〃
6月27日	木	〃 (5) MRI	〃

7月4日	木	〃 (6) MRI	〃
7月10日	水	嚥下機能検査	総合診療科・耳鼻咽喉科科長 山田哲也医師
7月11日	木	脳血管障害(2) 脳神経外科☆	脳神経外科部長 中島進医師
7月17日	水	脳血管障害(1) 神経内科☆	認知症疾患医療センター長 築地治久医師
7月18日	木	放射線科講義(7) 核医学・放射線治療学等➡中止	放射線科部長 眞鍋知子医師
7月25日	木	リハビリテーション医学	リハビリテーション科 秋本知則医師
8月1日	木	褥瘡	皮膚科部長 竹下芳裕医師、 形成外科科長 古元将和医師
8月8日	木	循環器疾患(1) 心電図	循環器科部長 藤井幹久医師
8月15日	木	循環器疾患(2) 急性冠症候群	循環器科部長 藤井幹久医師
8月22日	木	循環器疾患(3) 不整脈	循環器科部長 藤井幹久医師
8月29日	木	循環器疾患(4) 心不全	循環器科部長 藤井幹久医師
9月5日	木	胆のう炎	内科部長 小野田圭佑医師
9月12日	木	消化管出血	内科医師 庄司亮医師
9月19日	木	肝障害1) (薬剤性・ウイルス性・自己免疫性・その他➡中止)	消化器内科部長 川合耕治医師
9月26日	木	肝障害(2) (脂肪肝・肝硬変)	消化器内科部長 川合耕治医師
10月3日	木	腸閉塞	外科部長 神谷紀之医師
10月10日	木	急性腹症(急性虫垂炎を含む)	外科医師 小倉礼那医師
10月17日	木	感染症診療の基礎(1) 抗菌薬の使い方/アンハイグラム	総合診療科 田中まゆみ医師
10月24日	木	感染症診療の基礎(2) 敗血症・心内膜炎	〃
10月31日	木	感染症診療の基礎(3) 脳髄膜炎☆	〃
11月7日	木	感染症診療の基礎(4) 呼吸器感染症・腎尿路感染症	〃
11月14日	木	感染症診療の基礎(5) 皮膚・軟部深部組織感染症	〃
11月21日	木	婦人科急性腹症/婦人科救急	産婦人科医師分担 ➡田中まゆみ医師
11月28日	木	女性の急性腹症/婦人科救急	産婦人科部長

			吉永浩介医師
12月5日	木	妊婦検診・妊婦への処方注意事項	産婦人科医師分担 ➡田中まゆみ医師
12月12日	木	産婦人科がん検診・更年期障害	産婦人科医師分担 ➡田中まゆみ医師
12月19日	木	正常分娩・周産期緊急・産後検診	産婦人科医師分担 ➡田中まゆみ医師
12月26日	木	産婦人科から初期研修医へ；全人的医療のために	産婦人科医師分担 ➡田中まゆみ医師
1月9日	木	新生児ケア・乳児検診	小児科部長 荒川洋一医師
1月16日	木	小児の身体/神経発達/性的発育と異常の発見・育児相談	小児科部長 荒川洋一医師
1月23日	木	小児救急（虐待を含む）➡中止	小児科部長 荒川洋一医師
1月30日	木	アレルギー疾患/小児救急	小児科部長 荒川洋一医師
2月5日	水	骨折（大腿骨骨折を中心に）	整形外科部長 渡邊安里医師
2月12日	水	骨粗しょう症☆	整形外科科長 平田一博医師
2月19日	水	整形外科から初期研修医へ；全人的医療のために ➡中止	整形外科科長 平田一博医師
2月27日	木	皮膚科から初期研修医へ；全人的医療のために	皮膚科部長 竹下芳裕医師
3月6日	木	眼科から初期研修医へ；全人的医療のために	眼科部長 伊藤浩一医師
3月13日	木	心療内科から初期研修医へ；全人的医療のために	心療内科 夏山卓医師

(2) シミュレーションセンター

【基本方針、目標】

シミュレーションとは、機材を用いて仮想的な方法で模擬動作を行なうことです。

飛行機のパイロットがフライトシミュレーターで飛行訓練を行なうように、シミュレーションセンターの機材には、単純な採血練習を行なうものから、迅速に対処しなければ死に至る不整脈治療訓練を行なう高度なものまで、さまざまな機材があります。当院のシミュレーションセンターは平成25年春に医師、看護師などの医学教育、医療の安全管理に貢献することを目的に開設されました。

機材には医療職以外の方が、専門的な器具や薬品なしで行えるBasic Life Support（BLS、一次救命処置）すなわち、急に倒れたり、窒息を起こしたりした人に対して、その場に居合わせた人が、胸骨圧迫や人工呼吸を、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行なう応急手当練習用のシミュレーターもあり、今後は病院スタッフだけではなく医療職以外の市民の皆様を対象とした講習会の開催も考えています。

【人員構成】（令和7年3月末現在） ■－責任者

■荒川	洋一	小児科部長兼総合診療科部長兼臨床研修センター長兼 シミュレーションセンター長
□谷川	政嗣	事務部長
□杉本	篤彦	看護部手術室看護師
□小塚	裕之	臨床検査技師
□飯田	直樹	ME室室長臨床工学技士
□清水	茜	臨床研修センター事務

【保有機材一覧】 その1

機器名	メーカー	用途
高性能医療トレーニング シミュレーター S i m M a n 3 G	レールダル	成人高機能シミュレーター
A L S トレーニング シミュレーター		高度救命処置シミュレーター
レサシアン		成人C P Rシミュレーター
成人気道管理トレーナー	日本ライトサービス	挿管・気道管理シミュレーター
ベッドサイドモニター	日本光電	ベットサイドモニター
除細動器		除細動器
消化器内視鏡 シミュレーターシステム	ガデリウス・メディ カル	内視鏡シミュレーター
消化器内視鏡 シミュレーターモジュール		
超音波診断ファントム	京都科学	外傷・救急用超音波診断 シミュレーター
S I M o n e 出産シミュレーター	日本スリービーサイ エンティフィック	出産シミュレーター
ソフィー産科シミュレーター	日本ライトサービス	分娩介助シミュレーター
チャーリー胎児頭部モデル		
子宮頸モデル初産婦		
子宮頸モデル経産婦		
子宮頸モデル子宮浮腫		
内診バーチャルリアリティー モデル	K O K E N	
採血・静注シミュレーター 「シンジョーII」	京都科学	採血・静注シミュレーター
筋肉注射トレーナー	日本ライトサービス	皮内・皮下及び筋肉注射
装着式上腕筋肉注射 シミュレーター	京都科学	上腕筋肉注射シミュレーター

【保有機材一覧】 その2

機器名	メーカー	用途
小児の手背静脈注射 シミュレーター	京都科学	乳幼児への手背静脈注射・ 採血・点滴静注
縫合手技トレーニング フルセット		縫合手技シミュレーター
男性導尿・浣腸シミュレーター		男性導尿・浣腸シミュレーター
女性導尿・浣腸シミュレーター		女性導尿・浣腸シミュレーター
婦人科シミュレーター		婦人科内診シミュレーター
イブ (婦人科トレーニングモデル)		
CVC穿刺 挿入シミュレーターⅡ		CVC穿刺 挿入シミュレーター
腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター 「ルンバールくんⅡ」		腰椎穿刺、硬膜外麻酔、 腰椎麻酔
w i t h c h i l d ～妊娠実物大ディスプレイ～	日本スリービーサイ エンティフィック	出産デモンストレーション シミュレーター
成熟胎児モデル		
胎盤と臍帯		
ソフト骨盤		
子宮ニットモデル 帝王切開部付き		
フィジカルアセスメントモデル 「P h y s i k o」	京都科学	バイタルサイン成人高機能 シミュレーター
吸引シミュレーター 「Qちゃん」		一次的吸引法（口鼻腔内吸引・ 気管内吸引）シミュレーター
P R O M P T分娩介助 教育トレーナー		分娩介助シミュレーター
汎用超音波診断装置	日本コヴィディエン	超音波画像診断用装置
エアウェイスコープ	アイ・エム・アイ 株式会社	気管挿管シミュレーター

【実績】

* 部門別利用実績

診療部	0回	看護部	18回	医療技術部	5回
事務部	0回	臨床研修センター	15回		

* シミュレーター別利用実績

11回	レサシアン
7回	除細動器
5回	生体情報ベッドサイドモニター
3回	汎用超音波診断装置
2回	腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター「ルンバールくんⅡ」、 吸入シミュレーター
1回	高機能医療シミュレーター、ALSトレーニングシミュレーター、 採血・静脈シミュレーター、筋肉注射トレーナー CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ

* 主な研修会、イベント等での利用実績

なし

医療技術部

薬剤室

令和6年度は、4月に東京ベイ・浦安市川医療センター薬剤師レジデントプログラムを修了した1名が常勤薬剤師として入職しました。同月に薬剤助手が1名入職しましたが、6月に常勤薬剤師1名が退職しました。3月に薬剤助手1名の退職に伴い2月に薬剤助手2名を採用し薬剤助手3名体制となりました。

東京ベイ・浦安市川医療センター薬剤師レジデントプログラムの連携施設として今年度も4月から9月、および1月から3月までの間、3カ月ごとに地域医療や災害医療などについて学ぶため計3名のレジデント薬剤師が研修に訪れました。また、薬学実習生（Ⅱ期）1名も受け入れました。

薬剤業務の効率化と安全性向上を目的として、薬剤室の機械化およびシステム化を推進しました。具体的には、一包化監査支援システムの導入、全自動錠剤分包機の更新、一包化錠剤仕分け装置の設置、麻薬管理システムの導入を行いました。さらに、8月より注射薬の自動払出しシステムを導入し、注射薬の調剤方法や病棟への薬剤払出方法を変更することで、少人数の薬剤師でも安全かつ正確に調剤業務を行える体制を整えました。

伊東熱海薬剤師会と合同で、伊東市民病院漢方勉強会を10回開催しました。今後も、薬品管理の徹底や薬剤師の確保に向けた取り組み、薬剤業務の効率化、薬剤管理指導業務の充実、そして病棟薬剤業務実施加算に向けた体制づくりを推進していく予定です。

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・ 医薬品の安定供給と品質を確保し、適正使用の推進に努めます。
- ・ チーム医療を担う一員として、服薬指導などの臨床薬剤業務の充実を図ります。
- ・ 医薬品の最新情報の収集により、臨床の場のニーズにあった情報を提供し、医療の質的向上に寄与します。

*目標

- ・ 薬剤師としての職能を発揮する
職員へ向けて適切な情報の収集と発信
患者さんへの服薬指導など臨床薬剤業務体制の充実
- ・ 業務の効率化と人財確保
業務体制の定期的な見直し
積極的な人財募集の推進

【人員構成】（令和7年3月末現在）

薬剤師（常勤）	7名
薬剤師（非常勤）	2名
薬剤助手（常勤）	3名

【チーム医療への取組み】

- ・栄養サポートチーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・緩和ケアチーム
- ・災害派遣医療チーム など

【実績】

*処方箋枚数・調剤件数

	外来（院外）	外来（院内）		入院	
	処方箋枚数	処方箋枚数	調剤件数	処方箋枚数	調剤件数
令和6年度	54,981	2,780	3,712	40,952	85,959
	院外処方箋発行率：95.2%			中止処方率：17.9%	
令和5年度	56,983	2,578	3,292	44,194	95,132
	院外処方箋発行率：95.7%			中止処方率：15.7%	
増減率	96.5%	107.8%	112.8%	92.7%	90.4%
	院外処方箋発行率：99.5%			中止処方率：114.0%	

*注射箋枚数

	外来	入院
令和6年度	19,070	154,312
		中止処方率：11.5%
令和5年度	19,938	160,197
		中止処方率：11.8%
増減率	95.7%	96.3%
		中止処方率：97.5%

※ 令和6年8月より入院定期注射箋形態を1施行毎から1日施行毎に変更。

*院外処方箋疑義照会

	疑義照会総件数	プロトコール対応数
令和6年度	2,440	1,322
令和5年度	2,989	1,379
増減率	81.6%	95.9%

※ 令和6年4月よりプロトコール対応以外の疑義照会は薬剤室経由でなく直接処方医師へ照会する形式へ変更。

*薬剤管理指導業務

	指導患者数	算定件数 (うち安全管理を要する件数)	麻薬管理指導加算
令和6年度	228	289(115)	25
令和5年度	155	170(32)	13
増減率	147.1%	170.0% (359.4%)	192.3%

*外来患者指導業務

	外来患者指導件数
令和6年度	442
令和5年度	531
増減率	83.2%

*持参薬鑑別業務

	鑑別件数	鑑別薬品数
令和6年度	693	3,908
令和5年度	743	4,372
増減率	93.3%	89.4%

*がん化学療法抗がん薬無菌調製

	外来実施 件数	入院実施 件数	キャンセル 件数	実施 総数
令和6年度	454	39	120	493
令和5年度	580	70	134	650
増減率	78.3%	55.7%	89.6%	76.2%

regimen	R6										R7			総計
	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3		
胃														
adj DS					1	1	2	1	1			1		7
Nivo	4	3								2				9
SOX	1		2	1	1									5
RAM+wPTX				2	1	2	2	4	2	3	2	3		21
SOX+Nivo	3	2	3	1	1	2			1					13
CBDCA+CPT-11							2	2	1	2	3	3		13
CBDCA+ETP												3		3
肝														
Atezo+BEV					1		2	1	1	2	1	1		9
肝胆膵														
GC	1	3	1	1	3	1	1					2	1	14
GEM	1	2	7	10	7	6	4	6	3					46
GS		1					1							2
GEM+nab-PTX	8	5	8	8	5	3	4	10	10	12	10	11		94

regimen	R6 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	R7 1月	2	3	総計
DGC	2												2
NAC-GS			2	1								1	4
nal-IRI+F/L					1	2							3
血液													
R-CHOP					2	2	4	2					10
Rituximab				2		4	3						9
食道													
Nivo	2	3	2	2									9
大腸													
adj CAPOX	3	2	2	3	2	2	4	2	2	3	3		28
CAPOX		2	1	1									4
CAPOX+BEV	3	3	2	2									10
FOLFIRI	1	3	2	2	4	1	3	1	3	2	2	2	26
FOLFIRI+BEV	3	6	3	5	2					1	5	3	28
FOLFIRI+Pmab		1	1	1	3	3	2	2	2	3	1	2	21
FOLFOX		2									1	2	5
FOLFOX+BEV										2	1	1	4
mFOLFOX6								1	2	2	1	2	8
SOX						2		1	1				4
FOLFOX+Pmab	1	1	1	1		1	2	3	3	2	1		16
Cape+BEV						1	2	1	2			2	8
FOLFOX6+BEV	1												1
adj FOLFOX			1	2	2	1							6
FOLFIRI+Cmab											2	2	4
乳腺													
AC		1		2	1					1	2		7
DTX			1					1		1	2		5
wPTX	1	1	1	1	1	1	1		1	1			9
3wHPD			1	1									2
3wHER							2	1	2	1	2	1	9
皮膚科													
Nivo						2	3	2	2	2	2	2	15
総計	35	41	41	49	38	37	44	41	39	42	44	42	493

*無菌調製

	実施件数	キャンセル件数
令和6年度	207	13
令和5年度	236	13
増減率	87.7%	100%

regimen	R6 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	R7 1月	2	3	総計
REMICADE	1	2	1	2	3		3		3		3		18
ACTEMRA	12	14	10	14	15	15	14	10	13	14	8	11	150
IFX-BS	1	2	2	3	4		4	1	2	2	3	2	26
ORENCIA	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
STELARA								1					
総計	15	19	14	20	23	16	22	13	19	17	15	14	207

*院内製剤名及び調製量

件数：62件

製剤名	調製量	製剤名	調製量
3%酢酸水溶液 (300mL/瓶)	5瓶	0.02% ボスミン液 (25mL/本)	65本
50%トリクロロ酢酸 (50mL/瓶)	4瓶	鼓膜麻酔液 (90mL/本)	1本
2%メチレンブルー水溶液 (10mL/本)	17本	3%ルゴール液 (100mL/本)	4本
20% 塩化アルミニウム液 (100mL/本)	4本	Mohs 軟膏 (約 100 g/個)	1個

*塩酸バンコマイシンTDM実績

	件数 (初期投与設計を含む)
令和6年度	244
令和5年度	199
増減率	122.6%

【使用機器】

全自動錠剤分包機 (Xana-2040UF)	調剤支援システム (薬袋印字機等)
全自動散薬分包機	注射薬調剤監査システム
薬剤管理指導 (服薬指導) 支援システム	水剤調剤支援システム
散薬調剤監査システム	注射薬混注監査システム (Add Dis)
一包化監査支援システム (PROOFIT ID II)	注射薬自動払出しシステム (UNIPUL-5000)
一包化錠剤仕分け装置 (タワート plus)	麻薬管理システム

【薬事委員会開催日及び新規採用薬品数と削除薬品数】

開催日	新規採用 薬品数	採用削除 薬品数	限定採用薬品 申請数(薬品数)	後発薬品への 変更数
令和6年 4月4日	1	8	16 (16)	1
6月6日	2	7	9 (9)	1
8月1日	0	6	20 (20)	0
10月3日	1	6	17 (17)	0
12月5日	0	1	16 (16)	0
令和7年 2月6日	1	2	13 (13)	0
総 数	5	30	91 (91)	2

【地域連携勉強会】

伊東市民病院漢方勉強会

開催日	内容	参加人数
令和6年4月25日	利水剤について①	16名
5月23日	理気剤について②	18名
6月27日	利水剤について①	12名
7月25日	利水剤について②	14名
9月26日	駆瘀血剤について	17名
10月31日	漢方基礎理論①	12名
11月28日	漢方基礎理論②	13名
令和7年1月23日	漢方基礎理論③	13名
2月27日	漢方基礎理論④	11名
3月27日	漢方基礎理論⑤	11名

【院外活動実績】

栗原 紗理菜 職業人講演会 (伊東市立南中学校) 令和6年10月3日
 緑川 はる香 職業人講演会 (伊東市立南中学校) 令和6年10月18日

【発表等実績】

森田 紗妃 「脂肪乳剤 (イントラリポス) について」
 第33回 院内研究発表会
 令和6年7月29日

瀬戸 弘和 「市町における災害対策本部活動及び災害時の情報伝達について」
 令和6年度 駿東・田方地域災害医療対策会議
 令和6年11月1日

緑川 はる香 「ニューキノロンの素朴な疑問 みなさんはどう対応していますか？」
 第12回 今日からはじめる感染症セミナー
 令和6年11月8日

放射線室

【基本方針】

- ・患者さんが安心して、信頼して検査を受けられるよう努めます。
- ・患者さんの利益のために、常に学習し良質な画像情報の提供に努めます。
- ・常に放射線被ばくの低減を心がけ業務に従事します。
- ・常にチーム医療の一員として努めます。

【目 標】

- ・患者さまの人権やプライバシーに配慮した診療を心がけます。
- ・学術、研究のグローバル化を進めます。
- ・短時間かつ低侵襲で多くの情報を得られるよう、検査内容の充実化に常に努力します。
- ・日進月歩の医療技術に対して適正に判断し対応します。
- ・診療放射線技師の定員化の定着を目指します。
- ・技術指導者教育の体制強化を目指します。

【人員構成】

診療放射線技師 正職員：10名、パート（3時間勤務）：2名（令和7年3月末現在）

【主要機器】

モダリティ	装置名	メーカー名
一般撮影	RAD SpeedPro, UD-150B-L40	島津製作所
	DHF-155H4XC	富士フィルムヘルスケア
	フラットパネル	富士フィルムメディカル
CT	SOMATOM Definition Flash	シーメンス
	SOMATOM go.Top	シーメンス
MRI	SIEMENS Aera 1.5T	シーメンス
マンモグラフィ	AMULET Inovality	富士フィルムメディカル
血管造影撮影	SIEMENS Artis zee FA	シーメンス
X線TV	CUREVISTA APEX	富士フィルムヘルスケア
骨密度測定	Horizon Wi	HOLOGIC
外科用イメージ	BV Endura	フィリップス エレクトロニクス ジャパン
	OPESCOPE ACTENO	島津製作所
ポータブル	Sirius Star Mobile	富士フィルムヘルスケア
	CARNEO AQRO	富士フィルムメディカル
(健診)胸部撮影	DHF-155H4XC	富士フィルムヘルスケア

(健診) 胃部 X 線 TV	SoniaVisionVERSA100R	島津製作所
----------------	----------------------	-------

【令和 6 年度 検査件数】

	一般 撮影	ポータ ブル	マンモグ ラフィ	CT	MRI	骨密度	血管 造影	※透視
4 月	1513	449	35	834	252	106	2	141
5 月	1599	400	42	923	271	106	6	180
6 月	1720	395	99	894	278	82	2	229
7 月	1616	445	135	881	307	112	1	285
8 月	1804	448	121	849	285	86	4	273
9 月	1373	378	79	853	246	78	4	168
10 月	1745	452	142	888	286	106	2	239
11 月	1642	392	144	873	269	95	2	231
12 月	1690	516	128	987	288	83	1	192
1 月	1658	530	90	975	265	95	4	194
2 月	1511	432	81	827	251	108	1	221
3 月	1554	437	51	807	249	83	1	166
合計	19425	5274	1147	10591	3247	1140	30	2519

※透視の件数は各科の使用件数と健診（胃透視）の件数含む

【CT・MRI 検査内訳】

		入院	外来	合計
CT	単純	893	7580	8473
	造影	102	263	365
	単純+造影	90	723	813
	単純 (3D)	282	568	850
	造影 (3D)	9	36	45
	その他	0	0	0
	心臓	5	40	45
	CT 合計	1381	9210	10591
MRI	単純	243	2891	3134
	造影	5	38	43
	単純+造影	7	63	70
	MRI 合計	255	2992	3247

オープン検査

	CT	前年度	増減	MRI	前年度	増減
4月	48	55	87.3%	94	101	93.1%
5月	59	49	120.4%	88	90	97.8%
6月	69	54	127.8%	99	86	115.1%
7月	72	49	146.9%	95	72	131.9%
8月	47	48	97.9%	86	71	121.1%
9月	54	55	98.2%	62	70	88.6%
10月	45	62	72.6%	82	80	102.5%
11月	62	46	134.8%	76	72	105.6%
12月	52	52	100.0%	74	68	108.8%
1月	32	44	72.7%	76	69	110.1%
2月	47	51	92.2%	61	77	79.2%
3月	44	48	91.7%	73	102	71.6%
合計	631	613	102.9%	966	958	100.8%

健診

健診	一般撮影	マンモ	胃 (バリウム)	CT	MRI	骨密度
4月	265	9	86	14	5	3
5月	350	17	126	6	6	3
6月	605	75	189	4	4	1
7月	476	106	232	12	33	6
8月	729	81	214	0	33	12
9月	318	54	122	9	12	6
10月	552	105	182	0	29	4
11月	513	102	180	7	33	6
12月	468	95	150	0	29	3
1月	431	65	147	3	29	8
2月	439	54	153	6	27	2
3月	368	33	130	7	9	2
合計	5514	796	1911	68	249	56

2024年度と2023年度との比較

	一般 撮影	ポータ ブル	マンモグ ラフィ	CT	MRI	骨密度	血管 造影	※透視
2023年度	19588	4641	848	10969	3207	1058	24	2754
2024年度	19425	5274	1147	10591	3247	1140	30	2519

※透視の件数は各科の使用件数と健診（胃透視）の件数含む

【今年度を振り返って】

- ・人員の増減はありませんでした。
- ・大村市民病院への支援。4月8日～6月30日。交代で1名ごと（松本、木下、園田）
- ・神津島村国民健康保険直営診療所への支援。10月3日～10月8日。（太田）
- ・他施設への技師派遣支援を積極的に取り組んでいます。
- ・放射線室での急変時対応訓練を9月に開催しました。
- ・9月に健診透視装置を更新しました。（島津製作所：FLEXAVISION F4）
- ・外部の学術大会や地域での発表はできませんでしたが、WEBでのオンライン勉強会に積極的参加しています。

【学術実績】

- ・「当院の一般撮影領域における被ばく線量評価について」（木下）JADECOM学術大会
- ・その他、外部団体等での発表はありませんでした。

【研修参加実績】

WEBによるオンライン勉強会、研究会、学会、講演会等に積極的に参加しました。

【資格取得者】

- ・日本X線CT認定技師：4名
- ・マンモグラフィ撮影認定技師：3名
- ・放射線管理士：1名
- ・放射線機器管理士：1名
- ・医療安全管理者養成研修修了者：1名

令和7年3月31日現在

臨床検査室

【基本方針】

- * 思いやりの心を持ち、患者様から信頼される臨床検査の提供に努めます。
- * 臨床との連携を高め、迅速かつ正確な臨床検査情報を提供します。
- * 感染情報発信の場として、的確な情報を提供し院内感染の拡大防止に努めます。
- * 地域の中核病院として、災害に強い臨床検査室を目指します。

【目標】

- * 業務の効率化
 - ・ 業務の複数担当化
 - ・ 情報の共有
- * スキルアップ
 - ・ 各員の勉強会参加、認定資格等の取得
- * 健全経営
 - ・ 低価格同等品の積極的な導入
 - ・ 輸血製剤廃棄率の低減
 - ・ 生理検査を含めた業務効率化
 - ・ 協会検査部会統一機器、試薬の導入

【目標に対する評価】

- * 月1回のミーティング開催は漏れなく行われており今後も継続。
- * 協会検査部会統一試薬導入へ向けメーカー、卸業者と調整開始。
- * 生理検査の予約枠改善には取り組めなかった。引き続きの課題とする。

【人員構成】 令和7年3月現在

臨床検査技師・・・・・・全15名（1名時間勤務職員）（1名育休中）

11名・・・・・・検体検査（病理検査含む）

4名・・・・・・生理機能検査

15名（1名時間勤務職員）の技師で1名当番制の夜間勤務業務を行っています。

AM8：00より健診業務を交替制で行っており2名体制の対応。

検体検査、生理検査より計3名の技師が採血室で採血業務。

病理検査は5名の技師により交替で行っています。（1名時間勤務者）

【室員所有資格一覧】

糖尿病療養指導士 認定超音波検査技師（健診・心臓）

細胞検査士 認定微生物検査技師 認定血液検査技師、血液学二級検査士

【勉強会・研究発表実績】

特筆すべき事例なし

【外部精度管理参加実績】

5月・・・・・・静岡県医師会臨床検査精度管理調査

9月・・・・・・日本医師会臨床検査精度管理調査

適宜・・・・・・試薬メーカー等が実施する精度管理調査

【主要分析装置】

検体検査測定機器	生理機能検査測定機器	その他機器
多項目自動血球分析装置	心電計	病理標本自動染色装置
全自動血液凝固装置	長時間心電計	病理標本自動封入装置
生化学自動分析装置	長時間心電計解析装置	病理組織自動包埋装置
全自動免疫測定装置	負荷心電図測定装置	凍結切片作成装置
ヘモグロビン A1c 測定装置	肺機能測定装置	
ビリルビン測定装置	脳波記録計	
アノミア用測定装置	誘発電位測定装置	
輸血検査用自動測定装置	鼻腔通気度計	
血液ガス分析装置	24 時間血圧計	
自動細菌検査装置	血圧脈派測定装置	
自動血液培養装置	簡易聴力測定装置	
尿定性分析装置	超音波診断装置	
尿素呼気試験測定装置	自動聴性脳幹反応聴力検査装置	
血沈自動読み取り装置		
全自動遺伝子解析検査装置		

【主要迅速検査キット】

インフルエンザ抗原検出キット	HBs 抗原検出キット
アデノウイルス「眼・咽頭用」	HCV 抗体検出キット
A 群連鎖球菌抗原検出キット	梅毒トレポネマ抗体検出キット
RS-hmp ウイルス抗原検出キット	マイコプラズマ抗原検出キット
マイコプラズマ抗体検出キット	尿中肺炎球菌抗原検出キット
尿中レジオネラ抗原検出キット	便中ノロウイルス抗原検出キット
便中ロタウイルス抗原検出キット	プロカルシトニン半定量キット
H-FABP 検出キット	便中 CD トキシン A/B 検出キット
新型コロナ抗原検査キット	

【令和5年度検査実績】

検査部門	検査件数	健診件数	合計
血液検査	53,867	5,565	59,432
生化学検査	83,318	5,674	88,992
免疫検査(キット含む)	17,069	1,099	18,168
尿・一般検査	20,136	15,362	35,498
細菌検査(抗酸菌含む)	5,849	該当なし	5,849
生理機能検査	13,237	13,247	26,484
病理検査(迅速含む)	2,940	左記に含む	2,940
輸血検査	3,353	該当なし	3,353
新型コロナ PCR	99	該当なし	99
交差試験(総パレット数)	753	該当なし	753
院内検査合計	200,621	40,947	241,568
外注検査	24,090	左記に含む	24,090
合計	224,711	40,947	265,658

「輸血検査」(血液型・不規則性抗体)

【院内委員会活動他】

院内感染防止対策委員会、輸血療法・血液製剤委員会、臨床検査委員会、医療安全管理委員会、労働安全衛生委員会、褥瘡対策・スキンケア委員会、診療録管理委員会、学術委員会、情報委員会、HCU 運営委員会、ドック・健診委員会、シミュレーションセンター運営委員会、療養環境改善委員会、診療体制検討委員会、DMAT

【令和6年度を振り返って】

昨年同様、新型コロナウイルス感染症が5類となり、1800件あったPCR検査が100件を切るまでに減少した。迅速キットの使用も減少しておりコロナ禍前の状況に戻りつつあるが、勉強会等のスタイルが変化しWEB等での開催が多くなった。自分で時間を作り視聴するスタイルになった為、繁忙時やLWBの兼ね合いで参加率は決して良くない状況。コマーシャル含め参加率向上が今後の課題である。

病理検査部門

【人員構成】

病理医・・・・・・・・・・非常勤2名（火、水、金）

臨床検査技師・・・・・・5名（1名時間勤務者）

【令和6年度実績】

術中迅速検査・・・・・・19件

病理組織・・・・・・・・・・手術材料・生検件数合計1,311件

細胞診・・・・・・・・・・1,647件

剖検・・・・・・7件（4月、5月、7月、9月、10月、11月、12月 合計7症例実施）

【令和6年度を振り返って】

昨年度剖検件数は3件と少なかったが、今年度は7件と増加した。人員不足ではあったが何とか対応できた。CPCへ出す症例数は余裕がない状況は変わらず。

また、免疫染色標本の件数増加に伴い、同時に標準化を目指し引き続き機器購入も視野に入れた検討を行っていききたい。

栄養室

【基本方針・目標】

*基本方針

「人間栄養学」に基づき、積極的な栄養治療を追求する。

患者・家族の気持ちと生活を大切に、退院後の生活を視野に入れた栄養ケアを行う。

*目標

患者一人一人の病態にあった食事の提供で満足向上をめざす。

栄養ケア・マネジメントシステムの確立

*評価・反省

稼働病床数減少も影響し、入院の栄養指導件数の実績減少率は34%でした。

【人員構成】（令和6年度3月末現在）

*栄養室

管理栄養士 4名

非常勤管理栄養士1名 週2回

栄養士 1名

令和6年04月01日 2名 新卒入職

令和6年11月18日 1名 学生見学

令和6年12月21日 2名 面接（1名 令和7年度新卒採用）

令和7年03月31日 1名 退職

*評価・反省

栄養室クリニカルラダー臨床管理栄養士育成プログラムを確立し、令和6年度より運用を開始しました。毎月第3木曜日に栄養室内研修実施いたしました。

*給食

給食委託は平成17年より株式会社LEOCと契約し継続。

給食業務は病院栄養士が献立を作成し、食材発注と管理、調理、配膳、洗浄を委託としています。委託業者には管理栄養士、栄養士、調理師、調理補助の23名のスタッフが従事しています。

令和6年4月1日 委託管理費の値上げがありました。

【実績】

*給食管理

院内約束食事基準にしたがい、医師の指示により食事提供を行いました。

	一般食	濃厚流動食	特別食	特別食割合
令和 5年度	113,722	5,296	58,550	32.9%
令和 6年度	108,173	4,526	47,314	29.6%

*食の楽しみの提供

季節行事をテーマとして年間15回行事食を提供しました。

*嗜好調査

令和6年8月7日に88人を対象に嗜好調査を行いました。

*実習生受け入れ

令和6年8月5日～8月9日 日本大学短期大学部 食物栄養学科 2名

*栄養管理

令和7年6月診療報酬改訂に準じて栄養スクリーニングはNRS-2002とMNA-SFを使用し、栄養評価はGLIM評価判定を運用開始しました。スクリーニングにより、「特別な栄養管理の必要がある」と判断された患者に栄養管理計画を作成、栄養ケアを実施しました。管理栄養士病棟配置に向けての人員調整を行いました。

*栄養指導

医師の指示により外来・入院時の栄養指導を行いました。

	外来栄養指導	入院時栄養指導	合計
令和 5年度	1,272	807	2,079
令和 6年度	1,161	535	1,696

*栄養サポートチーム

毎週火曜日、チームによるカンファレンス・回診を行いました。

システムを使用し低A1b血症の抽出を行い対象者のスクリーニングを行いました。

	回診件数	実人数
令和 5年度	365	152
令和 6年度	452	202

* 早期栄養介入管理加算

人員の増員を計画し HCU での算定を令和 6 年 2 月より算定開始いたしました。

	250 点	400 点
令和 5 年度	99	110
令和 6 年度	368	394

* 研究発表等

研究発表はありませんでした。

令和 6 年 6 月 18 日に静岡県給食協会より優良給食施設で当院が表彰を受けました。

(5) リハビリテーション室

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・リハビリテーション医療の技術を通じ、患者様のADL（日常生活動作）及びQOL（生活の質）の向上に努めます。
- ・急性期→回復期→生活期への移行に向けた医療の一員として、チーム医療の調和に努めます。

*目標

- ・急性期から在宅までシームレスなリハビリテーション提供体制の拡充

*評価・反省

- ・地域生活への移行、定着を目指して入院及び外来対象者にリハビリテーションを実施しました。
- ・退院調整カンファレンスへ積極的に参加したり、リハビリ見学を受け入れて円滑に地域移行できるよう取り組みました。
- ・理学療法において、回復期リハビリテーション病棟だけでなく、一般病棟においても365日訓練提供体制を継続しました。
- ・患者管理システムを統合し、業務効率化を進めました。
- ・真鶴町国保診療所へ作業療法士を1名4月～1月まで週2回、2月・3月は週1回派遣しました。
- ・医療保険の在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料による退院直後の在宅訪問についてはほとんど実施できませんでした。
- ・言語聴覚士の不足に対して、あま市民病院、東京北医療センターから半年ずつ支援をいただき、臨床と教育に協力いただきました。
- ・療法士数が不足している状況が続いており、求人活動の継続と、新人・若手の教育に注力します。

【人員構成】（令和7年3月末現在）

理学療法士	13名	
作業療法士	9名	
言語聴覚士	2名	計 24名

【業績】

＊リハビリテーション実施数

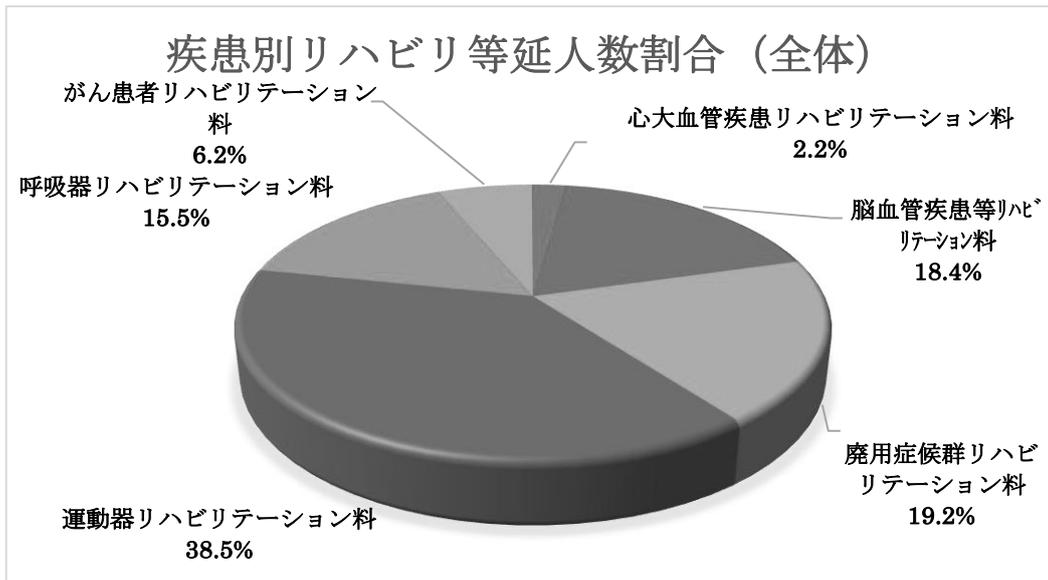
昨年度と比較すると全体的にリハビリテーション実施者は減少傾向でした。脳血管疾患等リハビリテーション、運動器リハビリテーションが減少し、廃用症候群リハビリテーション、呼吸器リハビリテーションが増加しました。

疾患別リハビリテーション料実施患者数（延人数）

項 目	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	707	462	—
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）口以外	4375	4041	1387
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）要介護	0	0	0
脳血管疾患等リハ料（Ⅰ）（要介護・目標未設定）	0	0	0
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）・目標未設定	58	29	15
合計	4433	4070	1402
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）	5718	3451	664
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）・目標未設定	304	178	41
合計	6022	3629	705
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	13873	6766	—
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）・目標未設定	107	40	—
運動器リハ料（Ⅰ）（要介護・入院外・目標未設定）	0	0	—
合計	13980	6806	—
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	4398	2461	1486
総計	29540	17428	3593

その他実施患者数（延人数）

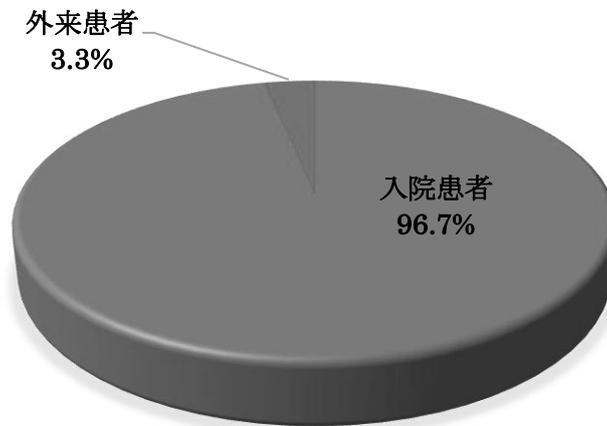
項 目	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
がん患者リハビリテーション料	1639	1695	13
摂食機能療法	0	0	17
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料	0	0	0



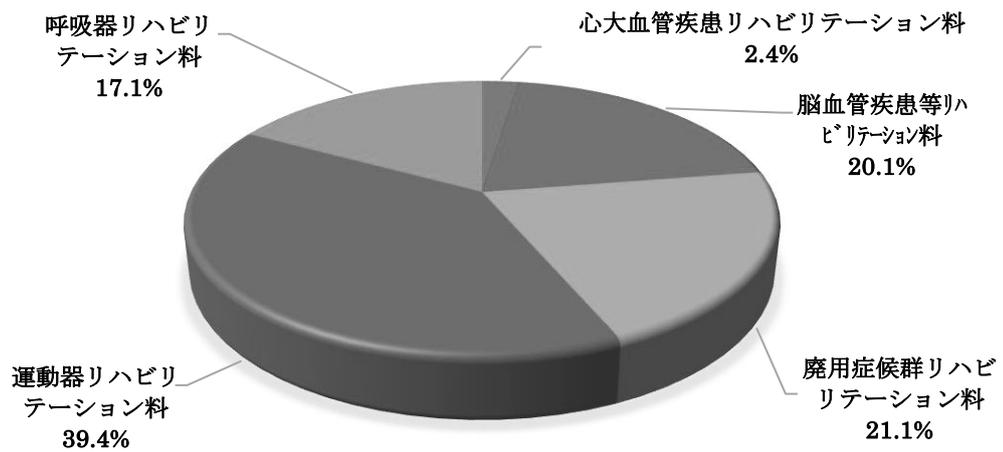
疾患別リハビリテーション料実施患者数（入院外来別延人数）

項 目	入院	外来	全体
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	1167	2	1169
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)口以外	9735	68	9803
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)要介護	0	0	0
脳血管疾患等リハ料(Ⅰ)(要介護・目標未設定)	0	0	0
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)・目標未設定	102	0	102
合計	9837	68	9905
廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	9787	46	9833
廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)・目標未設定	523	0	523
合計	10310	46	10356
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	19107	1532	20639
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)・目標未設定	147	0	147
運動器リハ料(Ⅰ)(要介護・入院外・目標未設定)	0	0	0
合計	19254	1532	20786
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	8339	6	8345
総計	48907	1654	50561

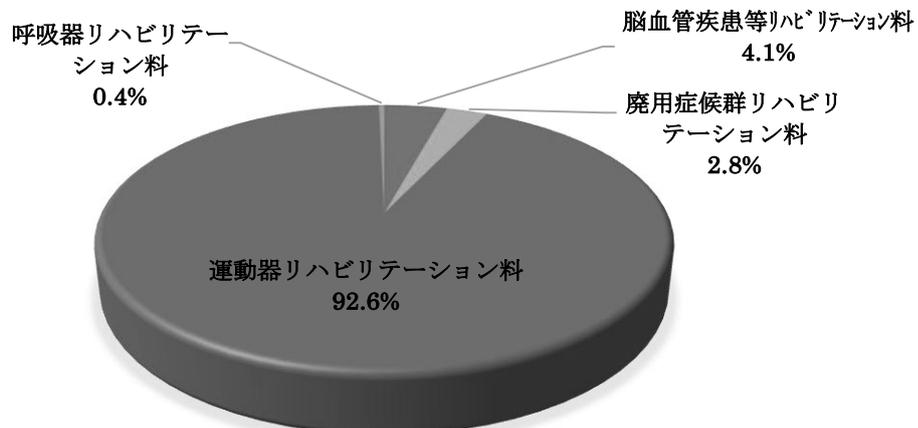
入院・外来リハビリテーション実施割合



疾患別リハビリ延人数割合（入院）



疾患別リハビリ延人数割合（外来）



【その他】

＊静岡県熱海伊東圏域地域リハビリテーション強化推進事業

熱海・伊東圏域地域リハビリテーション強化推進事業における支援センターとして、伊東市、熱海市の介護従事者や一般市民に対する事業の企画運営に関与しました。

事業内容

日付	タイトル	対象者
令和6年6月1日～令和7年3月31日	リハビリテーションマップ作成協力	
令和6年6月1日～令和7年3月31日	ノベルティグッズ（ペットボトルオープナー）追加作成	
令和6年7月25日 令和6年7月17日 令和6年12月13日 令和6年6月5日 令和7年3月5日	第1回連絡協議会（web） 第1回実務者連絡会 第2回実務者連絡会 第1回意見交換会 第2回意見交換会	評議員 実務者 広域支援センター・支援センター・行政（県・各市）
令和6年8月9日 令和7年3月2日	第1回医療と介護のくらし祭り 第2回医療と介護のくらし祭り	市民・県民
令和7年1月30日	多職種研修会 「在宅における心不全増悪予防の取り組みについて」	医療介護従事者
令和6年8月27日	地域包括医療推進会議	医療介護福祉従事者

＊地域活動

日付、回数等	事業名
年間29回	伊東市介護認定審査会（伊東市役所：梶原、木村）
年間19回	介護予防事業へ理学療法士・作業療法士派遣
年間1回	自立支援型地域ケア会議へ作業療法士派遣

*学会発表等

期間	学会名	演題名	発表者
令和6年12月15日	日本理学療法教育学会	理学療法士のベテランと新人の大 腿骨頸部骨折術後における臨床推 論の着眼点の違い	小松正彦

*学生の受け入れ

令和6年度は高校生2名の職業見学を受け入れました。

臨床実習は、理学療法学生8名、作業療法学生2名の実習を受け入れました。

自治医科大学医学部の学生1名の見学実習を受け入れました。

*研修医の受け入れ

当院臨床研修センターの初期研修医3名の研修を受け入れました。

臨床工学室

1. 【基本方針】

- ・医療機器の安全性を向上させ患者さまに安心して治療して頂けるように努めます。
- ・チーム医療を担う一員として医療機器の保守、管理業務の充実に努めます。
- ・医療機器の情報を臨床の場に提供し医療機器を安全に使用できるように努めます。

【目標】

- ・MEセンターにて管理する医療機器の点検を確実に実施する。
- ・安全に医療機器を使用する為に使用方法や管理方法の徹底をする。

2. 人員構成（令和7年3月末現在）

臨床工学技士 2名

3. MEセンターで中央管理している機器（令和7年3月末現在）

機器名	メーカー	機種名	台数
輸液ポンプ	テルモ	TE-261	90
シリンジポンプ	テルモ	TE-351	35
		TE-371	3
人工呼吸器	日本光電 フィリップス	ハミルトン C1	6
		V60	3
簡易人工呼吸器	スミスメディカル	パラパック 200D	1
		パラパックプラス	1
ネーザルハイフロー	フィッシャーアンド パイクル	AIRV02	5
ベッドサイドモニタ	日本光電	PVM-2703	27
	日本光電	PVM-4763	21
	日本光電	BSM-6501	14
	日本光電	BSM-6701	4
	日本光電	BSM-2301	15
送信機	日本光電	ZS-930P	9

	日本光電	ZS-630P	33
セントラルモニタ	日本光電	CNS-2101	2
	日本光電	CNS-6101	3
	日本光電	CNS-9601	1
テレメータ	日本光電	WEP-5208	2
	日本光電	WEP-1650	1
	日本光電	WEP-1200	1
除細動器	日本光電	TEC-5631	4
	日本光電	TEC-5621	4
	日本光電	TEC-5531	1
	日本光電	AED-3100	2
低圧持続吸引器	泉工医科	メラサキューム MS-009	4
人工透析装置	日機装	DBB-200Si	1
血液浄化装置	旭化成メディカル	ACH-Σ	1

4. 業務

(1) 点検業務

中央管理機器の使用後、使用前点検を兼ねて貸出点検とし、返却後の機器の清掃・点検を行いました。また、各機器のメーカー推奨の期間で定期点検を行いました。

(2) 貸出業務

貸出点検が終了した機器を各部署に貸し出します。その際、医療機器管理ソフトを使用し円滑に行いました。

(3) 使用中点検業務

人工呼吸器に対しては、使用中点検を行いました。患者さまに使用している機器を看護師と共に機器本体のチェック、各種設定の確認を行いました。

(4) 機器管理業務

不具合のある機器の修理依頼や各機器の情報などメーカーと連絡をとり、機器の管理を行いました。

(5) 臨床支援業務

集中治療室や病棟での各種医療機器関連業務、救急外来での機器の装着、ペースメーカーチェックなどを積極的に行いました。

(6) 院内学術活動

医療機器安全推進チームと協力し、勉強会を企画・実施しました。

(7) 発表等実績

高橋 大智

「当院で行われている CHDF と Hi Flow CHDF の除去効率の違いについて」

第 3 4 回 院内研究発表会 令和 7 年 2 月 1 7 日

6. 現況

新病院移転から 10 年が経過しテレメータ関連の電波状況を調査した結果、各病棟で悪化がみられたため改善のためのアンテナ工事を行いました。

また、除細動器や AED の更新があったため安全に使用するための操作説明会を開催しました。

臨床工学室で管理している各種マニュアルを見直し、改訂を行いました。

4. 看護部

1) 看護部総括

【看護部理念】

私たちは、患者さんに満足していただける看護を提供します。

【今年度目標と具体的展開】

(1) 安全で質の高い看護の提供

- ・患者家族にとっての最善を常に考え、チームで継続した看護の提供
- ・看護専門職として責任と成果のある看護を実践する
- ・災害時における危機管理体制の整備
- ・病院機能評価受審を通じて、看護、ケアについて見直す機会にする

(2) 働き方改革（看護職員の負担軽減）の推進

- ・看護業務の効率化
- ・時間外勤務の削減
- ・特定技能生の受け入れ
- ・安全な職場づくり

(3) 人材育成と自己啓発・研鑽の推進

- ・病院理念、看護部理念、「協会共通クリニカルリーダー」と固定チームナーシングの連動
- ・自己研鑽のための学習環境の整え
- ・特定ケア看護師、専門/認定看護師コース進学の推進
- ・マネジメントリーダーの活用と、倫理的組織運営を実践することによる看護管理者としての成長

(4) 地域との連携推進

- ・地域の看護職との連携推進
- ・専門看護師、認定看護師による地域での活動促進

(5) 病院経営への積極的な参画

- ・効率的な病床管理
- ・感染症対策の継続
- ・周産期体制の再建
- ・人材確保の在り方の見直し

【評価】

(1) 安全で質の高い看護の提供

人員は限られており、部門内部署間応援を円滑に進めることや院外からの派遣看護職員がスムーズにチームに入れることが重要でした。その上で個々が力を発揮し質を低下させず看護を提供したいと考え、令和6年3月から一部機能別を取り入れました。具体的には総リーダー・フリー役の導入などです。リーダーレベルの部署による偏りをなくすために、配置換えを行いました。そのことにより、総リーダーを担うレベル者数が部署間で平均化され、看護職員数の減少に対応できました。

半年はこのシステムを軌道に乗せることに精一杯でしたが、下期にはより高い看護の質にやっと目がいくようになりました。転倒転落率、褥瘡発生率、患者満足度調査結果、ご意見数や内容等はまだ変化していませんが、成果を出すための微調整や工夫を繰り返しています。

(2) 働き方改革（看護職員の負担軽減）の推進

当院の人材不足は看護職員に限ったことではなく、薬剤師や管理栄養士等の医療技術部の不足も顕著です。そのため多職種連携が不十分な状況は続き、病棟薬剤師配置に向けプロジェクトで検討され、機器導入や助手が配置されました。薬剤管理を薬剤師が担い看護師が患者のベッドサイドにより出向けるようさらに検討が必要です。

入院患者の多くは救急外来経由の内科患者で、クリティカルパスを適応しにく状況です。そのため入院受け入れに時間を要しカルテ記載で時間外勤務が発生する状況が続いています。引く続き診療部と検討を続けます。なお、既存のクリティカルパスの運用については、部内委員会活動で成果を上げました。

(3) 人材育成と自己啓発・研鑽の推進

レベルごとのグループで院内研修を行い、チャレンジレベルのものは時間内研修扱いとしました。また、レベルスティ者も自由に参加できるよう媒体の工夫などしましたが、自分の時間を使つての参加は見られませんでした。

看護提供方式の一部変更により、役割を日々割り振る際、ラダーをより意識するようになりました。ラダーごとの目標や個々の課題を踏まえたOJTがやりやすくなりました。

院外研修については、本部研修と看護協会研修を中心に企画しました。静岡県看護協会の感染管理認定看護師教育課程を1名無事修了し、来年度秋受験予定です。先輩認定看護師の姿に触発されてのことですが、他の分野でも一步を踏み出そうする声が聞かれます。実習指導者等講習会も、受講希望の強かった主任が修了しました。看護学生の実習指導だけでなく、主任の人材育成能力向上に直接的に影響するので、これからもこれらの機会を捉えていきたいと考えます。

(4) 地域との連携推進

退院支援を通じて地域の施設・訪問看護ステーション等の職員と顔の見える関係を築きました。また、認定看護師やDMAT看護師が研修講師として出向く機会を増やし当院の人的資源を地域で生かすことができました。行政では、伊東市高齢者福祉課や健康推進課の事業への参加により、未病・健康増進期にある対象にもアプローチしました。今後はこのような機会を更に計画的に運用し、地域に開かれた地域とともにある病院の役割を果たしていきます。

(5) 病院経営への積極的な参画

令和5年度に看護職員の退職が想定以上に多く、令和6年3月から4北病棟43床を休棟しました。そのため最大収容可能床数は207床となりました。また、年度末の病棟再編成に伴う職員の大規模な配置換えにより対応力が懸念されることとなり、HCUを12床から6床に、3南病棟を50床から35床に減らさざるを得ませんでした。年度末3月では184床で運用しています。協会内派遣・業者派遣看護職員を活用しての病床管理です。

伊豆地域の人口減少・少子高齢化は益々急速に進行しており、地元出身の新卒看護職員を確保するのに難渋しています。また他地域出身者は数年で退職する傾向にあります。現実的には、働き続けられる多様な勤務体制や人間関係の調整などで、できるだけ辞めない職場作りが重要と考えます。加えて、協会本部との連携や派遣会社の選別などにより人材を確保する方向で今後も運営せざるを得ない状況です。

静岡県東部は全国的にも特異的にVRE保菌者が多く、接触感染予防策の徹底が必要です。しかし院内感染と思われる症例が発生し、改めて感染予防対策を見直しました。個室管理、

場合によってはコホート管理、おむつ交換手技の見直し、汚物処理室の定期的な清掃など、感染管理認定看護師を中心に現場では部署リンクナースが指導的に関わりました。コホート管理では病棟間で患者を移動させ男女を集約することで、収容不可能床をできるだけ出さないよう運用しました。

3南病棟の周産期サテライトベッドとして4北病棟を運用し、31件の分娩に対応しました。入院患者不在時は助産師は産婦人科外来を、看護師は3南病棟業務を担当しました。今後もこの運用で地域のニーズに対応していきます。

【人員構成等】（令和7年3月末現在）

* 部署別職種別配置数

	看護師数	准看護師数	助産師数	介護福祉士数	看護助手数	クラーク数
3南病棟	16			1	4	1
HCU	17				1	1
4南病棟	12	2		7	1	1
周産期サテライト	4		7			1
5南病棟	21	1		2	6	1
5北病棟	22			2	7	1
手術室・中材	7				4	
外来	23	2		1	2	7
看護部長室他	11					
産休育休等	3					
小計	136名	5名				
合計		141名	7名	13名	25名	13名

* 病棟構成と稼働床数

病棟	主な診療科/経過別	稼働病床数	看護職員配置基準	夜勤数
3南病棟	消化器外科/脳神経外科/形成外科 内科	35	10対1	2
HCU	急性期	6	4対1	2
4南病棟	回復期リハビリテーション	42	15対1	2
周産期サテライト	産婦人科/女性眼科	不定		1
5南病棟	整形外科/泌尿器科/内科	50	10対1	3
5北病棟	内科	51	10対1	3
合計		184床		

* 専門看護師・認定看護師等の配置

氏名	名称	分野	配置先
上原章江	専門看護師	小児看護	外来主任
園田絵利	認定看護師	集中ケア	HCU
佐藤千恵	認定看護師	脳卒中リハビリテーション	5北病棟主任
佐藤留美	認定看護師	皮膚・排泄ケア	在宅療養支援準備室師長
島田明恵	認定看護師	感染管理	感染対策室長

林 智春	認定看護師	がん化学療法看護	入退院支援室
小川法之	特定ケア看護師		診療部
坂本真弓	特定ケア看護師		診療部
進士勇介	特定ケア看護師		診療部

【実績】

* 部内委員会活動総括；業務

名称	リーダー	メンバー	活動実績・評価	残課題/方向性
リスクマネジメント部会	太田早苗 八木佳誉	村松眞帆 杉山里加 杉本敦美 加藤実鈴 河野洋志 杉本篤彦 鈴木美恵	CLIP 報告数は 504 件、前年度よりも 72 件減少した。事例減少の印象はないので単に報告数の減少と判断する。内容は、転倒転落、誤薬、留置針・チューブ管理が多かった。転倒転落・環境ラウンドを実施し、部署内での対策検討を促した。他部門との情報共有のための赤札について評価し代替案を作成した。	CLIP 報告を促す。環境ラウンド評価項目に留置物管理状況を追加する。赤札代替案を評価する。
感染リンクナース会	島田明恵 坂本綾乃	中野眞由美 石田涼一 中村智恵子 金指順起 竹田満代 小川高弘 田中弘樹	アルコール手指消毒剤使用量の目標を設定し教育啓蒙活動を行った。が目標 15mL は達成せず 9.6mL/1 患者/日だった。年々増加傾向ではある。「感染リンクニュース」を発行し情報を発信した。	アルコール手指消毒剤を WHO 推奨の 5 つのタイミングで確実に実施できるように教育活動を継続する。
認知症せん妄ケア委員会	市川直美 稲葉明子	田畑拓郎 土屋貴子 伊藤美也子 木村友美	ナーシングスキルを活用した全体研修により対応力向上への意欲は上がった。が、実際は対応に苦慮する事例が多いことがアンケートからわかった。認知症ケア加算のコスト漏れに対し、資料を配布し再周知を図った。	対応困難事例を集積し分析する。分析結果や資料の事例について部署での振り返りを促す。コスト請求状況を定期的に確認する。
看護基準手順会	佐藤留美 関美和子	長谷川彩香 白橋奈美 松田鮎美 勝田妙 大塩明日香 沢田和美	ナーシングスキル（以下 NS）新聞を発行し活用を促したが、部署・手技により差があった。看護ケアに関するものは活用率が低かった。NS のノート作成を進めた。CV・PICC 固定方法等である。	NS の活用を促す。活用しやすい媒体を検討する。経管栄養チューブに関する事項は引き続き懸

看護記録委員会	市川直美 関美和子	高橋幸司 濱野美恵 宮澤飛名 小川眞由美 石井大貴	看護記録基準を修正した。年2回の記録監査により量的には問題ないとわかった。ナーシングスキルを活用した看護必要度研修により変更点の理解が深まり、毎日のチェックの精度が向上した。	案である。 記録の質を監査する。部署委員が現場で質を見直す。記録監査と必要度研修は継続する。効率的記録のためにパスを推進する。
クリニカルパス部会	鈴木美香 伊藤美樹 小川喜代美 高瀬佐和子	大川幸子 田畑拓郎 八木里名 小川衣 小川菜月	内科パスの使用率が11.7%と2.4%上昇したが、目標15%には到達しなかった。既存パスの修正、新規作成を行った。パス未終了事例を確認し委員が対処したが、各自にフィードバックすることで減少した。	医師と協働し新規パスを作成する。既存パスを見直す。必要時看護記録を記載することを周知する。

* 部内委員会活動総括；教育

名称	リーダー	メンバー	活動実績・評価	残課題/方向性
継続教育研修委員会	築地美恵 佐藤千恵 上原章江	飯塚由貴 園田絵利 木村真弓 福嶋亜衣	off-JTの参加率は90%以上だった。ラダーIVVの者にはoff-JTへの自主的参加を促したが反応はなかった。OJTで定期的に振り返りを行ったが、組織的役割能力は向上しなかった。研修内容を吟味して6項目に絞ったが、ラダー評価の改善は確認できなかった。チームリーダー会の講師を主任が担当したのは、相互に効果的だった。	ラダーステイヤーへ教育を行う。組織的役割遂行能力を向上させる教育内容を企画する。
新人看護教育研修	伊藤美樹	杉本篤彦	教育内容は基礎看護技術の確認と臨床看護の演習で、これらのバランスを工夫した。他部門講師の場合は内容の打ち合わせが重要だった。年間を通じて毎回メンタルコントロールに関する内容も組み入れた。月1回のoff-JTが同期の交流の場としてリフレッシュの機会となった。	メンタルコントロールに関する研修内容を委員会等で検討する。BLS研修の時期は夜勤開始時期との関係で調整が必要である。

看護補助者研修	伊藤美樹 小川喜代美		全体を3グループに分け、開催月に4回実施した。ミャンマー補助者の研修内容は工夫が必要だった。チェックリストでの振り返りや協会共通ラダー表を試行した。	介護福祉士・看護助手の研修内容を区別する。ラダー表の運用を検討する。ミャンマー研修生は看護助手グループに入れる。
---------	---------------	--	--	--

* 部内委員会活動実績；教育

委員会	内容	開催月	参加人数
看護継続教育委員会	ラダー I II III ; 固定チームナーシング	5月	16名
	教育・指導力	6月	16名
	医療安全	7月	16名
	看護倫理	8月	16名
	看護記録	9月	16名
	救急・災害看護	10月	16名
	看護研究	11月	5名
	チームリーダー会	10ヶ月	10名
新人看護教育研修	入職時	4月	5名
	医療機器の取扱い/心電図の基礎	5月	5名
	医薬品の知識/検体検査/輸血	6月	5名
	BLS/急変時の初期対応	7月	5名
	KYT・CLIPの振り返り方	8月	5名
	3ヶ月の振り返り	9月	5名
	人工呼吸器管理	10月	6名
	6ヶ月の振り返り	11月	6名
	化学療法を受ける患者の看護	12月	6名
	自分を知る	2月	3名
1年の振り返り	3月	5名	
看護補助者研修	感染管理	6月	51名
	倫理・接遇	8月	51名
	認知症・せん妄患者への対応	10月	51名
	誤嚥予防・食事介助	2月	51名

* 研修生名簿

レベル等	人数	氏名
新人看護師	6名	伊澤尚優/瀬戸愛海/斉藤 舞/若原 瑠/竹内彩桜/鈴木優香/櫻田ゆみ
ラダー I	5名	可知潮音/渡辺真尋/清水真奈美/大塩沙耶香/比知屋公恵
ラダー II	7名	野中楨南/松田鮎美/宮澤飛名/木部葉月/佐藤あいり/大塩明

		日香/會澤萌加
リーダーⅢ	4名	勝田 妙/春田麻里菜/石井大貴/堀畑 涼
チームリーダー	10名	飯塚由貴/松村真帆/鈴木成美/大久保さおり/長谷川亜紀/木村友美/坂下晃樹/杉本篤彦/鈴木恵美/田中弘樹
看護補助者	51名	氏名省略 介護福祉士；13名 看護助手；20名 クラーク；13名 ミャンマー生；5名

* 院外研修受講状況

主催	研修名	日数	受講者
協会本部	新人看護師長研修フォローアップ研修	1日	鈴木美香
	中堅看護師長研修	2日	山登賢二
	新人主任研修	2日	八木佳誉
	中堅主任研修	2日	高瀬佐和子/瀬戸陽子
	介護福祉士研修	1日	井上江以子
	へき地・地域医療見学研修	2日	野中楨南/大塩明日香
看護協会	看護職員実習指導者等講習会	40日	稲葉明子
	看護職員認知症対応力向上研修	3日	八木恵美/後藤晴美
	「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」の研修	2日	中野真由美/鈴木成美
	感染管理認定看護師教育課程	1年	坂本綾乃
	災害看護地区研修	1日	芹澤佳歩/渡辺真尋 比知屋公恵/沢田和美
その他	災害医療従事者研修（県病院協会）	2日	八木佳誉/伊澤有美

* 部内委員会活動；その他

名称	リーダー	メンバー	活動実績・評価	残課題/方向性
人財確保委員会	山登賢二	伊藤美樹 稲葉明子 八木恵美 鈴木和美 鈴木宏子	業者の合同就職説明会に合計13回参加したが確保には繋がらなかった。インターンシップは中高生は参加したが、看護学生は少なかった。	説明会の時期や開催場所、対象等を限定の方向で検討する。地元の中高生向けの働きかけは継続する。

* 研究・実践等の院外での発表等

発表者	所属	演題	学会等
金指順起	5南病棟	急性期病棟でのVRE伝搬を予防するおむつ交換方法の取得を目指した活動経過報告	静岡県看護協会熱海伊東地区支部看護実践報告会

木村友美	5北病棟	内科病棟における単身および夫婦のみの高齢者患者の療養継続に向けた外来との連携に関する取り組み	同上
------	------	--	----

*実習・研修受入状況

学校名 主催者名	学年 等	実習名 研修名	人数	日数	実習場所 研修場所
静岡県立看護専門学校	1年	基礎看護学1-①	5名	2日	4南病棟
		基礎看護学1-②	5名	4日	4南病棟
		基礎看護学2	5名	11日	5南病棟
	2年	成人老年看護学2	5名	10日	5北病棟
		成人老年看護学3	5名	10日	5北病棟
3年	成人看護学5	5名 2グループ	10日 ×3	3南病棟/5南病棟/ 手術室/HCU	
国立病院機構静岡医療センター附属静岡看護学校	2年	老年看護学	5名 3グループ	5日 ×3	4南病棟
地域医療振興協会 地域看護介護部 (本部)	ラダ ーⅡ Ⅲ	へき地・地域医療 見学研修	13名	半日	

*職場体験等受入状況；事業は半日～1日

対象	事業名（主催）	日数	回数	延人数
中学生	病院体験会（看護部）	半日	2回	4名
高校生	高校生1日ナース体験事業 （静岡県ナースセンター）	1日	1回	4名
	病院体験会（看護部）	1日	2回	13名
	インターンシップ（伊豆伊東高校）	2日	1回	8名
看護学生	病院体験会（看護部）	1日	2回	2名

（文責 看護部長 鈴木宏子）

2) 3南病棟

【目標】

- (1) 個の気づきを大切にチーム看護に発展していくことができる。
 - ・カンファレンス開催の定着
 - ・カンファレンス記録の看護計画への反映
 - ・チーム会の開催
- (2) 患者、家族の思いを活かした看護を实践できる。
 - ・看護提供方式の定着と患者家族との対話時間の確保
 - ・患者家族の思いが見える看護記録と看護計画への反映

【活動評価】

- (1) リーダーの育成によりカンファレンス開催が定着しました。また、カンファレンス

では、リーダーがファシネーターとなり職員の経験値に関係なく個々の気づきを引き出し、チームで話し合いのできるカンファレンスに変化しました。その効果か、平均在院日数が昨年度 14 日から 12 日と短縮しました。

短期派遣看護師の活用によりめまぐるしく顔ぶれが変わる落ちつかない状況でした。お互いを認め高め合うチーム作りのために CLIP 事例検討や勉強会の機会を増やしました。結果、自主性や活発なコミュニケーションが生まれ、チームが活性化しました。

(2) 看護提供方式を修正したため、責任の所在の明確化が必要でした。そこで掲示等を工夫し混乱を回避しました。また、フリー役の割り振りにより円滑にタスクシフトでき、患者・家族と関わる時間が確保できました。

療養環境が原因と思われる転倒・転落、留置物の管理に関する CLIP 事例数は、昨年度 52 件に対し今年度は 33 件と減少しました。また、CLIP 数全体についても昨年度 115 件に対し今年度 73 件と減少を認めました。

また、病床利用率は 103%であり、1 日約 3 人程度の入退院患者に対応しています。5 人以上の入院対応も珍しくありません。このような状況では綿密なベッドコントロールが必要です。来年度も引き続き効率的に運用していきます。

(文責 看護師長 太田早苗)

3) HCU

【目標】

- (1) 入院時より退院をみすえ介入できる。
 - ・患者の全体像（身体的・社会的・家族的）を把握する。
 - ・得た情報を他職種連携にいかす。
- (2) 初期ケアを実践する。
 - ・急性期における全身管理の看護を実践する。
 - ・廃用症候群を起こさない看護を実践する。

【活動評価】

(1) 患者や家族から意図的に情報収集することで初期情報となる看護プロファイルの入力漏れを減らすことができました。具体的な生活内容に関する退院支援シートを使用し、退院支援カンファレンスで情報を共有しました。このカンファレンスでは、支援の必要性についてアセスメントし、必要に応じ MSW へ情報提供をしました。退院支援シートの情報は他職種も活用しており、より共有しやす運用方法を検討する予定です。

集中治療室から退院する事例は少ないですが、入院治療継続が難しい患者では家族や地域の専門職との連携が必要です。退院前カンファレンスにより必要な介護や環境整備について調整を行いました。

(2) ACLS リーダーの役割を習得できるよう、急変時対応の勉強会を 3 回/年実施しました。経験の少ない職員は回を重ねるごとに自信が付き役割をイメージし、状況把握や協働しての動きができるようになりました。リーダーを担う職員の育成だけでなく、スキルの維持のためにも今後も継続する必要があります。

廃用症候群予防ケアについて、朝カンファレンス時に援助内容を確認しあいました。職員は予防することの重要性を意識するようになり、元々の ADL をイメージしたより個別

性のある援助を考える機会となりました。また、ROM 運動や早期離床はせん妄予防にも繋がっています。

重症度が高く標準的に褥瘡予防マットを使用しているため、昨年度の褥瘡発生率は1.4%と院内では低い水準です。また、医療機器による圧迫損傷を起こさないよう引き続き注意が必要です。

(文責 看護師長 内山裕季子)

4) 4 南病棟

【目標】

- (1) 患者・家族の意思決定を支援し現状に合った退院調整を行う。
- (2) 多職種と連携をはかる。
 - ・獲得された ADL に合わせた環境整備によって安全な療養環境を提供する。
- (3) 生活環境をみずえた家族指導を行う。

【活動評価】

- (1) 患者や家族が退院後の生活を見据えた退院時の目標を描けるよう、入棟時に改めて患者や家族に確認しています。困難だった日常生活動作がリハビリテーションや工夫により可能となる喜びを患者が感じられるよう関わりました。目標の修正が必要になったときは、患者や家族に寄り添い、次の生活について思い描けるよう支援しました。
- (2) リハビリテーションによって改善される日常生活動作に合った環境整備をきめ細かく行ったことで、今年度の転倒転落件数は17件/年でした。
- (3) 退院後に必要な設備や用具、サービスなどを他職種と連携し調整したことで家族の不安を軽減しました。そのためには、家族からの情報収集や自宅訪問により直接環境を確認する必要があり、そのための調整をしました。家族への介護技術の指導も行いましたが、家族の個別性に合わせ、回数を増やしたり退院後に扱いやすい物品に変えたり工夫をし、介護への不安が軽減するよう取り組みました。来年度は毎日のリハビリテーションの時刻を患者自身が認識できるよう働きかけることを計画しています。

患者の病態や日常生活レベルを把握し、重症度の高い時期での受け入れを調整しました。入棟時の看護必要度10点以上の患者は年間平均36%で3割以上を維持し、在宅復帰率85.4%、日常生活機能改善率67.5%と、いずれも基準を満たすことができました。病床稼働率を考慮し1日あたりの退院患者数を原則1名とし、MSWと連携しコントロールしました。同時に各病棟の多職種カンファレンスに参加し、各病棟各診療科の状況把握に努めました。

(文責 看護師長 土屋千笑)

5) 周産期サテライト

【基本方針】

安全で信頼される周産期看護の提供

- ・妊娠期より患者家族の状況を把握し適切な時期に適切に援助できる。
- ・緊急時の患者対応できるよう多職種・他部署と連携できる。

【活動評価】

(1) 分娩前後の継続的な助産ケアの実践

妊娠 36 週までには出産時（入院から退院まで）の具体的な流れがイメージできるよう関わりました。必要な書類の記載サポートを行い、退院後の育児用品準備に関する指導も行いました。また、若年層や精神的支援が必要なもの、サポート体制が不足しているもの、外国人妊産婦等が 30%を占めており、それぞれの状況に個別的に応じました。

(2) 外国人妊産婦への支援

妊娠初期から文化的背景や生活習慣を把握し、食事内容や生活上の価値観等を丁寧に聞き取り、本人にバースプランに沿ったケアを提供しました。また、カンファレンスによりチーム内で情報を共有し、本人の生活スタイルを尊重しながらタイミングをみて介入しました。

(3) 母乳育児支援の強化

入院時に観察と個別指導を通じて、母乳育児の定着にむけ支援しました。本人の希望に添い「完全母乳」にはこだわらず関わりました。また、退院後に母乳外来の活用を勧め、授乳状況の確認や個別相談により母乳育児が継続できるよう支援しました。

(4) 災害時・緊急時対応の体制整備

マニュアルを整備するとともに、繰り返しシミュレーションを実施しました。実際に旅行者の緊急度グレード A 症例（1 件）に対応することができました。また、出産記念品を災害対応物品の変更し、母子ともに災害を想定した備えができるよう支援しました。

（文責 副看護部長 伊藤美樹）

6) 5 南病棟

【目標】

患者家族にとっての最善を常に考え、チームで継続した看護を提供できる。

- ・情報の共有 患者家族説明の記録の徹底
- ・コミュニケーションスキルを磨く；専門職としての対応/対スタッフ/对患者家族
- ・チーム内で個々のリーダー別役割とは何か認識し自ら実践項目を考え実践できる。

【活動評価】

大規模な配置換えにより不慣れな者が多くなり、看護の質の低下が懸念されました。主任・チームリーダーを中心に、業務内容や日課の見直しを行いました。手術患者の出棟、回復期病棟への転棟、術後管理の集中治療室からの転入の受け入れ等患者の入れ替わりが激しく、内科の緊急入院件数も増えたため、全体を把握している総リーダーの役割が重要でした。定期的に総リーダー・受け持ち・フリー役の役割を見直しました。

褥瘡発生率を全国平均に近づけるよう、体位変換やおむつ交換の時間ややり方を検討し取り組みましたが、発生率の改善には至りませんでした。褥瘡予防対策の基本が実践できるよう、来年度も引き続き取り組みます。

また、身体抑制率は常に 20%以上のため、カンファレンスで情報を共有しアセスメント内容を記録し、毎日患者の変化に応じた対策を検討し抑制を外す方向で対策を実践しました。しかし、依然として抑制率は高い状況です。

CLIP 報告内容を見ると、誤薬が目立ちます。薬品に関する知識不足というよりも、処方

薬のセットや管理でのミスが多いため、管理方法の手順を見直しました。

(文責 副看護部長 築地美恵)

7) 5北病棟

【基本方針・目標】

- (1) 地域と連携した継続看護の推進
- (2) 身体抑制実施率を 20%以下にする。
- (3) 専門職として責任ある看護を提供する。

【活動評価】

- (1) 当院外来に通院している癌患者等に対し、外来看護師と病棟看護師が連携し継続した看護が出来るよう、お互いにカンファレンスに参加したりしながらコミュニケーションを図ることができました。しかし、システム構築までには至りませんでした。
- (2) 医療機器や CV や PICC 挿入、酸素や経管栄養などのチューブ類挿入中の患者、認知症やせん妄患者など、4 点柵や介護衣の着用など入院早期より抑制となることが多く、抑制カンファレンスの場で抑制解除のための支援策を検討する機会を増やしました。しかし、身体抑制率の年間平均は 32%であり目標値には達しませんでした。そのため、今後も抑制解除のための働きかけを継続していく必要があります。
- (3) IC 時は、患者・家族の思いを記録に残すよう看護記録委員が発信し、IC 記録に残すことができるようになりました。また、過剰に感染予防策をとることがありましたが、感染委員が指導し、無駄なく速やかに対応することができるようになりました。機能別看護を取り入れフリー役を配置したことで円滑に回るようになり、職員の負担が軽減されました。それにより、時間外勤務時間の 1 人当たりの月平均時間が、令和 5 年度 19.1 時間、令和 6 年度 13.7 時間へと減少しました。しかし、入院患者数や患者層などでも変動があるため、業務内容の見直しや修正などを継続していく必要があります。

(文責 看護師長 市川直美)

8) 手術室・中央材料室

【目標】

- (1) 術後訪問達成率 90%以上
- (2) MDRPU (医療関連機器圧迫損傷) 発生率 0%
- (3) ラテックスフリーの実現

【活動評価】

- (1) 術後訪問を充実させることで継続看護が強化され、患者へのより良い看護の提供につながります。そのため術後訪問用紙を見直し、内容の充実をはかりつつ簡潔に入力ができるように工夫しました。また訪問時のフィジカルアセスメントの充実のため勉強会として、胸部の聴診方法を実施しました。訪問は、比較的件数が比較的少ない火曜・金曜に計画しました。しかし、職員数が減少したこと、火曜・金曜にも臨時手術が多くなったことで時間の確保が困難になり、達成率は 80~85%程度にとどまりました。術前訪問は担当予定の外回り看護師や調整がつかないときは代替りのスタッフが行くことにしていますが、術後訪問では代行できないことが多く検討する必要があります。

(2) 皮膚損傷に関連する勉強会を WOC に依頼し実施しました。テープの剥離剤を導入し対極板を剥がす時などに習慣的に使用するようになりました。皮膚損傷事例は発生せず経過していましたが、挿管チューブ固定テープによる表皮剥離と対極板による表皮剥離がありました。そのため発生率 0%にはなりません。これは手術に関わる全職種で取り組むべき問題であり、更に他職種と連携し対策を強化する必要があります。

(3) アレルギーチェックが不十分なままでの緊急手術もあり、安全面の強化のためラテックスフリー化を進めています。今年度は手袋に焦点を絞り完全ラテックスフリー化を目指しました。各科医師にアンケートを実施しましたが、眼科医師は既存の手袋の希望が強く導入を見送りました。眼科以外ではラテックスフリー化しました。今後は直腸温計のカバーとネラトンカテーテルの変更を計画しています。

(文責 看護師長 山登賢二)

9) 外来

【目標】

- (1) 病棟や地域と連携し継続した看護を提供できる。
 - ・カンファレンス記録や外来記録を残し、病棟や MSW と情報を共有できる。
 - ・外来継続看護を行っている患者が入院した際、退院前カンファレンスに参加し患者家族の思いに沿った退院調整に関わることができる。
- (2) 応援マニュアルを作成し、不安なく 3 科以上応援しあうことができる。

【活動評価】

(1) 慢性疾患、悪性腫瘍、化学療法中の患者などの継続看護について、以前より病棟と検討を重ねてきました。今年度は、看護記録での情報共有や退院前カンファレンスへの参加、退院後訪問への同行などを行いました。今後は継続して使える看護診断について検討予定です。

年末年始から空床が逼迫し入院受入困難で自宅療養を余儀なくされた事例が多発しました。患者が自宅で生活していく上で困ることはないかなど情報収集し、在宅療養を支援していく必要性を痛感しました。今後も地域との連携をより密にしていきます。

(2) 耳鼻科、眼科、化学療法室では応援マニュアルを作成しました。その結果、職員は安心して新しい診療科の診療補助に取り組むことができました。内視鏡、化学療法では複数の職員で対応することで、患者に安心感を与えることができました。応援を受け入れ側と応援する側で協力しあい、職員の 90%が応援可能な診療科を増やすことができました。そのため、子育て世代が多い外来では急な休みへの対応もスムーズになりました。余裕のあるときは、今後は病棟応援を増やす計画です。

(文責 看護師長 鈴木美香)

10) 在宅療養支援準備室

【基本方針・目標】

* 基本方針

- ・ 創傷・オストミー・失禁分野における院内外のコンサルテーション活動を通して、地域

医療や看護の質の向上に貢献する。

***目標**

- ・ 褥瘡対策や褥瘡予防、スキンケアを推進し、褥瘡保有者の減少を目指す。
- ・ ストーマ造設予定者、ストーマ保有者の排泄リハビリテーションを支援する。
- ・ 創傷・失禁分野において、専門知識と技術を用いたケアを実践、指導を行う。
- ・ 専門分野におけるコンサルテーション活動を通して、在宅支援を行う。

【評価・反省】

本年度の院内褥瘡推定発生率 3.76%と昨年度の 2.03%より悪化し、残念な結果となりました。また持込患者も非常に多く、褥瘡有病率自体も 8.49%と悪化しました。院内発生の褥瘡、持込の褥瘡ともに目立ったのは、多発褥瘡（一人で複数の褥瘡を保有する患者）の増加で、院内発生の傾向としても複数発生に至るケースがかなり増えていることを重く捉えています。

院内発生褥瘡の増加原因のひとつとして考えられるのは、看護提供方式の変更です。看護職員減少の対策として、チームナーシングから一部機能別看護を取り入れた方式に変更したことが影響しているように思われます。職員が流動的になったことにより、OJT が不十分なまま業務に就かなければならないことも影響しているのではないのでしょうか。業務の忙しさと褥瘡発生の関連を考慮し、看護必要度と褥瘡推定発生率の相関関係についても分析しましたが、相関は薄いとの結果でした。これらを踏まえ、来年度は褥瘡予防に関する基礎的な教育・周知の方法を見直す予定です。

当医療圏域は非常に褥瘡保有者が多く、持込の褥瘡有病者は増加の一途をたどっています。地域とのつながりが希薄な独居高齢者が増え、倒れてから数日経って搬送されてくる多発褥瘡の方も少なくありません。また施設入所の方で褥瘡保有しているケースもかなりの数見受けられます。少しでも地域社会に貢献できるよう、昨年から 2ヶ月に 1度、老人保健施設の感染・褥瘡委員会に参加させていただき、症例検討や有病者の回診を実施しています。

オストミー分野では、ストーマ外来の運営を継続しています。長期間フォローしている永久ストーマの方が減少した一方、一時的ストーマ造設をした方のフォローが増えています。オストメイトの方の社会生活が円滑に行えるよう、引き続きバックアップしていきたいと考えています。

【実績/実践】

* 褥瘡回診（毎週火曜日 9：30～ 5 南→5 北→4 南→3 南→HCU の順に回診）

- ・ 回診構成メンバー：褥瘡専任医師・褥瘡管理者・褥瘡専任看護師（輪番制で各病棟の褥瘡リンクナースが回診に参加）・薬剤師・管理栄養士・医師事務作業補助者

のべ褥瘡回診患者数		1170 名
内訳	褥瘡患者数（医療関連機器圧迫創傷含む）	901 名
	褥瘡以外（皮膚潰瘍、スキンケアなど）の患者数	267 名

* 褥瘡ハイリスク患者ケア加算関連

褥瘡リスクアセスメント実施件数		2050 件
褥瘡ハイリスク患者特定数		566 件
	褥瘡ハイリスク要件（ベッド上安静かつ下記の要件に当てはまるもの）	
ア	ショック状態のもの	57 件

イ	重度の末梢循環不全のもの	8名
ウ	麻薬等の鎮静・鎮痛剤の持続的な使用が必要であるもの	51件
エ	6時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの	10件
オ	特殊体位による手術を受けたもの	165件
カ	強度の下痢が続く状態であるもの	1件
キ	極度の皮膚脆弱（低出生体重児、GVHD、黄疸等）であるもの	11件
ク	皮膚に密着させる医療機器の長期かつ断続的な使用が必要であるもの	31件
ケ	褥瘡に関する危険因子（病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等）があつて既に褥瘡を有するもの	514件
褥瘡予防治療計画実施件数（開始件数）		514件
褥瘡ハイリスク患者ケア加算実施件数		424件

＊オストミー分野

- ・ ストーマ外来件数 48件
- ・ ストーマサイトマーキング件数 14件

【実績/相談】

＊専門分野におけるコンサルテーション件数

コンサルテーション件数

オストミー	褥瘡	創傷	スキントア	瘻孔	失禁・排泄	IAD	スキんケア	その他	総数
33	191	88	47	8	0	28	4	17	416

コンサルテーションのべ訪問回数

オストミー	褥瘡	創傷	スキントア	瘻孔	失禁・排泄	IAD	スキんケア	その他	総数
336	254	123	57	61	0	31	4	21	887

コンサルテーション部署別内訳

3南	HCU	4南	4北	5南	5北	外来	OP	在宅・他院など	総数
93	111	14	0	115	68	11	0	4	416

【実績/指導】

- ・ 令和6年4月8日 レベル0研修「褥瘡予防とスキんケア」
- ・ 令和6年9月 株式会社うさぎ薬局介護事業部 「ストーマケアの基本と装具選択、スキんケアと褥瘡について」
- ・ 令和6年11月6日 伊東市介護老人保健施設みはらし「高齢者のスキんケアと褥瘡の基本」
- ・ 令和6年12月～令和7年1月褥瘡対策オンライン研修「医療関連機器圧迫創傷について」

【実績/その他】

＊研究活動・発表：なし

（文責 皮膚・排泄ケア認定看護師 佐藤留美）

(1) 総務課

【基本方針・目標】

- ・ 事業費用の削減（前年比率 0%以下(人件費除く)）
- ・ 業務改善案の立案と推進（3 件）
- ・ ICT 導入と推進（1 件）

【人員構成】（令和 6 年 3 月末現在）

課長	1名
係長	2名
係員	8名
臨時	1名
非常勤	1名
合計	13名

【実績】

事業費用 1.8%増加にとどまったが、病床稼働率減少による収益の大幅な減少により事業利益は赤字で推移した。物価・人件費高騰は費用面で重大なマイナス要因であり厳しい状況が続いている。少しでも費用を抑制するためLEDへの転換や契約範囲の見直しなどを進めている。

【保育所】

保育士は父母の方たちといろいろな話をしながら、子供たちが健康で安全にのびのびと過ごせるような雰囲気づくりに心がけています。

*人員構成（令和 6 年 3 月末現在）

保育士	7名
合計	7名

*年間行事

開催月	行事	備考
必要月	お誕生会	該当者のある月に開催
5月、10月	健康診断	年2回実施
5月	端午の節句	園内で実施
8月	たんぽぽ祭り	園内で実施
12月	クリスマス会	園内で実施
2月	節分（豆まき）	園内で実施
3月	ひな祭り	園内で実施

(2) 医事課

【基本方針、目標】

施設基準の遵守

診療報酬窓口未収金削減

患者接遇の向上

【活動評価】

施設基準の見直しや、定期的なチェックを行いました。

病院機能評価を無事に更新できました。

また昨年度同様に、未収金対策として弁護士事務所と協力し督促を行いました。

患者接遇として、オンライン講習を受講しました。

【人員構成】（令和6年3月末）

医事課長補佐	1名
医事係長	2名
医事係	12名
医事係(臨時職員)	4名
医事係(非常勤職員)	3名
医事係(外部派遣職員)	4名
計	25名

(3) 診療支援課

当課は、地域医療連携室業務、医療福祉相談室業務、ならびに医師事務補助業務の3業務を担う部署です。医師事務作業補助者による診療支援をはじめ、地域医療連携室および医療福祉相談室においては、紹介・逆紹介の管理を行っています。また入退院支援室と連携し、入退院患者に関する他院との調整等も実施しています。

① 地域医療連携室業務

【基本方針、目標】

- * 伊東市民病院の理念に基づき紹介患者を積極的かつスムーズな受け入れを図る。
- * 地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携を図りスムーズな診療に貢献する。
- * 患者からの紹介予約取得・予約変更・診療キャンセル等を行い診療を支援する。

【人員構成】(令和7年3月末現在)

課長	1名
係長(SE/認知症疾患医療センター兼務)	1名
係員(1名は認知症疾患医療センター兼務)	2名
係員(臨時)	2名
計	5名

【実績】(令和6年度)

* 紹介率	74.0%
* 逆紹介率	104.6%
* 予約センター業務	1,387件
* 他院からの問い合わせ対応	3,766件
* 情報依頼・情報提供(院内外)	3,162件
* 在宅療養後方支援病院更新等	1,494件
* オープン検査件数	1,571件

【活動実績】

地域医療連携室業務

上記実績どおり

1. 医療福祉相談室 相談業務
別紙(医療福祉相談室)を参照
2. 医師事務補助者
別紙(医師事務補助者)を参照

医療安全管理室

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・医療安全管理体制の確立と医療事故防止対策の推進に努めます。
- ・適切な医療安全を推進し、安全な医療の提供に資することに努めます。

*目標と評価

1. 医療事故対策の充実（インシデント報告の推進）

- ・医療安全管理委員会で検討された事例数（多職種間で検討された事例）は、20事例でした。
- ・令和5年度の報告件数は723件の報告がありましたが、令和6年度は674件と減少しました。

2. クオリティマネジメント部会の開催

- ・5回開催し、5事例を多職種で検証しました。1事例は、医療事故調査・支援センター「医療機関調査報告」に報告しました（起因した医療の分類：【治療（経過観察を含む）】処置に関連するもの）。

3. 患者サポート体制の構築

- ・患者家族からの意見で苦情に分類された事案は全件数の63%でした。過剰要求に分類された事案は3件でした。3件のうち2件をカスハラ（ペイハラ）と判断しました。お礼は19.8%でしたが、「お礼」については記載することより口頭でのお礼が多いと思われます。

また週1回のカンファレンスでは事案内容の確認と共有対応策の検討を行い、必要に応じたラウンドを実施し、医療安全管理委員会で報告しています。

【人員構成】（令和7年3月現在）

医療安全管理委員会委員長	副病院長
専従医療安全管理者	1名
医療安全管理室専任職員	
診療部門	2名
看護部医療安全管理責任者	1名
医薬品安全管理責任者	1名
医療機器安全管理責任者	1名
事務部門	1名

【実績】

1. 院内職員全体研修会（医療法）

1) 令和6年度 第1回 医療安全職員全体研修会

「“対話力”の発揮に関わる事例発生の未然防止！」—事例の発生要因の“見える化”から考える防止対策—

研修方法：集合研修と e-ラーニング視聴

アンケート回収率 100%

地域医療振興協会 地域医療安全推進センターから講師を招き研修を行いました。当日参加出来なかった職員には地域医療振興協会 e-ラーニングを視聴してもらいました。

2) 令和6年度 第2回 医療安全職員全体研修会

そのとき動ける病院とは 大学病院での医療安全に関する日頃の取り組み

研修方法：集合研修と e-ラーニング視聴

アンケート回収率：100%

外部講師を招き研修を行い、動画を撮影しました。当日参加出来なかった職員には院内 e-ラーニングで動画を視聴してもらいました。

2. 医療安全管理室による院内勉強会（部会含む）

1) 研修医・看護部新人職員・医療技術部新入職員 医療安全研修会

2) ハラスメント講習会～ハラスメント相談における初期対応～ハラスメント相談

3) 静岡県自殺未遂者ケア研修会

4) 医薬品安全使用のための研修会「2024年度にPMDAより発出された医療安全情報および医薬品適正使用のお願い（当院採用関連薬品）」

3. 医療安全ニュース発行

院内医療安全ニュース

院外医療安全情報（日本医療機能評価機構）

4. 医療安全地域連携における相互評価

医療安全管理加算1・・・順天堂静岡病院

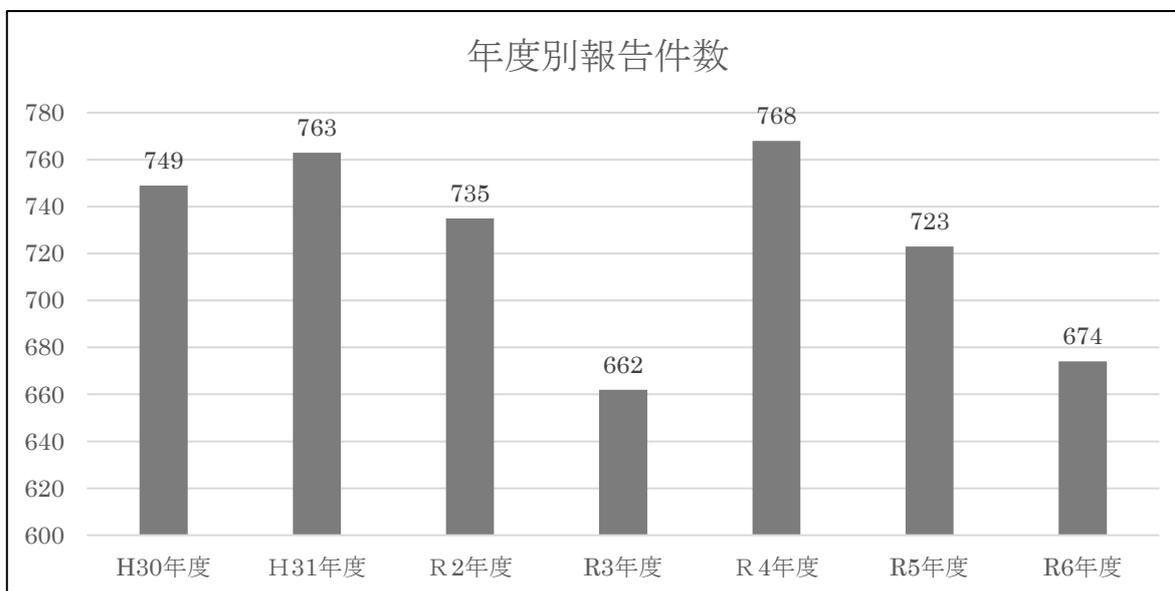
医療安全管理加算2・・・伊豆今井浜病院 熱海所記念病院 熱川温泉病院

5. 院内ラウンド

・インシデントラウンド ・医薬品ラウンド ・医療機器ラウンド ・感染ラウンド
など、1週間に1回以上のラウンドを実施しております。

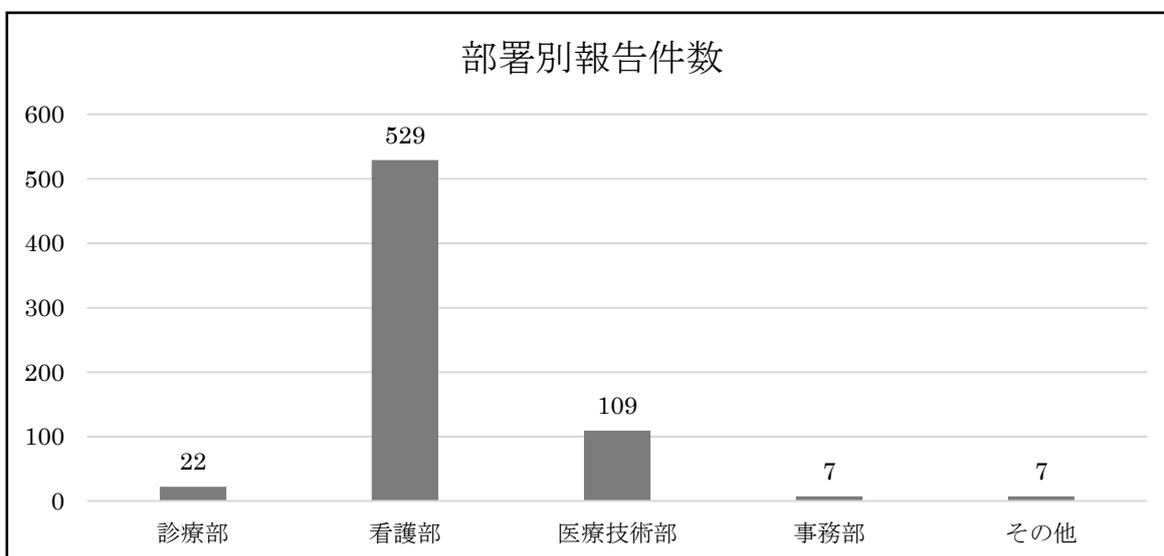
【令和6年度 インシデント・アクシデント事例報告】

1. 年度別推移



令和6年度については、報告件数674件と前年度と比較し減少しました。

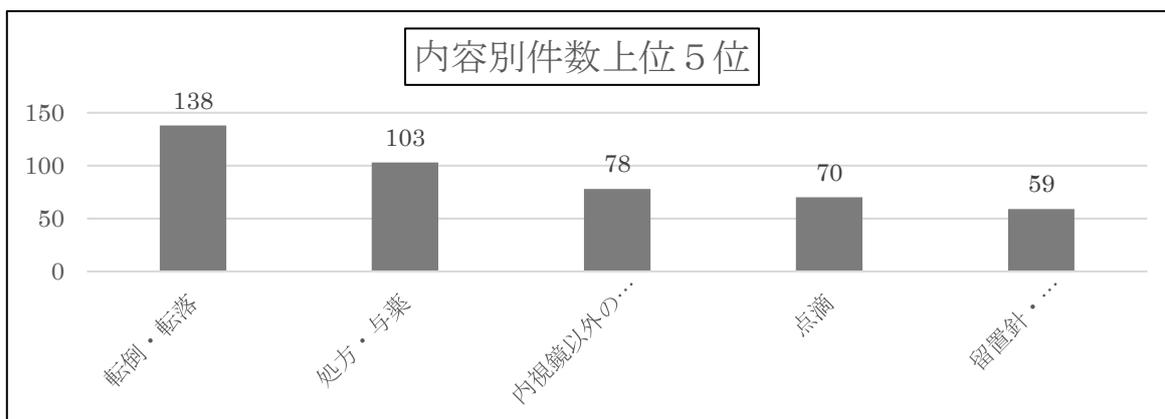
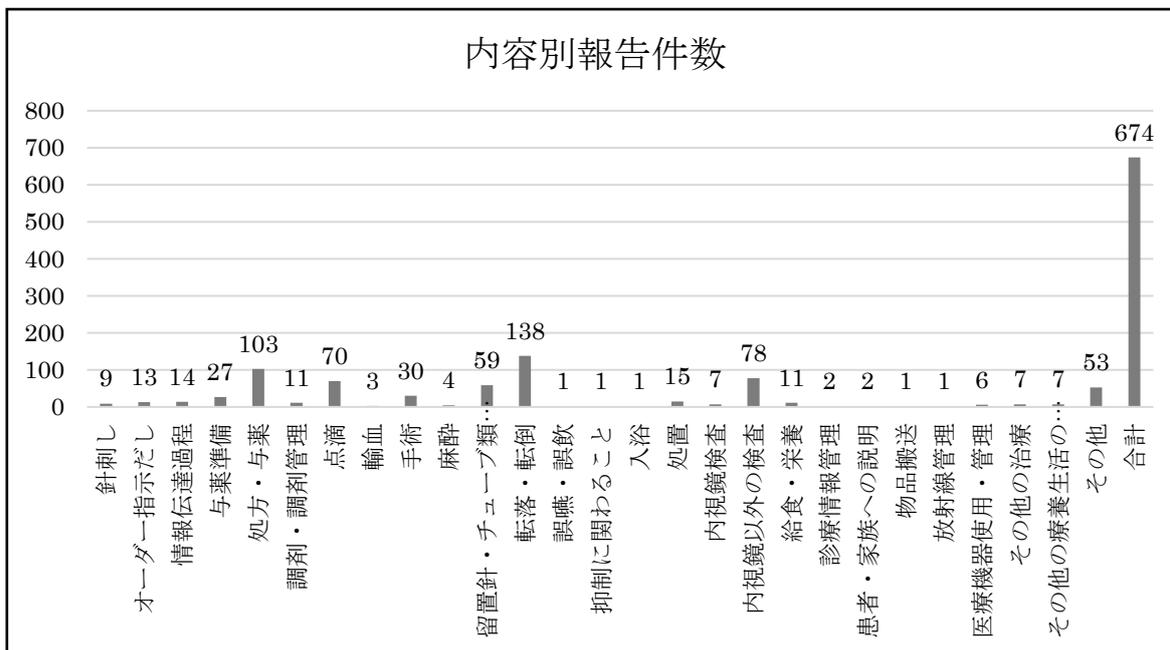
2. 令和6年度部門別報告件数



令和6年度も診療部からの報告は少ない傾向にあります。多職種が関連している報告に関しては、医療安全管理委員会で情報を共有し改善策を検討しております。

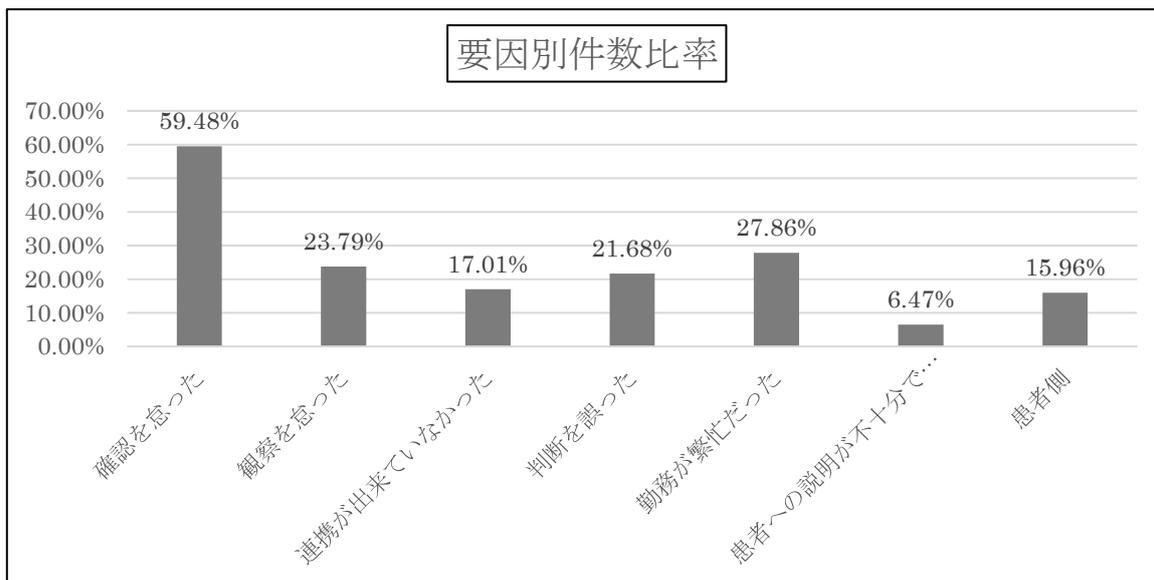
また、自主的なインシデント報告へつながることを期待し、週1回開催される事例カンファレンスの検討結果を報告部署へフィードバックを行っております。

3. 内容別報告件数



例年通り、「転倒・転落」「処方・与薬」が上位を占めました。次は「内視鏡以外の検査」「点滴」となりました。

「内視鏡以外の検査」は放射線室からの“造影検査の血管外漏出”報告が多くみられました。「留置針・チューブ類使用・管理」は主に点滴自己抜針でした。「転倒・転落」「留置針・チューブ類使用・管理」は患者の高齢化、高齢化に伴う認知機能の低下に起因すると考えらるアクシデント事例が増えてきています。



例年通り報告件数の約59%の要因が「確認を怠った」と判断されております。
 ヒューマンエラーでは、「業務の繁忙」が27.86%報告されました。
 「患者側」の要因が考えられるが15.96%ありました。

5. 令和6年度に開催されたクオリティマネジメント部会の検討事例

第1回	イレウス管挿入時の嘔吐・誤嚥後、呼吸不全を発症し亡くなった事例
第2回	緊急MRI検査中のCPAについて ドクターハリーについて
第3回	長期休日で主治医が決定しない患者家族への説明
第4回	リュープリン過剰投与
第5回	遺族が納得されていないように感じられる事例

令和6年度 病院年報

感染対策室

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・当院では、院内感染を防止するために医師・看護師・薬剤師・検査技師等の多職種で構成する「院内感染対策委員会」を組織し、また院内感染対策に専門的に取り組む「感染対策室」を設置している。

患者さんをはじめ、当院を利用されるすべての方々、職員を院内感染から守るため日々の活動を行っている。

評価、反省

感染地域連携施設として、9施設の外来感染対策連携となり地域での感染防止対策の取組の推進を行っている。静岡県東部地域にて検出されているバンコマイシン耐性腸球菌(以下 VRE)が、保菌者として検出が見られた。標準予防策のうち手指衛生の遵守の不足と考え、継続して手指衛生の教育啓蒙に努めていかねばならない。抗菌薬適正使用の推進として感染対策連携共通プラットフォーム (J-SIPHE) に参加しており、長期使用は少なくガイドラインに基づいて使用されている。

今年度は、看護師1名が感染管理特定認定看護師教育課程へ進学した。

【人員構成】(令和7年3月末現在)

感染対策室専従職員 1名(感染管理認定看護師)

感染対策室専任職員

診療部門 1名

薬剤師 2名

検査技師 1名

事務部門 1名

【実績】

・サーベイランス

(1) 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス(JANIS)に登録

全入院患者部門

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) 19件/年

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP) 0件/年

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) 0件/年

電子カルテ → 共有フォルダー → 07 学術委員会 → 感染対策室 (年報 R6 年度)

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) 5件/年

(2) 針刺し・切創事故報告

針刺し・皮膚粘膜汚染など事故報告件数 5件/年

・感染リンクナースニュース発行 毎月1回発行+臨時2回 計15回

・院内感染全体研修(医療法)

令和5年8月～9月 オンライン(eラーニング)研修

「結核について」臨床検査室 室長補佐:兼田 明仁

「アンチバイオグラム」薬剤師:緑川はる香

令和6年1月～令和6年2月 オンライン(eラーニング)研修

「標準予防策」CNIC:島田 明恵

手指消毒チェック実技含む

・院内感染環境ラウンド

ICTラウンド 1回/週 合計47回実施

・感染防止加算合同カンファレンス

加算2、3連携 下田メディカルセンター・康心会伊豆東部病院
熱川温泉病院

カンファレンス4回/年開催

外来感染対策連携

横山医院 高野医院 許田医院

下田循環器腎臓クリニック 山本医院 大川胃腸科外科

たちばなメディカルクリニック 木村整形外科クリニック

たちばなメディカルクリニック広野院

伊豆高原ゆうゆうの里診療所

感染防止対策地域連携 相互ラウンド

三島中央病院 順天堂大学医学部附属静岡病院

8. 診療情報管理室

1 はじめに

診療情報管理室は平成18年9月より開設されました。飯笹室長のもと、室員に医事課職員の診療情報管理士3名が出向し業務をおこなっております。

2 令和6年度活動報告

- (1) 退院台帳の作成
- (2) 退院要約（退院サマリー）の内容、記載の確認
- (3) 統計業務
- (4) 診療録管理委員会の運営
- (5) カルテ開示の準備
- (6) 全国がん登録
- (7) カルテの監査
- (8) D P C 調査

令和6年度の退院患者台帳を作成し、国際疾病分類（ICD-10）にもとづきコーディングを行い疾病検索・各科の年報、統計などに役立てました。退院サマリーの完成率向上のため医師に督促をしております。また、カルテの監査体制を整備し、他職種による監査を行っています。無事に病院機能評価の更新を行えました。また、カルテの質的監査の件数を増やすことができました。

3 令和7年度目標

ひきつづき退院台帳の作成や診療情報の入力などを業務として行っていきたいと思いますが、①退院サマリーの退院後2週間以内の作成率の向上 ②退院台帳の統計内容の充実 ③正確なコーディング ④カルテ監査の充実 を目標としていきたいと思っております。

入退院支援室

【基本方針】

住み慣れた地域で継続して生活できるよう、患者の状態に応じた支援体制や地域との連携、外来部門と病棟との連携等を推進する。入院早期から退院後までの切れ目のない支援を行う。

1. 入院や退院に関する様々な問題を調整し円滑な診療が勧められるように支援する。
2. 予約入院となる患者が安心して入院生活を送れるように、入院前から専任の看護師をはじめ薬剤師・栄養士・メディカルソーシャルワーカーなどの他職種と連携し患者の診療を支援する。
3. 主治医及び病棟看護師と連携をとり、患者一人ひとりにあった入院治療及び看護が提供できるよう協同し業務を行う。
4. 退院後の生活や医療費に関する相談、かかりつけ医の紹介、各種申請の手続きなどにメディカルソーシャルワーカーと協同し対応する。
5. 入院患者及び入院予定患者のベッドコントロールを行い入院治療のための円滑な病床利用を行う。
6. 地域の病院・診療所と当病院が患者の診療においてスムーズに連携が図れるよう、地域医療連携室と協同し業務を行う。

【人員構成】 看護師長 1 名、看護師 1 名

【実績】

新規入院患者数	3,298 人
入退院支援加算 1	1,190 件
介護支援等連携指導料	69 件
退院時共同指導料 2	114 件
多機関共同指導加算	73 件

転院受け入れ病院	107 件
順天堂大学静岡病院	50 件
国際福祉大熱海病院	11 件
静岡がんセンター	8 件
伊豆東部病院	5 件
静岡医療センター	3 件

多機関共同	73 件
横山医院	31 件
グレース	23 件
伊豆高原クリニック	7 件
山本医院	2 件

当院から転院した病院	254 件
順天堂大学静岡病院	60 件
熱川温泉病院	33 件
伊豆東部病院	16 件
中伊豆リハビリテーションセンター	14 件
国際福祉大熱海病院	11 件
静岡がんセンター	10 件
横山医院	8 件
熱海ちとせ病院	5 件
静岡医療センター	4 件

介護老人保険施設の紹介入院・入院患者の転院

事業所名称	転院先	入院受け入れ
みはらし	89件	15件
いとうの杜	60件	21件
のぞみ	27件	18件

多職種カンファレンス

メンバー：医師、病棟看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションセラピスト、MSW、入退院支援室看護師

火曜 3南病棟 外科・内科 15:00

水曜 4南病棟 5南病棟 整形カンファレンス 16:30

木曜 5南病棟 内科 13:40

金曜 5北病棟 内科 13:30

がん相談支援センター機能

がん相談の実施 癌と診断された方で療養先の相談や治療費の相談など 72件

今後の課題

ピアサポート(患者会・患者サロン等)活動として患者会を立ち上げ支援を行うこと

医療福祉相談室

【基本方針、目標】

わかりやすい説明と適切な情報提供ができるための体制づくりに努めます。
地域包括ケアシステム構築のため地域の各種社会資源との連携を深めます。

【人員構成】（令和7年3月末現在）

主任医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）	1名
医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）	3名

【実績】（令和6年4月～令和7年3月）

退院支援計画書、介護支援等連携指導書、退院時共同指導書の実施算定

上記は入退院支援室看護師、病棟看護師との業務連携による実績となっております。

具体的な年間の算定件数に関しては入退院支援室の項目に掲載されており、重複するためここでは割愛します。

入退院支援加算1の基準を取得後、入退院支援室と密な連携を図り、退院支援計画書の算定、早期の多職種カンファレンスの実施、病棟ラウンドにて患者さんの状態把握、退院前カンファレンスの開催など円滑な退院支援に向けて例年同様に取り組みました。

【院内活動】

- ・各病棟退院支援カンファレンス
- ・患者サポートカンファレンス
- ・患者サービス・療養環境改善委員会
- ・緩和ケアカンファレンス
- ・緩和ケア委員会
- ・リハビリテーション運営委員会
- ・産婦人科カンファレンス

【院外活動】

- ・伊東市居宅介護支援事業者部会
- ・伊東市多職種連携研修会
- ・伊東市「自立」「自立支援」検討会議
- ・伊東・中央(圏域)地域ケア会議
- ・静岡県がん診療連携協議会 相談支援部会
- ・地域医療振興協会 MSW 部会
- ・静岡県院内移植コーディネーター連絡会 等

【その他】

医療ソーシャルワーカーの人員数は年度途中で退職者が出たため1名減となりました。今年も例年同様入退院支援室と協力し退院前カンファレンスの開催に取り組みオンラインも駆使し外部のクリニックの医師、看護師、ケアマネジャー等と連携し多機関共同指導として多数実施しました。

【来年度の目標】

安定した病院運営に貢献出来るように、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)で算定可能な退院支援計画書、介護支援連携指導書等の作成も含め円滑な退院支援が実施出来るように取り組んでいきます。

当院はがん相談支援センターを掲げており、今年度は人員配置要件として明記されている国立がん研究センターがん対策情報センター主催の相談員基礎研修(1)(2)を1名受講修了しました。

これで医療ソーシャルワーカー在籍4名全員が(1)(2)まで研修修了となりました。今後も引き続き、がん相談員基礎研修(3)の修了者を増やせるように受講を推進し、医療ソーシャルワーカー全員で、がん相談支援の相談業務の質の向上に努めていきます。

1 1. ドック・健診センター

【業務活動状況】

ドック・健診センターでは、人間ドック・脳ドック・全国健康保険協会生活習慣病予防健診〔協会けんぽ〕・特定健康診査・労働安全衛生法に基づく事業所健診・雇入時の健康診断・一般健診・基本定期健診・特定業務従事者健診・伊東市脳ドック・伊東市がん検診〔胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん、肺がん検診二次読影〕・東伊豆町子宮がん検診等を行っています。

【事業の目的・基本方針】

人間ドック・各種健康診断を実施することで健康保持増進に努め、地域住民の安全・安楽な生活を支え、健康寿命の延伸に貢献いたします。

1. 地域、事業所、個人のニーズに応じた安全で安心できる人間ドック・健康診断を提供いたします。
2. 各種法令・判定基準を遵守し、精確な人間ドック・健康診断を提供できるように努めます。
3. 専門知識、技術の研鑽に努め、質の高い健診を提供できるように努めます。
4. 生活習慣病の予防や改善を手助けし、受診者個人の「健康づくり」を支援いたします。
5. 予防から治療まで一貫して対応できる快適な環境を提供いたします。

【人員構成】（令和6年3月末現在）

医師（内科）	2名
保健師	2名
事務職員	2名
事務職員（臨時）	3名
事務職員（パート）	2名
計	11名

臨床検査技師（兼務）、診療放射線技師（兼務）、看護師（兼務）

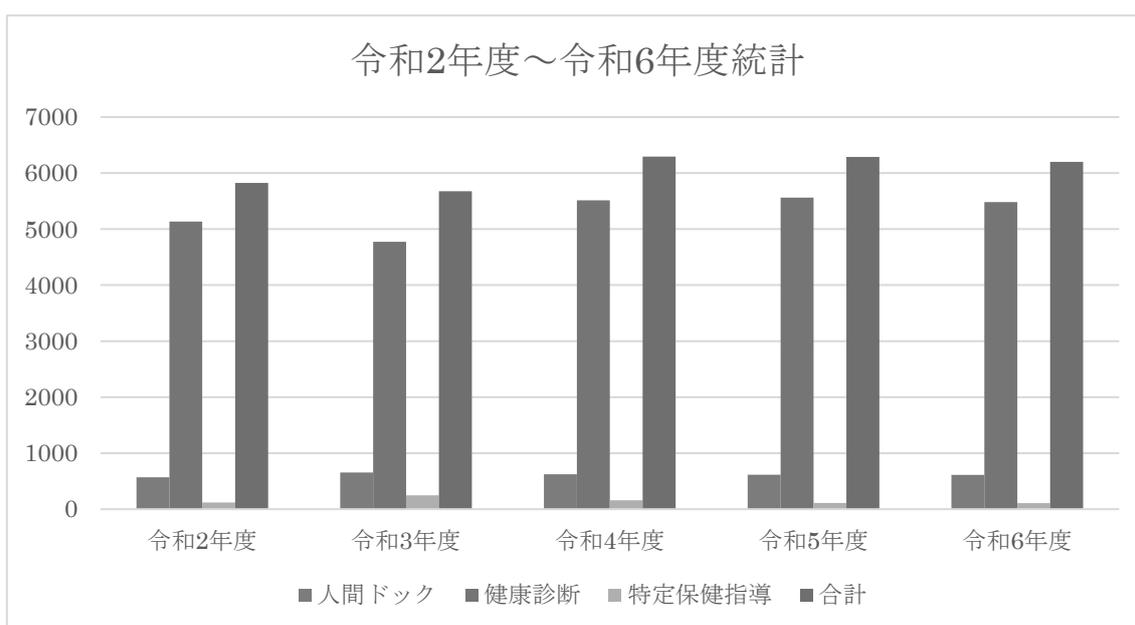
【実績及び成果、評価と課題】

1. 令和6年度は件数について前年度の数字を下回りました。収益は前年とほぼ同様でした。伊東市の脳ドックが前年同様に予定数を下回ったこと、バリウムや胃部内視鏡検査の混雑を避けるため、人数を制限していることが件数減少の要因ですが、胃がん検診で内視鏡件数が増加したことから収益は横ばいになりました。
2. 人間ドックについては、伊東市の脳ドックの枠を前年同様に250件にしていま

すが、実際には157件しか応募が来なかったにもかかわらず、人数は前年よりも増加しています。これについては協会けんぽ加入者が増え、協会けんぽの補助を利用した人間ドックの利用が多かったこと、脳ドックの予約を早々に終了し、空いた枠を有効活用できたことが考えられます。

3. 令和元年度より伊東市がん検診の2次読影を実施しており、令和6年度は2,611件でした。令和5年度は2,854件で件数の減少を認めます。件数減少の要因として実施できる各医療機関の減少と胃がん（内視鏡検査）の増加が挙げられます。
4. 利用者の意見箱を設置していますが、利用者の声として他医療機関と比べてサービスの質が悪い（診察時の情報量が少ない）、診察時間が長いなどの指摘を受けました。これらについては今後の検討課題とさせていただきます。
6. 令和5年度から件数は減少しています（前年比98.6%）。これは人数制限をかけたことによる健康診断の減少と特定保健指導が更に減少していることが影響しています。
- 7.

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人間ドック	569件	655件	623件	615件	611件
健康診断	5,134件	4,774件	5,513件	5,561件	5,482件
特定保健指導	120件	247件	159件	112件	108件
合計	5,823件	5,676件	6,295件	6,288件	6,201件



1 2. 認知症疾患医療センター

【基本方針】

熱海伊東二次医療圏の保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、認知症の行動・心理症状と身体合併症の急性期治療に関する対応、専門医療相談、診断後の相談支援等を実施します。また、地域の保健医療介護関係者への研修等を行うことにより、地域における認知症の進行予防から地域生活の維持まで、必要となる医療を提供できる体制の構築を図っていくことを目標としています。

【人員構成】（令和7年3月末現在）

センター長（医師）	1名	センター医師	1名
副センター長（事務部長）	1名	保健師	1名
臨床心理士	1名	精神保健福祉士	1名
事務員（兼務）	2名	計	8名

【相談実績】（今年度より静岡県からの要請により延べ件数でカウントしています）

* 専門医療相談件数 671件

（内訳） 電話：269件 面接：369件 訪問：11件 その他：22件

* 診断後支援相談件数 296件

（内訳） 電話：111件 面接：173件 訪問：4件 その他：8件

【外来実績】

* 認知症疾患に係る外来件数及び鑑別診断件数（週5日稼働）

外来件数 590件（前年度595件）

初診件数 234件（前年度289件）

鑑別確定件数 218件（前年度246件）

< 鑑別内訳 >

正常または健常	22件	レビー小体型認知症	3件
軽度認知障害（MCI）	50件	複数の病因による認知症	38件
アルツハイマー型認知症	52件	詳細不明の認知症	9件
血管性認知症	16件	その他	28件

【アウトリーチ（個別訪問）実績】 0件（熱海市、伊東市とも要請なし）

【認知症疾患医療連携協議会開催実績】

令和7年2月13日にWEB形式で実施、24名の協議会委員の方に参加いただきました。

【研修会等実績】

* かかりつけ医・医療介護従事者向け研修会

日付	内容	会場	参加者
6月20日	高齢者の不眠にどう対処？	Web	34名
12月5日	認知症と睡眠障害	Web	62名

* 医師講師派遣

日付	内容	会場	参加者
11月17日	ゆ〜ゆ〜健康講座 認知症の診断・治療・予防について	伊東市観光会館	126名

* 地域住民向け講演会

日付	内容	会場	参加者
10月30日	認知症を知って備える	当院講堂	20名

* 認知症カフェ・居場所（サロン）ミニ講座

日付	内容	会場	参加者
4月17日	わらいの会（居場所）	南一碧台自治会 町内会館	10名
5月28日	認知症カフェ ふるさとカフェ	ふるさと会館	5名
9月9日	認知症カフェ「CoCo（ここ）」	保健福祉センター	14名
9月10日	熱海市 ものわすれカフェ	熱海市南熱海支所	15名
11月22日	出張認知症カフェ イトーピア一碧	イトーピア一碧 自治会館	24名
1月27日	出張認知症カフェ 吉田千歳会館	吉田千歳会館	27名
2月4日	熱海市 ものわすれカフェ	熱海市泉支所	19名
2月5日	認知症かふえ 和笑	富戸幼稚園	2名

* 診断後等支援協力

日付	内容	会場	参加者
1月31日	本人ミーティング	伊東市役所	7名
2月21日	認知症家族の会 Café あおぎり	障害福祉センター はばたき	6名

【出張相談等実績】

* 個別ケア会議

日付	内容	会場	参加者
4月9日	個別ケア会議	伊東市役所	6名
12月25日	個別ケア会議	当院	6名

* 出張個別相談

日付	内容	会場	参加者
6月19日	認知症カフェひだまり	伊東市役所	3名
9月10日	ものわすれカフェ	熱海市南熱海支所	2名
9月12日	伊東市認知症講演会／相談会	ひぐらし会館	1名
11月20日	認知症カフェひだまり	伊東市役所	4名
11月22日	出張認知症カフェ イトーピア一碧	イトーピア一碧 自治会館	4名
1月27日	出張認知症カフェ 吉田千歳会館	吉田千歳会館	1名
1月31日	本人ミーティング	伊東市役所	1名

* 出張集合相談

日付	内容	会場	参加者
6月25日	熱海メモリーズカフェ	熱海起雲閣	21名
7月4日	認知症カフェ しらす	ライトハウス うさみ	18名
9月19日	認知症カフェ オリーブの木	司法書士法人おさだ 伊豆高原支店内	6名

日付	内容	会場	参加者
10月8日	認知症かふえ やぶね	古民家やぶね	10名
10月15日	認知症カフェ あまなつ	川奈聖書協会	10名
11月8日	対島健康フェスタ	八幡野コミュニティセンター	85名
3月2日	医療と介護のくらし祭り	ショッピングセンターデュオ	28名

【連携強化会議参加実績】

日付	内容	会場	参加者
4月9日	伊東市地域包括支援センター定例会	保健福祉センター	27名
6月24日	対島地域包括ケア会議	対島地域包括支援センター	32名
8月27日	伊東市地域包括医療推進会議	伊東市役所	35名

【成果、評価と課題】

1. 今年度の研修会はWeb開催とし、当日参加が出来ない方向けに開催後1ヶ月程度アーカイブ発信を行いました。その結果これまでより多くの方に参加していただくことができました。今後の研修会もアーカイブ発信できるよう準備していく予定です。
2. 地域住民向けの認知症啓蒙活動では、認知症カフェ等でのミニ講座を数多く行いました。少人数かつ参加者同士知り合いのことも多く、話している最中にも参加者から質問が出たりと、和気藹々とした雰囲気で行うことができました。
3. 懸案だった熱海市での活動について、今年度は熱海市の認知症カフェにて講演をさせていただく機会を得ました。今後も引き続き連携を深めていきたいと考えています。

患者数の推移（入院）

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 28	3月 31	合計 365
在院延患者数	5,234	5,136	4,904	5,045	4,712	4,829	5,170	4,908	5,270	5,611	5,008	5,269	61,096
*5年度	5,651	6,010	5,331	5,813	6,152	5,688	5,509	5,401	5,028	6,102	5,229	5,136	67,050
1日平均患者数	174.5	165.7	163.5	162.7	152.0	161.0	166.8	163.6	170.0	181.0	178.9	170.0	167.4
*5年度	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2
(前年比)	92.6%	85.5%	92.0%	86.8%	76.6%	84.9%	93.9%	90.9%	104.8%	91.9%	99.2%	102.6%	91.4%
(増▲減)	▲ 13.9	▲ 28.2	▲ 14.2	▲ 24.8	▲ 46.5	▲ 28.6	▲ 10.9	▲ 16.4	7.8	▲ 15.9	▲ 1.4	4.3	▲ 15.8
入院数	270	279	245	266	255	270	289	283	367	277	239	258	3,298
退院数	269	287	245	264	265	248	293	290	359	272	245	268	3,305
一般病床平均在院日数	16.5	15.0	16.9	16.2	14.9	15.6	14.4	14.1	12.2	16.8	17.2	16.5	15.3
*5年度	16.4	16.0	16.0	16.3	13.6	14.8	13.9	13.7	13.4	16.6	15.7	14.2	15.1
(増▲減)	0.1	▲ 1.0	0.9	▲ 0.1	1.3	0.8	0.5	0.4	▲ 1.2	0.2	1.5	2.3	0.2

科別1日平均患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 28	3月 31	平均 365
内科	104.3	91.9	90.8	101.4	91.4	101.3	99.1	84.4	89.0	99.2	94.5	86.7	94.5
消化器内科	0.9	1.9	1.2	0.8	1.3	0.5	0.4	1.2	1.5	0.8	0.9	0.9	1.0
循環器内科	4.1	1.0	1.7	1.5	2.7	3.5	2.8	4.1	0.7	1.1	0.6	1.9	2.1
小児科	0.2	0.5	0.1	0.4	1.0	0.5	0.2	0.3	1.3	0.2	0.2	0.1	0.4
外科	9.3	11.6	11.2	11.7	12.2	10.9	11.9	14.8	15.1	12.4	14.0	11.5	12.2
整形外科	49.5	53.4	55.1	41.0	39.5	41.8	46.8	51.5	54.5	62.4	64.9	63.4	52.0
脳神経外科	3.3	2.7	2.3	2.5	1.1	0.7	2.2	3.6	2.1	2.7	2.3	2.5	2.3
産婦人科	1.1	1.9	0.7	1.2	1.4	0.8	0.8	1.0	1.8	0.7	0.2	0.5	1.0
眼科	0.1	0.4	0.1	0.6	0.8	0.3	0.6	0.6	0.8	0.2	0.4	0.2	0.4
耳鼻咽喉科	0.1			0.2	0.5	0.1	0.4	0.4	0.8	0.1	0.2	0.3	0.3
リハビリ科													
放射線科													
泌尿器科	0.5	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
皮膚科				0.2	0.1				0.2				0.0
麻酔科						0.1	0.3	0.6	1.0	0.5		0.5	0.3
形成外科	1.6	0.6	0.5	2.0	0.2	0.9	1.5	1.5	1.4	0.9	1.0	1.7	1.2
合計	174.5	165.7	163.5	162.7	152.0	161.0	166.8	163.6	170.0	181.0	178.9	170.0	167.4

病棟別1日平均患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 28	3月 31	合計 365
3南病棟	35.2	32.0	30.9	32.2	27.1	30.1	31.4	31.4	31.9	34.5	34.3	32.6	31.9
集中治療室	7.2	4.5	4.5	4.7	4.7	5.3	4.6	4.4	6.3	7.4	7.3	5.9	5.5
4南病棟	34.6	33.5	34.2	31.7	32.4	33.8	38.2	35.5	35.6	40.3	38.8	38.5	35.6
4北病棟	1.2	2.0	0.5	0.9	1.7	1.0	0.5	0.7	2.6	0.9	0.3	0.6	1.1
5南病棟	47.3	46.5	45.3	46.7	41.6	44.8	45.9	46.0	46.8	48.5	49.0	45.9	46.2
5北病棟	49.1	47.5	48.4	46.9	44.8	46.3	46.5	45.8	47.1	49.7	49.4	46.8	47.3
合計	174.5	165.7	163.5	162.7	152.0	161.0	166.8	163.6	170.0	181.0	178.9	170.0	167.4

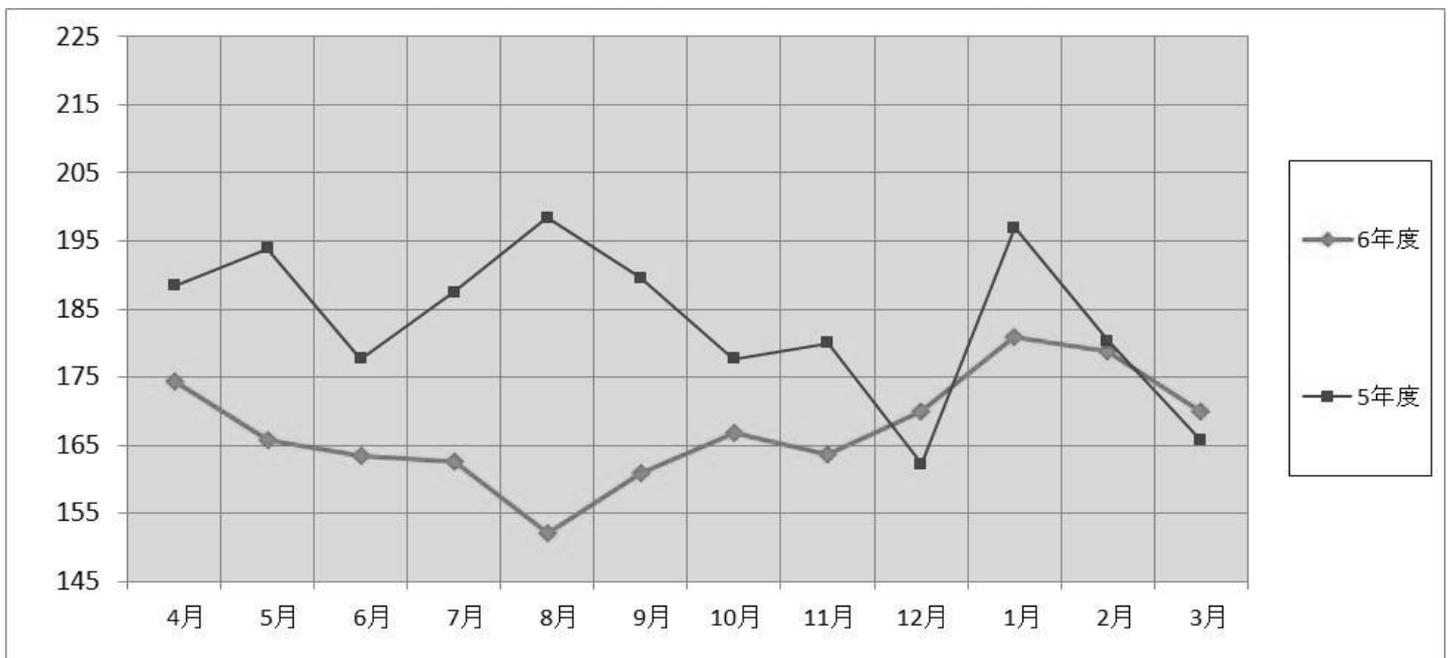
科別延べ患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 28	3月 31	合計 365
内科	3,128	2,848	2,722	3,141	2,831	3,037	3,072	2,530	2,759	3,074	2,644	2,687	34,473
消化器内科	25	57	35	23	40	15	11	36	46	22	24	25	359
循環器内科	121	29	50	44	83	104	84	121	21	33	15	57	762
小児科	5	15	1	12	31	13	6	7	39	6	4	2	141
外科	279	358	335	361	378	325	367	444	467	383	392	356	4,445
整形外科	1,484	1,654	1,653	1,268	1,222	1,254	1,450	1,543	1,689	1,933	1,816	1,964	18,930
脳神経外科	97	82	68	75	33	19	66	107	65	83	63	77	835
産婦人科	31	58	19	37	43	23	23	29	54	21	5	14	357
眼科	2	10	2	16	22	8	16	16	22	6	10	6	136
耳鼻咽喉科	1			6	15	1	12	12	24	1	3	8	83
リハビリ科													
放射線科													
泌尿器科	14	9	5	2	4	3	10	3	6	8	6	8	78
皮膚科					6	1			6				13
麻酔科						1	8	17	30	15		15	86
形成外科	47	16	14	60	4	25	45	43	42	26	26	50	398
合計	5,234	5,136	4,904	5,045	4,712	4,829	5,170	4,908	5,270	5,611	5,008	5,269	61,096

病棟別延べ患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 28	3月 31	合計 365
3南病棟	1,055	989	925	997	838	902	971	942	986	1,067	959	1,010	11,641
集中治療室	216	138	133	143	143	157	141	131	195	227	202	180	2,006
4南病棟	1,038	1,036	1,024	981	1,004	1,012	1,184	1,065	1,102	1,249	1,086	1,192	12,973
4北病棟	36	61	13	26	51	28	14	20	80	27	7	18	381
5南病棟	1,417	1,441	1,359	1,446	1,289	1,343	1,420	1,378	1,448	1,502	1,372	1,420	16,835
5北病棟	1,472	1,471	1,450	1,452	1,387	1,387	1,440	1,372	1,459	1,539	1,382	1,449	17,260
合計	5,234	5,136	4,904	5,045	4,712	4,829	5,170	4,908	5,270	5,611	5,008	5,269	61,096

入院患者数の推移（6年度 対 5年度）



月別診療科別1日平均患者数(前年比較)

入院

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	6年度	104.3	91.9	90.8	101.4	91.4	101.3	99.1	84.4	89.0	99.2	94.5	86.7	94.5
	5年度	103.1	101.0	95.5	113.1	113.1	110.3	90.5	88.3	82.2	117.2	105.2	96.0	101.3
	増▲減	1.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 11.7	▲ 21.7	▲ 9.0	8.6	▲ 3.9	6.8	▲ 18.0	▲ 10.7	▲ 9.3	▲ 6.8
消化器内科	6年度	0.9	1.9	1.2	0.8	1.3	0.5	0.4	1.2	1.5	0.8	0.9	0.9	1.0
	5年度	2.3	1.3	1.4	3.0	2.0	1.9	1.0	1.9	2.1	2.0	1.6	0.7	1.8
	増▲減	▲ 1.4	0.6	▲ 0.2	▲ 2.2	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 1.2	▲ 0.7	0.2	▲ 0.8
循環器内科	6年度	4.1	1.0	1.7	1.5	2.7	3.5	2.8	4.1	0.7	1.1	0.6	1.9	2.1
	5年度	0.2	0.6	0.8	0.3	1.0	0.6	0.6	0.6	1.1	1.7	2.0	3.9	1.1
	増▲減	3.9	0.4	0.9	1.2	1.7	2.9	2.2	3.5	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 1.4	▲ 2.0	1.0
小児科	6年度	0.2	0.5	0.1	0.4	1.0	0.5	0.2	0.3	1.3	0.2	0.2	0.1	0.4
	5年度	0.2	0.7	1.4	0.9	1.1	0.3	1.0	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	0.6
	増▲減	0.0	▲ 0.2	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 0.1	0.2	▲ 0.8	0.0	0.9	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2
外科	6年度	9.3	11.6	11.2	11.7	12.2	10.9	11.9	14.8	15.1	12.4	14.0	11.5	12.2
	5年度	14.9	13.7	11.9	10.8	13.8	16.7	15.1	16.3	17.9	14.3	13.5	13.4	14.4
	増▲減	▲ 5.6	▲ 2.1	▲ 0.7	0.9	▲ 1.6	▲ 5.8	▲ 3.2	▲ 1.5	▲ 2.8	▲ 1.9	0.5	▲ 1.9	▲ 2.2
整形外科	6年度	49.5	53.4	55.1	41.0	39.5	41.8	46.8	51.5	54.5	62.4	64.9	63.4	52.0
	5年度	55.0	62.2	55.1	50.5	56.3	52.2	61.7	67.6	53.4	54.0	49.6	46.2	55.3
	増▲減	▲ 5.5	▲ 8.8	0.0	▲ 9.5	▲ 16.8	▲ 10.4	▲ 14.9	▲ 16.1	1.1	8.4	15.3	17.2	▲ 3.3
脳神経外科	6年度	3.3	2.7	2.3	2.5	1.1	0.7	2.2	3.6	2.1	2.7	2.3	2.5	2.3
	5年度	8.3	8.3	7.3	6.0	5.6	3.2	1.4	1.7	2.0	4.4	5.0	4.7	4.8
	増▲減	▲ 5.0	▲ 5.6	▲ 5.0	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 2.5	0.8	1.9	0.1	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 2.2	▲ 2.5
産婦人科	6年度	1.1	1.9	0.7	1.2	1.4	0.8	0.8	1.0	1.8	0.7	0.2	0.5	1.0
	5年度	1.6	2.5	2.1	2.1	3.7	1.3	2.5	0.9	0.9	0.7	0.5	0.5	1.6
	増▲減	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 2.3	▲ 0.5	▲ 1.7	0.1	0.9	0.0	▲ 0.3	0.0	▲ 0.6
眼科	6年度	0.1	0.4	0.1	0.6	0.8	0.3	0.6	0.6	0.8	0.2	0.4	0.2	0.4
	5年度	0.5	0.3	0.2	0.4	0.2	0.7	1.2	0.5	0.4	0.2	0.6	0.1	0.4
	増▲減	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	0.2	0.6	▲ 0.4	▲ 0.6	0.1	0.4	0.0	▲ 0.2	0.1	0.0
耳鼻咽喉科	6年度	0.1	0.0	0.0	0.2	0.5	0.1	0.4	0.4	0.8	0.1	0.2	0.3	0.3
	5年度	0.1	0.3	0.1	0.1	0.5	0.6	0.2	0.0	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2
	増▲減	0.0	▲ 0.3	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.5	0.2	0.4	0.7	▲ 0.2	▲ 0.1	0.1	0.1
リハビリテーション科	6年度													
	5年度													
	増▲減													
放射線科	6年度													
	5年度													
	増▲減													
泌尿器科	6年度	0.5	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
	5年度	0.2	0.5	0.5	0.2	0.3	0.2	0.5	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3
	増▲減	0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	0.0
皮膚科	6年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年度	0.0	2.8	1.8	0.7	1.3	1.9	2.1	1.8	1.1	1.2	1.3	0.2	1.4
	増▲減	0.0	▲ 2.8	▲ 1.8	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 1.8	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 1.4
麻酔科	6年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.0	0.5	0.0	0.5	0.3
	5年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	1.0	1.0	0.6	0.0	0.3
	増▲減	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	▲ 0.2	0.1	0.0	▲ 0.5	▲ 0.6	0.5	0.0
形成外科	6年度	1.6	0.6	0.5	2.0	0.2	0.9	1.5	1.5	1.4	0.9	1.0	1.7	1.2
	5年度	2.4	2.8	1.8	0.7	1.3	1.9	2.1	1.8	1.1	1.2	1.3	0.2	1.6
	増▲減	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 1.3	1.3	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.3	0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	1.5	▲ 0.4
	6年度													
	5年度													
	増▲減													
	6年度													
	5年度													
	増▲減													
合計	6年度	174.5	165.7	163.5	162.7	152.0	161.0	166.8	163.6	170.0	181.0	178.9	170.0	167.4
	5年度	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2
	増▲減	▲ 13.9	▲ 28.2	▲ 14.2	▲ 24.8	▲ 46.5	▲ 28.6	▲ 10.9	▲ 16.4	7.8	▲ 15.9	▲ 1.4	4.3	▲ 15.8

患者数の推移（外来）

	4月 21	5月 21	6月 20	7月 22	8月 21	9月 19	10月 22	11月 20	12月 20	1月 19	2月 18	3月 20	合計 243
延患者数	7,907	8,025	7,828	8,405	7,729	7,758	8,243	7,775	8,301	7,839	7,051	7,638	94,499
*5年度	7,837	8,120	8,127	7,952	8,346	8,324	8,474	8,093	8,214	8,050	7,509	8,006	97,052
1日平均	376.5	382.1	391.4	382.1	368.0	408.4	374.7	388.8	415.1	412.6	391.7	381.9	388.9
*5年度	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.4
(前年比)	96.1%	94.2%	106.0%	96.1%	97.0%	98.1%	92.9%	96.1%	101.1%	97.4%	99.1%	95.5%	97.4%
(増▲減)	▲ 15.4	▲ 23.9	22.0	▲ 15.5	▲ 11.4	▲ 7.8	▲ 28.8	▲ 15.9	4.4	▲ 11.1	▲ 3.5	▲ 18.4	▲ 10.5
初診	774	871	860	901	886	791	848	839	903	888	730	791	10,082
再来	7,133	7,154	6,968	7,504	6,843	6,967	7,395	6,936	7,398	6,951	6,321	6,847	84,417
初診／延患	9.8%	10.9%	11.0%	10.7%	11.5%	10.2%	10.3%	10.8%	10.9%	11.3%	10.4%	10.4%	10.7%

科別1日平均患者数

	4月 21	5月 21	6月 20	7月 22	8月 21	9月 19	10月 22	11月 20	12月 20	1月 19	2月 18	3月 20	合計 243
内科	112.8	117.0	117.7	122.1	116.7	132.2	115.1	119.0	132.8	140.6	120.1	116.7	121.7
消化器内科	14.0	12.0	14.4	13.4	13.6	13.8	12.0	14.8	16.3	12.4	13.0	13.3	13.6
循環器内科	28.1	27.9	28.6	25.0	26.1	28.3	27.3	26.5	29.9	29.7	29.5	26.8	27.8
小児科	5.5	5.9	5.2	6.3	6.3	6.0	6.0	5.1	7.2	6.1	6.5	6.8	6.1
外科	35.3	34.0	35.6	33.2	31.8	33.3	37.5	36.3	38.5	36.5	32.4	35.6	35.0
整形外科	74.2	75.5	75.1	72.4	69.1	73.9	64.8	77.0	75.4	73.3	78.5	74.0	73.5
脳神経外科	5.8	6.4	6.0	5.6	6.0	6.8	6.3	6.3	7.6	6.0	6.5	6.8	6.3
産婦人科	9.5	10.0	12.5	11.0	10.8	13.1	13.2	11.6	14.9	12.5	11.9	11.8	11.9
眼科	24.2	23.1	24.4	27.0	22.7	26.8	25.5	25.8	26.3	28.0	24.7	26.2	25.4
耳鼻咽喉科	3.7	4.5	4.2	3.3	4.8	5.5	4.3	3.6	4.3	4.8	3.5	4.1	4.2
リハビリ科	6.4	6.6	6.8	6.6	5.2	6.4	6.6	7.6	7.0	6.9	7.7	6.6	6.7
放射線科	6.8	7.1	8.6	7.6	6.4	6.3	5.8	6.8	6.6	5.7	6.1	5.9	6.7
泌尿器科	13.4	13.6	14.0	11.7	14.4	15.6	13.9	11.8	14.2	15.4	16.2	13.4	13.9
皮膚科	26.6	27.0	26.3	28.0	24.1	27.8	26.0	24.8	23.6	24.8	25.3	24.2	25.7
麻酔科	3.3	3.3	4.0	3.1	4.2	4.0	3.8	2.5	3.1	3.0	2.3	3.2	3.3
形成外科	7.7	9.0	8.3	6.3	6.6	9.2	7.4	9.5	7.7	7.6	8.4	6.8	7.9
合計	376.5	382.1	391.4	382.1	368.0	408.4	374.7	388.8	415.1	412.6	391.7	381.9	388.9

1日平均初診患者数

	4月 21	5月 21	6月 20	7月 22	8月 21	9月 19	10月 22	11月 20	12月 20	1月 19	2月 18	3月 20	合計 243
内科	13.6	15.2	17.0	17.7	17.6	18.4	15.0	17.7	19.3	24.0	16.9	16.2	17.3
消化器内科	0.9	0.3	0.6	0.5	0.7	0.3	0.4	0.7	0.9	0.5	0.5	0.4	0.6
循環器内科	0.7	1.2	1.3	1.0	1.0	0.8	1.3	1.0	1.0	1.3	1.0	0.8	1.0
小児科	1.8	2.0	2.0	2.2	1.9	1.8	1.5	1.0	2.4	2.2	2.0	2.1	1.9
外科	2.5	3.4	2.6	2.9	3.2	3.1	3.1	2.8	2.9	2.2	2.5	2.5	2.8
整形外科	5.1	5.0	5.3	4.2	4.6	4.0	4.8	5.1	5.8	5.7	4.9	6.0	5.0
脳神経外科	2.0	2.5	1.7	1.6	2.4	1.4	1.7	1.9	1.9	1.7	2.3	1.5	1.9
産婦人科	0.9	0.7	0.9	0.8	0.9	1.0	0.8	0.6	0.6	0.7	0.5	1.0	0.8
眼科	0.8	0.6	0.7	0.5	0.9	0.6	0.8	0.7	1.1	0.7	0.9	0.5	0.7
耳鼻咽喉科	0.7	1.1	0.7	0.7	0.9	1.4	0.5	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9
リハビリ科	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1
放射線科	5.8	6.0	6.9	6.1	5.2	5.3	5.1	5.7	5.5	4.6	5.1	5.0	5.6
泌尿器科	0.6	0.7	0.7	0.5	1.0	0.9	0.8	1.1	0.8	1.0	0.6	0.6	0.8
皮膚科	1.0	1.7	1.4	1.3	1.3	1.2	1.7	1.2	1.1	0.9	1.8	1.2	1.3
麻酔科	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
形成外科	1.0	1.5	1.5	1.3	1.0	1.9	1.4	1.8	1.4	1.0	1.3	1.1	1.4
合計	36.9	41.5	43.0	41.0	42.2	41.7	38.6	42.0	45.2	46.8	40.6	39.6	41.5

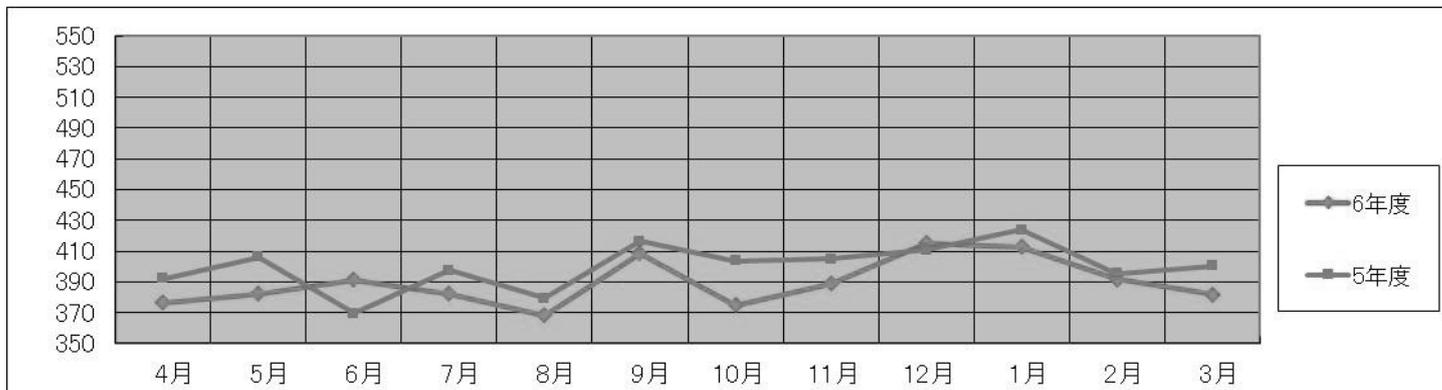
科別延べ患者数

	4月 21	5月 21	6月 20	7月 22	8月 21	9月 19	10月 22	11月 20	12月 20	1月 19	2月 18	3月 20	合計 243
内科	2,367	2,455	2,354	2,685	2,450	2,510	2,532	2,380	2,656	2,671	2,161	2,333	29,554
消化器内科	294	252	287	293	285	262	262	296	326	235	233	265	3,290
循環器内科	589	584	572	550	547	536	600	530	598	564	530	536	6,736
小児科	114	122	104	138	132	114	130	101	144	115	116	135	1,465
外科	741	713	711	730	666	632	825	725	770	692	582	712	8,499
整形外科	1,558	1,584	1,501	1,591	1,450	1,403	1,425	1,540	1,507	1,391	1,412	1,480	17,842
脳神経外科	120	133	119	123	126	129	138	125	152	114	116	135	1,530
産婦人科	199	210	250	241	225	248	289	232	297	237	213	236	2,877
眼科	507	484	488	593	475	509	559	516	525	531	443	524	6,154
耳鼻咽喉科	76	93	84	72	99	104	94	72	85	90	62	82	1,013
リハビリ科	134	137	136	144	108	120	145	152	140	130	137	132	1,615
放射線科	142	148	172	167	133	118	126	136	131	108	109	118	1,608
泌尿器科	280	285	279	257	302	296	304	235	284	291	291	267	3,371
皮膚科	557	567	526	616	506	528	570	496	471	470	454	484	6,245
麻酔科	68	69	79	67	87	76	82	50	62	57	41	63	801
形成外科	161	189	166	138	138	173	162	189	153	143	151	136	1,899
合計	7,907	8,025	7,828	8,405	7,729	7,758	8,243	7,775	8,301	7,839	7,051	7,638	94,499

初診患者数

	4月 21	5月 21	6月 20	7月 22	8月 21	9月 19	10月 22	11月 20	12月 20	1月 19	2月 18	3月 20	合計 243
内科	284	319	339	389	369	349	330	354	385	455	304	323	4,200
消化器内科	18	6	11	10	13	5	8	13	17	8	8	7	124
循環器内科	13	24	25	21	20	15	28	19	19	23	17	15	239
小児科	37	41	39	47	39	33	33	19	48	40	35	42	453
外科	51	70	51	63	67	58	68	56	57	40	44	49	674
整形外科	107	104	105	91	96	76	104	101	115	108	87	119	1,213
脳神経外科	40	52	33	35	49	25	36	38	37	31	40	30	446
産婦人科	17	14	17	16	18	19	16	11	12	12	9	20	181
眼科	15	12	14	9	18	10	16	14	21	12	16	9	166
耳鼻咽喉科	13	23	14	14	18	25	11	18	17	14	15	18	200
リハビリ科	1	0	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0	7
放射線科	121	125	137	134	109	100	112	113	109	87	91	100	1,338
泌尿器科	12	14	14	10	19	16	16	21	15	19	10	11	177
皮膚科	20	34	28	27	26	21	37	23	21	16	31	24	308
麻酔科	4	3	3	7	4	2	3	3	2	2	1	2	36
形成外科	21	30	29	28	21	36	29	36	28	18	22	22	320
合計	774	871	860	901	886	791	848	839	903	888	730	791	10,082

外来患者数の推移（6年度 対 5年度）



令和6年度 月別診療科別 1日平均患者数（前年比較）

外来

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	6年度	112.8	117.0	117.7	122.1	116.7	132.2	115.1	119.0	132.8	140.6	120.1	116.7	121.7
	5年度	120.8	130.8	119.3	133.9	125.8	136.2	127.0	129.2	129.6	140.1	121.3	126.7	128.4
	増▲減	▲ 8.0	▲ 13.8	▲ 1.6	▲ 11.8	▲ 9.1	▲ 4.0	▲ 11.9	▲ 10.2	3.2	0.5	▲ 1.2	▲ 10.0	▲ 6.7
消化器内科	6年度	14.0	12.0	14.4	13.4	13.6	13.8	12.0	14.8	16.3	12.4	13.0	13.3	13.6
	5年度	13.3	12.3	12.5	11.9	14.5	12.4	14.1	13.0	15.5	11.4	14.9	13.0	13.2
	増▲減	0.7	▲ 0.3	1.9	1.5	▲ 0.9	1.4	▲ 2.1	1.8	0.8	1.0	▲ 1.9	0.3	0.4
循環器内科	6年度	28.1	27.9	28.6	25.0	26.1	28.3	27.3	26.5	29.9	29.7	29.5	26.8	27.8
	5年度	29.3	30.0	28.2	27.4	25.1	33.0	30.1	25.1	29.7	31.1	28.0	28.8	28.8
	増▲減	▲ 1.2	▲ 2.1	0.4	▲ 2.4	1.0	▲ 4.7	▲ 2.8	1.4	0.2	▲ 1.4	1.5	▲ 2.0	▲ 1.0
小児科	6年度	5.5	5.9	5.2	6.3	6.3	6.0	6.0	5.1	7.2	6.1	6.5	6.8	6.1
	5年度	4.3	6.3	6.1	6.4	5.6	5.3	5.7	6.5	6.5	5.9	4.8	6.5	5.8
	増▲減	1.2	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.1	0.7	0.7	0.3	▲ 1.4	0.7	0.2	1.7	0.3	0.3
外科	6年度	35.3	34.0	35.6	33.2	31.8	33.3	37.5	36.3	38.5	36.5	32.4	35.6	35.0
	5年度	33.6	33.6	32.2	34.6	33.3	37.6	37.0	35.1	37.9	38.9	36.3	35.2	35.4
	増▲減	1.7	0.4	3.4	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 4.3	0.5	1.2	0.6	▲ 2.4	▲ 3.9	0.4	▲ 0.4
整形外科	6年度	74.2	75.5	75.1	72.4	69.1	73.9	64.8	77.0	75.4	73.3	78.5	74.0	73.5
	5年度	79.4	77.3	68.5	75.4	71.3	79.1	76.3	78.8	76.8	79.3	76.2	78.3	76.4
	増▲減	▲ 5.2	▲ 1.8	6.6	▲ 3.0	▲ 2.2	▲ 5.2	▲ 11.5	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 6.0	2.3	▲ 4.3	▲ 2.9
脳神経外科	6年度	5.8	6.4	6.0	5.6	6.0	6.8	6.3	6.3	7.6	6.0	6.5	6.8	6.3
	5年度	6.1	6.3	6.2	6.4	4.7	5.4	5.3	6.5	6.1	7.4	5.8	6.3	6.0
	増▲減	▲ 0.3	0.1	▲ 0.2	▲ 0.8	1.3	1.4	1.0	▲ 0.2	1.5	▲ 1.4	0.7	0.5	0.3
産婦人科	6年度	9.5	10.0	12.5	11.0	10.8	13.1	13.2	11.6	14.9	12.5	11.9	11.8	11.9
	5年度	9.6	9.9	10.0	9.6	8.5	10.6	10.9	10.8	10.8	10.5	10.8	9.2	10.1
	増▲減	▲ 0.1	0.1	2.5	1.4	2.3	2.5	2.3	0.8	4.1	2.0	1.1	2.6	1.8
眼科	6年度	24.2	23.1	24.4	27.0	22.7	26.8	25.5	25.8	26.3	28.0	24.7	26.2	25.4
	5年度	25.3	26.1	23.0	26.8	24.5	29.6	25.0	27.0	27.5	27.8	23.3	27.0	26.1
	増▲減	▲ 1.1	▲ 3.0	1.4	0.2	▲ 1.8	▲ 2.8	0.5	▲ 1.2	▲ 1.2	0.2	1.4	▲ 0.8	▲ 0.7
耳鼻咽喉科	6年度	3.7	4.5	4.2	3.3	4.8	5.5	4.3	3.6	4.3	4.8	3.5	4.1	4.2
	5年度	4.8	6.5	4.2	5.6	4.2	5.1	4.1	4.5	5.0	4.5	4.0	4.9	4.8
	増▲減	▲ 1.1	▲ 2.0	0.0	▲ 2.3	0.6	0.4	0.2	▲ 0.9	▲ 0.7	0.3	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.6
リハビリ	6年度	6.4	6.6	6.8	6.6	5.2	6.4	6.6	7.6	7.0	6.9	7.7	6.6	6.7
	5年度	4.4	4.0	4.2	4.4	5.8	5.2	7.8	7.1	6.6	8.3	7.6	8.0	6.1
	増▲減	2.0	2.6	2.6	2.2	▲ 0.6	1.2	▲ 1.2	0.5	0.4	▲ 1.4	0.1	▲ 1.4	0.6
放射線科	6年度	6.8	7.1	8.6	7.6	6.4	6.3	5.8	6.8	6.6	5.7	6.1	5.9	6.7
	5年度	7.8	6.9	6.4	6.0	5.5	6.2	6.8	5.9	6.0	6.0	6.8	7.4	6.5
	増▲減	▲ 1.0	0.2	2.2	1.6	0.9	0.1	▲ 1.0	0.9	0.6	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.5	0.2
泌尿器科	6年度	13.4	13.6	14.0	11.7	14.4	15.6	13.9	11.8	14.2	15.4	16.2	13.4	13.9
	5年度	15.8	14.6	14.9	13.7	14.8	15.8	14.5	15.6	15.3	15.8	16.7	13.8	15.1
	増▲減	▲ 2.4	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 3.8	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 1.2
皮膚科	6年度	26.6	27.0	26.3	28.0	24.1	27.8	26.0	24.8	23.6	24.8	25.3	24.2	25.7
	5年度	26.1	29.0	23.0	25.5	25.4	23.5	26.7	25.9	24.8	24.7	27.6	24.7	25.6
	増▲減	0.5	▲ 2.0	3.3	2.5	▲ 1.3	4.3	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 1.2	0.1	▲ 2.3	▲ 0.5	0.1
麻酔科	6年度	3.3	3.3	4.0	3.1	4.2	4.0	3.8	2.5	3.1	3.0	2.3	3.2	3.3
	5年度	3.4	3.3	2.9	3.0	3.7	3.0	3.5	4.1	3.7	3.5	2.7	2.8	3.3
	増▲減	▲ 0.1	0.0	1.1	0.1	0.5	1.0	0.3	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.4	0.4	0.0
形成外科	6年度	7.7	9.0	8.3	6.3	6.6	9.2	7.4	9.5	7.7	7.6	8.4	6.8	7.9
	5年度	8.1	9.6	8.6	7.3	7.5	8.5	9.5	9.8	9.2	9.2	9.0	8.1	8.7
	増▲減	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.9	0.7	▲ 2.1	▲ 0.3	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 0.8
合計	6年度	376.5	382.1	391.4	382.1	368.0	408.4	374.7	388.8	415.1	412.6	391.7	381.9	388.9
	5年度	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.9
	増▲減	▲ 15.4	▲ 23.9	22.0	▲ 15.5	▲ 11.4	▲ 7.8	▲ 28.8	▲ 15.9	4.4	▲ 11.1	▲ 3.5	▲ 18.4	▲ 11.0

【前年度との比較】

入院

1日平均患者数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	174.5	165.7	163.5	162.7	152.0	161.0	166.8	163.6	170.0	181.0	178.9	170.0	167.4
5年度	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2
増▲減	▲ 13.9	▲ 28.2	▲ 14.2	▲ 24.8	▲ 46.5	▲ 28.6	▲ 10.9	▲ 16.4	7.8	▲ 15.9	▲ 1.4	4.3	▲ 15.8

平均在院日数(単位:日)(一般病床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	16.5	15.0	16.9	16.2	14.9	15.6	14.4	14.1	12.2	16.8	17.2	16.5	15.3
5年度	16.4	16.0	16.0	16.3	13.6	14.8	13.9	13.7	13.4	16.6	15.7	14.2	15.1
増▲減	0.1	▲ 1.0	0.9	▲ 0.1	1.3	0.8	0.5	0.4	▲ 1.2	0.2	1.5	2.3	0.2

1人1日単価(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	50,424	52,295	50,602	51,028	53,430	51,642	54,074	54,352	55,219	52,000	51,234	52,146	52,371
5年度	50,219	51,179	51,583	50,960	53,179	53,997	53,283	51,558	54,168	52,018	50,935	53,014	52,159
増▲減	205	1,116	▲ 981	68	251	▲ 2,355	791	2,794	1,051	▲ 18	299	▲ 868	212

外来

1日平均患者数(単位:人)

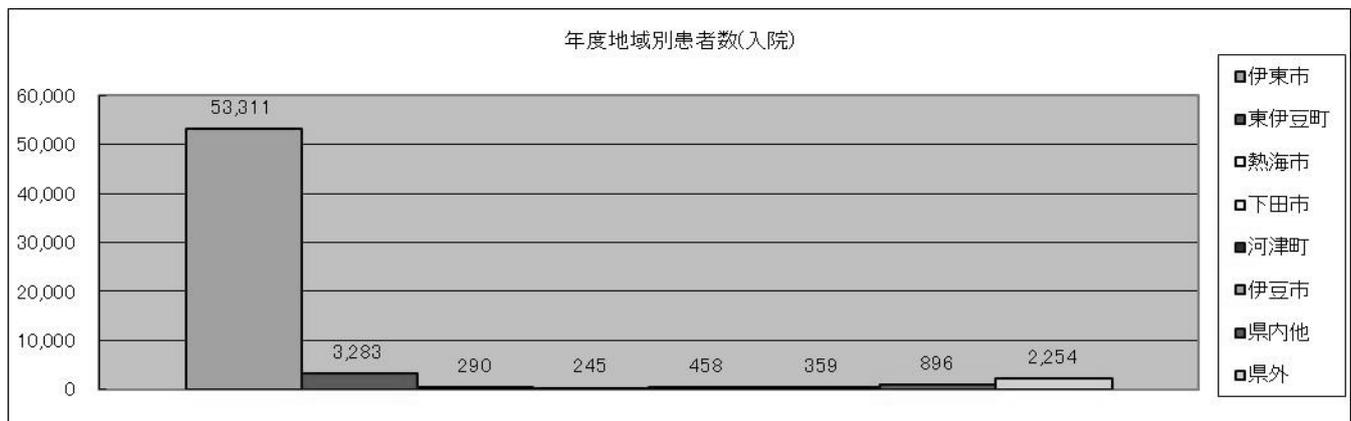
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	376.5	382.1	391.4	382.1	368.0	408.4	374.7	388.8	415.1	412.6	391.7	381.9	388.9
5年度	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.4
増▲減	▲ 15.4	▲ 23.9	22.0	▲ 15.5	▲ 11.4	▲ 7.8	▲ 28.8	▲ 15.9	4.4	▲ 11.1	▲ 3.5	▲ 18.4	▲ 10.5

1人1日単価(単位:円)

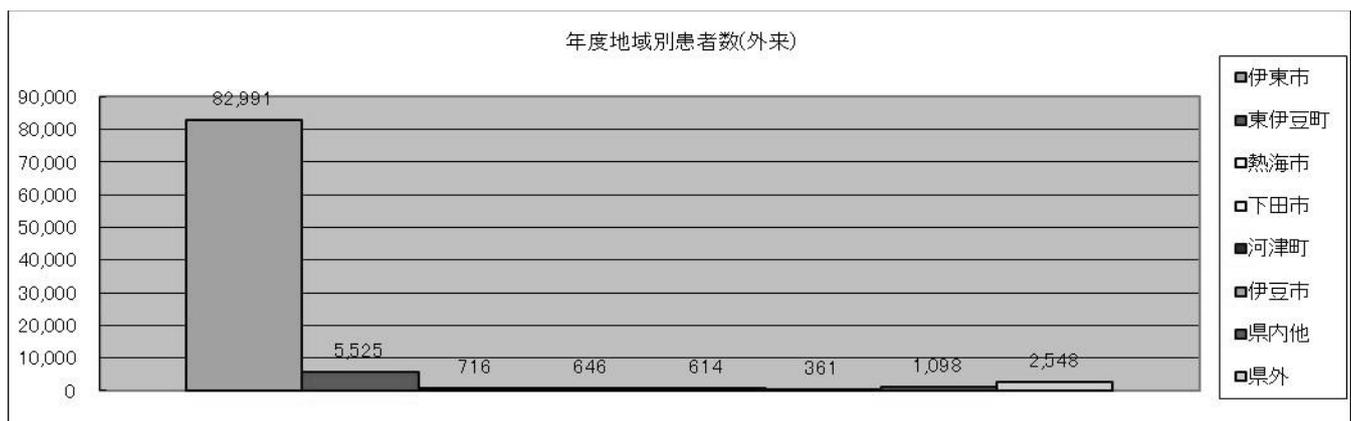
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	11,012	11,286	11,105	11,450	11,445	10,947	11,441	11,668	11,502	12,764	11,453	11,221	11,441
5年度	11,560	11,828	11,938	11,796	11,336	11,372	11,369	11,152	11,536	12,147	11,566	11,674	11,604
増▲減	▲ 548	▲ 542	▲ 833	▲ 346	109	▲ 425	72	516	▲ 34	617	▲ 113	▲ 453	▲ 163

地域別患者数

入院	伊東市	東伊豆町	熱海市	下田市	河津町	伊豆市	県内他	県外	合計
4月	4,699	214	19	5	15	29	43	210	5,234
5月	4,534	190	15	18	5	38	87	249	5,136
6月	4,163	284	26	31	33	29	112	226	4,904
7月	4,359	328	15	7	59	0	89	188	5,045
8月	4,103	247	42	2	53	11	87	167	4,712
9月	4,291	264	15	25	66	20	42	106	4,829
10月	4,593	283	16	27	71	21	45	114	5,170
11月	4,359	256	2	21	11	15	58	186	4,908
12月	4,667	250	39	16	14	44	71	169	5,270
1月	4,881	340	37	45	38	21	70	179	5,611
2月	4,268	302	33	28	47	78	52	200	5,008
3月	4,394	325	31	20	46	53	140	260	5,269
年度合計	53,311	3,283	290	245	458	359	896	2,254	61,096
年度構成割合	87.3%	5.4%	0.5%	0.4%	0.7%	0.6%	1.5%	3.7%	100.0%
5年度	85.7%	5.7%	1.0%	0.7%	0.6%	0.5%	1.8%	3.9%	100.0%



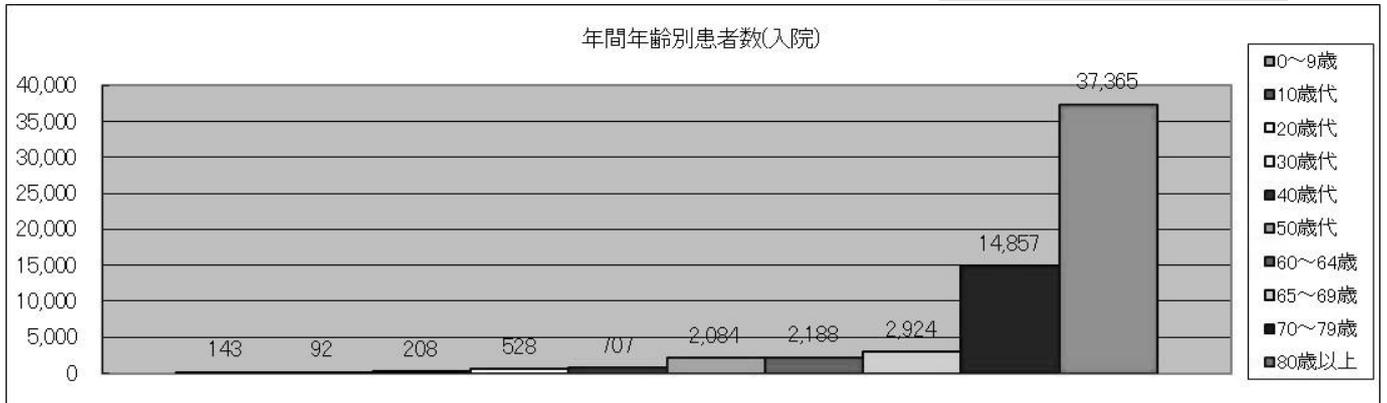
外来	伊東市	東伊豆町	熱海市	下田市	河津町	伊豆市	県内他	県外	合計
4月	6,970	441	41	62	55	28	85	225	7,907
5月	7,099	440	61	49	62	32	88	194	8,025
6月	6,879	478	68	53	54	23	85	188	7,828
7月	7,403	464	67	60	65	36	93	217	8,405
8月	6,787	460	60	40	46	36	79	221	7,729
9月	6,854	449	56	50	45	39	86	179	7,758
10月	7,294	455	63	44	60	32	74	221	8,243
11月	6,770	483	63	68	41	38	104	208	7,775
12月	7,228	516	71	55	59	26	110	236	8,301
1月	6,826	487	67	52	56	24	104	223	7,839
2月	6,204	398	47	53	33	22	81	213	7,051
3月	6,677	454	52	60	38	25	109	223	7,638
年度合計	82,991	5,525	716	646	614	361	1,098	2,548	94,499
年度構成割合	87.8%	5.8%	0.8%	0.7%	0.6%	0.4%	1.2%	2.7%	100.0%
5年度	87.6%	5.8%	0.6%	0.8%	0.7%	0.3%	1.4%	2.8%	100.0%



地域別患者数 年齢別患者数(月別)

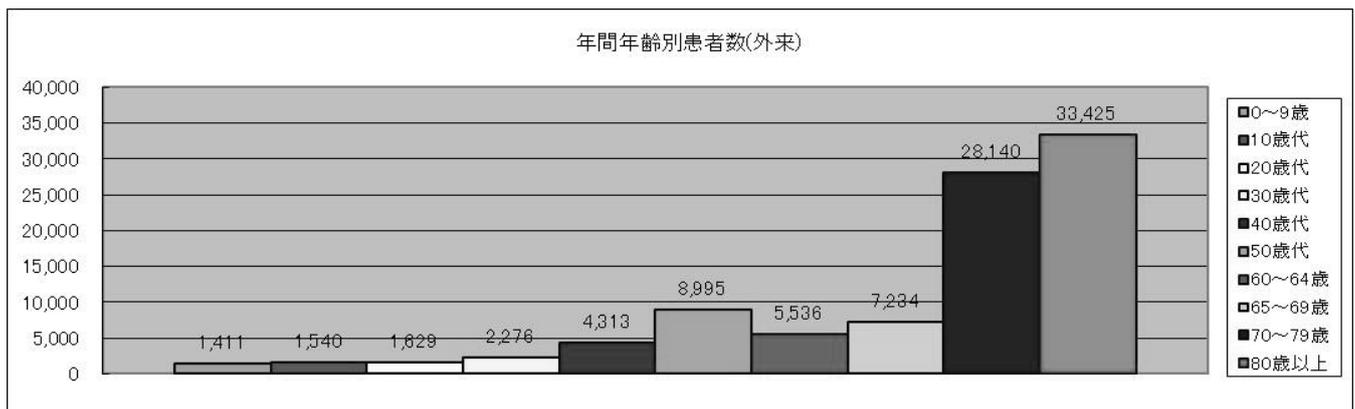
入院	0～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
4月	6	0	20	49	37	146	162	161	1,282	3,371	5,234
5月	7	23	29	50	72	128	187	193	1,287	3,160	5,136
6月	2	0	10	32	73	137	166	192	1,341	2,951	4,904
7月	11	7	9	52	54	153	156	229	1,091	3,283	5,045
8月	27	31	20	24	59	233	144	212	1,035	2,927	4,712
9月	15	10	24	38	61	202	186	253	1,275	2,765	4,829
10月	13	7	16	48	117	196	216	340	1,449	2,768	5,170
11月	5	4	25	36	58	258	151	289	1,249	2,833	4,908
12月	42	4	13	70	74	193	194	240	1,292	3,148	5,270
1月	6	5	27	49	29	157	240	262	1,138	3,698	5,611
2月	4	1	7	23	19	130	208	234	1,168	3,214	5,008
3月	5	0	8	57	54	151	178	319	1,250	3,247	5,269
年度合計	143	92	208	528	707	2,084	2,188	2,924	14,857	37,365	61,096
年度構成割合	0.2%	0.2%	0.3%	0.9%	1.2%	3.4%	3.6%	4.8%	24.3%	61.2%	100.0%

5年度構成割合	0.3%	0.2%	0.3%	0.8%	1.7%	3.6%	3.5%	4.6%	27.3%	57.9%	100.0%
									90.3%		
									89.7%		



外来	0～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
4月	112	126	125	168	331	757	464	569	2,356	2,899	7,907
5月	125	123	139	174	361	704	436	631	2,384	2,948	8,025
6月	131	105	144	199	355	761	416	592	2,357	2,768	7,828
7月	138	125	158	234	391	746	498	643	2,520	2,952	8,405
8月	120	152	146	221	333	725	446	643	2,293	2,650	7,729
9月	115	96	129	221	362	672	471	629	2,358	2,705	7,758
10月	109	133	130	198	391	794	459	623	2,546	2,860	8,243
11月	111	125	107	195	371	769	496	587	2,294	2,720	7,775
12月	122	157	169	187	388	845	507	592	2,442	2,892	8,301
1月	101	115	124	167	328	787	493	619	2,292	2,813	7,839
2月	112	132	106	145	344	718	409	532	2,035	2,518	7,051
3月	115	151	152	167	358	717	441	574	2,263	2,700	7,638
年度合計	1,411	1,540	1,629	2,276	4,313	8,995	5,536	7,234	28,140	33,425	94,499
年度構成割合	1.5%	1.6%	1.7%	2.4%	4.6%	9.5%	5.9%	7.7%	29.8%	35.4%	100.0%

5年度構成割合	1.5%	1.6%	1.5%	2.0%	4.4%	8.6%	5.7%	7.6%	30.6%	36.8%	100.0%
									72.8%		
									74.9%		



救急患者受付状況

全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	115	105	96	125	120	110	120	123	139	159	105	109	1,426
時間外	408	418	440	443	510	417	419	387	582	600	415	423	5,462
合計	523	523	536	568	630	527	539	510	721	759	520	532	6,888
(うち入院数)	139	137	137	137	130	146	157	127	199	151	115	116	1,691
(うち転送数)	9	22	22	12	12	18	13	21	23	39	20	18	229
救急車搬入件数	346	339	307	359	405	330	340	350	458	494	357	350	4,435
救急車/急患数	66.2%	64.8%	57.3%	63.2%	64.3%	62.6%	63.1%	68.6%	63.5%	65.1%	68.7%	65.8%	64.4%

救急患者科別内訳

時間内	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	73	68	66	97	91	83	87	86	96	118	71	80	1,016
消化器内科													0
循環器内科													0
小児科	3	2		4	4	3		1	3	4	1	1	26
外科	5	6	2	6	9	7	9	2	3	6	3	1	59
整形外科	25	26	24	15	14	12	18	28	30	20	21	22	255
脳神経外科	9	1	3	3	2	5	6	5	6	9	8	5	62
産婦人科			1							1			2
眼科													0
耳鼻咽喉科		2								1	1		4
リハビリ科													0
放射線科													0
泌尿器科													0
皮膚科													0
麻酔科													0
形成外科								1	1				2
合計	115	105	96	125	120	110	120	123	139	159	105	109	1,426
(うち入院数)	41	42	43	52	44	54	53	38	68	48	40	37	560
入院率	35.7%	40.0%	44.8%	41.6%	36.7%	49.1%	44.2%	30.9%	48.9%	30.2%	38.1%	33.9%	39.3%

時間外	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	248	249	296	295	345	293	275	260	412	452	273	264	3,662
消化器内科													0
循環器内科													0
小児科	31	27	27	30	27	13	26	12	24	30	31	31	309
外科	30	44	32	33	32	32	32	29	34	26	24	29	377
整形外科	64	59	61	56	59	50	65	58	70	69	56	72	739
脳神経外科	26	36	21	18	34	19	18	22	30	21	24	21	290
産婦人科	4	1	1	8	5	4	1	2	3	1		2	32
眼科											2		2
耳鼻咽喉科	4	2	1	1	5	3	2	3	7	1	3	2	34
リハビリ科													0
放射線科													0
泌尿器科			1	1	1	1					1		5
皮膚科	1			1	2	1							5
麻酔科													0
形成外科						1		1	2		1	2	7
救急科													
合計	408	418	440	443	510	417	419	387	582	600	415	423	5,462
(うち入院数)	98	95	94	85	86	92	104	89	131	103	75	79	1,131
入院率	24.0%	22.7%	21.4%	19.2%	16.9%	22.1%	24.8%	23.0%	22.5%	17.2%	18.1%	18.7%	20.7%

救急患者地域別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	412	410	439	449	483	443	446	416	580	607	408	396	5,489
(割合)	78.8%	78.4%	81.9%	79.0%	76.8%	84.1%	82.7%	81.6%	80.4%	80.0%	78.5%	74.4%	79.7%
県内	26	33	46	37	46	33	39	33	59	64	38	46	500
(割合)	5.0%	6.3%	8.6%	6.5%	7.3%	6.3%	7.2%	6.5%	8.2%	8.4%	7.3%	8.6%	7.3%
県外	85	80	51	82	101	51	54	61	82	88	74	90	899
(割合)	16.3%	15.3%	9.5%	14.4%	16.0%	9.7%	10.0%	12.0%	11.4%	11.6%	14.2%	16.9%	13.1%
合計	523	523	536	568	630	527	539	510	721	759	520	532	6,888

ドクターヘリ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
搬入	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
搬出	5	1	4	3	1	2	3	0	0	0	0	0	19
合計	5	3	4	3	1	2	3	0	0	0	0	0	21

手術件数(手術室実施件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科													0
外科	23	24	20	27	20	23	30	30	33	25	20	24	299
整形外科	32	37	31	30	26	25	35	36	36	40	24	33	385
脳神経外科	1		2	2			2	1	2	4	2	6	22
産婦人科		2	1	2	2	3	1	3	4	2	3	1	24
眼科	16	15	12	25	26	19	27	24	24	18	14	11	231
耳鼻咽喉科				2	2	1	2	2	2	1	1	2	15
皮膚科													0
泌尿器科	6	6	3	1	2	1	4	2	3	4	4	5	41
麻酔科	5	8	6	12	11	5	9	6	5	5	6	6	84
形成外科	21	19	22	18	15	19	17	23	15	17	18	18	222
合計	104	111	97	119	104	96	127	127	124	116	92	106	1,323
うち時間外件数	1	2	0	1	1	0	1	0	2	0	1	2	11

心臓カテーテル件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カテーテル検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カテーテル手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち予定外件数													0

アンギオ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
血管塞栓術等	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	7
合計	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	9

内視鏡件数(保険診療分のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部	104	87	89	99	109	82	121	108	102	89	96	93	1,179
下部	78	75	75	84	97	94	98	101	112	77	67	73	1,031
合計	182	162	164	183	206	176	219	209	214	166	163	166	2,210

分娩件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	2	1	1	2	1	3	2	0	5	1	0	1	19
時間外	0	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	6
休日・深夜	1	1	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	6
合計件数	3	4	1	4	3	3	2	0	7	2	0	2	31

【 地域別患者数 前年度との比較 】

救急患者受付状況

a 時間内(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	115	105	96	125	120	110	120	123	139	159	105	109	119
5年度	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	123
増▲減	11	6	▲ 5	0	▲ 58	▲ 24	2	2	8	26	3	▲ 19	▲ 4

b 時間外(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	408	418	440	443	510	417	419	387	582	600	415	423	455
5年度	359	495	357	494	542	461	436	407	466	563	388	445	451
増▲減	49	▲ 77	83	▲ 51	▲ 32	▲ 44	▲ 17	▲ 20	116	37	27	▲ 22	4

c 救急車搬入件数(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	346	339	307	359	405	330	340	350	458	494	357	350	370
5年度	305	369	274	385	467	391	360	347	406	456	325	393	373
増▲減	41	▲ 30	33	▲ 26	▲ 62	▲ 61	▲ 20	3	52	38	32	▲ 43	▲ 3

d 入院数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	139	137	137	137	130	146	157	127	199	151	115	116	141
5年度	150	168	133	170	201	175	169	159	164	188	119	159	163
増▲減	▲ 11	▲ 31	4	▲ 33	▲ 71	▲ 29	▲ 12	▲ 32	35	▲ 37	▲ 4	▲ 43	▲ 22

e 転送数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	9	22	22	12	12	18	13	21	23	39	20	18	19
5年度	13	15	15	15	16	12	23	17	15	24	19	31	18
増▲減	▲ 4	7	7	▲ 3	▲ 4	6	▲ 10	4	8	15	1	▲ 13	1

手術件数(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	104	111	97	119	104	96	127	127	124	116	92	106	110
5年度	111	105	117	97	105	110	117	112	136	112	112	98	111
増▲減	▲ 7	6	▲ 20	22	▲ 1	▲ 14	10	15	▲ 12	4	▲ 20	8	▲ 1

心臓カテーテル件数(検査・手術)(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増▲減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

アンギオ件数(血管塞栓術・ペーシング術)(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1
5年度	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0
増▲減	0	1	1	1	0	0	1	▲ 1	0	1	1	0	1

内視鏡件数(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
6年度	182	162	164	183	206	176	219	209	214	166	163	166	184
5年度	210	187	173	173	191	192	227	229	214	175	192	160	194
増▲減	▲ 28	▲ 25	▲ 9	10	15	▲ 16	▲ 8	▲ 20	0	▲ 9	▲ 29	6	▲ 10

令和6年度 紹介・逆紹介件数 (診療科別)

紹介件数(診療科別)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度																						
内科(一般内科)	191	165	171	179	221	193	232	228	232	176	215	173	235	184	198	190	198	189	188	172	139	140	193	171	2,413	2,160	
循環器内科	28	28	34	31	28	35	29	33	25	33	33	35	40	45	25	33	29	32	40	35	29	25	39	29	379	394	
消化器内科	33	25	20	14	23	16	30	19	31	17	25	7	20	10	26	18	38	21	17	12	29	15	24	9	316	183	
小児科	10	5	12	8	9	10	14	17	16	7	16	13	8	12	7	9	4	14	5	5	6	7	11	8	118	115	
外科	29	27	38	43	31	35	31	41	51	45	27	36	45	44	47	41	42	41	43	34	37	35	36	41	457	463	
形成外科	37	23	27	34	38	26	23	32	27	25	30	38	47	36	39	34	20	30	21	28	22	26	30	23	361	355	
整形外科	58	41	46	48	39	47	38	54	48	42	65	44	58	37	54	60	47	58	41	57	49	37	42	47	585	572	
皮膚科	26	6	22	15	25	14	12	19	10	16	12	7	6	17	22	17	13	12	18	10	11	10	5	8	182	151	
脳神経外科	23	22	14	31	22	26	20	30	18	14	20	24	31	34	16	13	14	19	17	14	21	22	18	22	234	271	
産婦人科	11	9	11	7	8	13	14	10	11	8	8	12	11	17	8	6	13	6	8	6	5	6	5	9	113	109	
眼科	18	11	15	7	15	13	23	11	25	18	18	15	17	18	20	13	8	22	14	11	18	12	11	14	202	165	
耳鼻科	14	12	19	21	10	12	18	10	18	14	20	18	12	15	15	18	10	14	12	9	5	8	14	12	167	163	
泌尿器科	18	17	10	19	22	10	21	15	10	22	15	17	16	19	34	35	17	20	25	23	16	17	10	14	214	228	
麻酔科	3	2	2	3	2	5	4	4	4	6	4	2	5	4	6	3	3	5	4	2	2	2	1	4	38	42	
救急科	11	7	9	8	11	6	10	7	8	4	7	5	8	16	5	6	16	3	23	8	11	13	11	5	130	88	
合計	510	400	450	468	504	461	519	530	534	447	515	446	559	508	522	496	472	486	476	426	398	375	450	416	5,909	5,459	

逆紹介件数(診療科別)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度																						
内科(一般内科)	190	191	209	218	190	201	198	182	247	195	208	183	270	207	245	206	215	241	222	221	197	200	248	223	2,639	2,468	
循環器内科	23	30	35	42	26	29	26	27	19	23	29	26	34	27	36	27	23	35	31	28	21	27	35	19	338	340	
消化器内科	20	34	29	15	29	15	24	26	37	22	26	21	26	9	23	20	29	19	18	22	34	15	25	19	320	237	
小児科	10	4	5	2	2	4	4	6	6	6	5	1	6	7	4	7	5	12	3	2	1	8	2	5	53	64	
外科	53	32	37	48	42	40	55	31	48	34	46	41	39	48	44	41	39	35	46	43	49	32	49	41	547	466	
形成外科	15	21	20	12	15	15	10	16	14	12	13	9	14	15	15	18	15	14	16	15	17	22	17	18	181	187	
整形外科	74	74	66	57	64	59	62	50	62	60	62	48	71	56	64	67	68	77	59	68	55	71	61	71	768	758	
皮膚科	6	9	7	10	2	5	2	6	7	6	3	3	5	15	3	10	2	6	2	3	5	7	9	11	53	91	
脳神経外科	27	20	23	12	32	8	21	12	19	25	15	8	8	15	20	17	16	16	17	8	17	10	11	11	226	162	
産婦人科	12	10	15	9	5	12	4	11	11	9	11	11	11	11	13	12	13	16	10	15	9	6	9	11	123	133	
眼科	11	6	16	5	7	7	6	15	16	7	12	13	14	8	7	8	9	15	11	11	8	6	16	12	133	113	
耳鼻科	4	4	1	8	4	6	7	5	12	8	2	6	11	7	6	7	8	13	9	1	5	6	11	9	80	80	
泌尿器科	11	6	8	17	11	8	11	10	11	11	13	10	19	18	10	7	11	12	11	11	18	16	9	5	143	131	
麻酔科																											
救急科	3	8	9	13	12	7	11	15	13	8	4	9	18	18	10	7	8	11	22	23	15	23	21	13	146	155	
合計	459	450	480	469	441	416	441	413	523	427	449	392	546	462	500	455	463	523	479	473	454	449	525	469	5,760	5,398	

令和6年度 紹介件数（医療機関別）

医療機関名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	5年度	6年度	5年度	6年度																							
青木クリニック	9	2	4	4	3	7	8	9	8	3	1	3	5	7	7	4	8	5	12	5	7	4	4	3	76	56	▲20
阿部脳神経外科医院	12	9	10	5	4	7	7	6	8	3	8	8	8	3	7	1	6	4	16	6	4	2	6	1	96	55	▲41
伊豆高原クリニック	3	4	3	2			4	3	3	3	7	6		5	5	3	5	3	4	1	2	2	2	3	37	39	▲2
伊豆高原メディカルたかなぎ整形外科	4	7	3	6	3	6	3	4	1	3	5	2	3	6	4	2	1	5	3	4	3	1	1	4	34	50	▲16
伊豆高原ゆうゆうの里診療所	10	5	4	8	4	7	8	8	9	5	1	12	10	3	4	6	4	5	4	2	4	3	7	4	69	68	▲1
伊豆のさと診療所			1	2				1	1	2	1	1	1	2			1	1	3	2	2	1	1		11	12	▲1
伊豆まさき整形外科	1	2	3	4	2	2	2	5	5	2	6	9	6	2	5	4	3	5		4	5		3	2	41	41	▲0
伊東つくしクリニック					3			1		1	1	1	1	1			1		1			2	1		9	4	▲5
伊東ヘルスサポートクリニック	1	5	4	5	7	10	11	6	3	4	3	9	11	7	7	7	7	3	4	4	9	3	9	3	76	66	▲10
伊東吉田眼科耳鼻科クリニック			2				1		1		1		1												6	0	▲6
上山レディースクリニック	3	2	1	2	2	3	2	5	2	1	3	2	5	5	3	4	3	4	3	1	1	5	3	4	31	38	▲7
大川胃腸科外科	14	16	10	15	17	26	20	20	23	13	20	16	17	24	14	22	21	11	15	13	13	17	14	17	198	210	▲12
おおたか内科クリニック	6	3	6	4	7	6	9	8	8	6	4	6	5	5	8	8	8	8	10	10	5	6	8	6	84	76	▲8
かとう内科・皮膚科クリニック	4	2	5	2	3	4	3	6	1	4	4	3	6	3	2	7	4	3	3	1	3	5	3	2	41	42	▲1
木村整形外科クリニック	6	4	6	9	16	11	12	11	9	9	10	5	14	10	7	8	9	8	6	10	10	8	5	5	110	98	▲12
許田医院	7	11	7	8	13	10	4	9	9	4	11	8	16	7	10	15	9	12	11	8	6	11	12	11	115	114	▲1
グレースホームケアクリニック伊東	5	2	2	8	6	8	10	5	4	4	4	4	10	7	6	9	4	6	7	4	2	7	3	5	63	69	▲6
佐藤産婦人科医院	1		2		2		1	2		2	1	2	1	2	1	2	3	2	1	1		2			18	10	▲8
城ヶ崎やまだクリニック	3		2	3		2		2	1		2		1	1	1	1	1	1	1	2		1		1	13	11	▲2
祖父尼皮ふ科	8		3	6	6	2	2		2	4	3	4	7		6	3	2	1	2	2	1	2	2	1	44	25	▲19
高野医院	16	17	10	15	10	13	9	14	16	14	17	10	20	15	17	13	14	11	17	13	11	10	17	14	174	159	▲15
たかやす医院	2	4	4	4	3	4	2	4	4		2	6	4	5	3	6	5	3	4	3	4	2		4	37	45	▲8
田島医院	3	2	9	4	6	2	5	8	5	2	3	1	4	6	5	3	1	2	6	5	4	3	4	4	55	42	▲13
たちばなメディカルクリニック	24	21	20	25	14	26	27	22	17	23	32	15	14	28	25	28	35	25	25	23	20	12	22	20	275	268	▲7
たちばなメディカルクリニック広野院	16	14	11	17	11	9	14	19	17	21	16	15	17	13	11	16	12	6	13	12	12	10	8	6	158	158	▲0
なかた整形外科クリニック	3	2	10	10	2	6	7	9	2	6	11	3	5	8	4	14	11	11	5	8	1	4	5	6	66	87	▲21
なかもむろ内科・消化器内科クリニック	9	14	4	16	21	9	14	14	22	15	24	10	16	12	15	13	11	8	15	7	9	5	15	9	175	132	▲43
なぎさクリニック	2	2	2		1	4	2	2			2		2		1		1	1	2	1	1	2	5	3	23	15	▲8
はあとふる内科泌尿器科伊豆高原	16	9	17	26	21	12	22	21	22	13	24	13	27	11	14	11	18	14	14	15	8	10	17	12	220	167	▲53
はあとふる内科泌尿器科川奈	10	14	13	11	17	11	14	17	23	12	9	13	15	23	13	12	10	14	8	11	17	8	11	11	160	157	▲3
ばすぎ整形外科クリニック	12	9	9	6	12	9	16	3	7	11	4	9	10	3	10	15	6	12	8	10	10	7	8	12	112	106	▲6
長谷川胃腸科内科医院	2	3	2		3	6	3	8	3	1	4	4	4	7	1	4	7	5	4	5	3	5	4	3	40	51	▲11
長谷川眼科	2	1	1	1	1		2		4		3		2	2	1	2	2	1	2		2		1		23	7	▲16
月出整形外科医院																									0	0	▲0
皮膚科小西医院	9	3	5	7	1	7	4	7	5	4	11	12	9	9	14	5	2	7	5	11	6	10	7	4	78	86	▲8
日吉クリニック	5	2	4	4	5	3	1	1	4	2	3	4	3	2	2	1	1		2	1		3	2	6	32	29	▲3
ヒルサイド眼科クリニック	1	2	2	1	2	3	2	3	2		1	1	6	4	5	1	1	2		3	3	3	3	1	28	24	▲4
藤井クリニック	2	1	1	2		1	2				1	2		1	1			1		1	1		2	2	10	11	▲1
まさき耳鼻科医院	9	10	7	7	18	8	11	9	6	5	11	12	9	7	7	5	10	10	10	5	3	6	4	9	105	93	▲12
松尾耳鼻咽喉科	9	14	19	13	18	13	13	18	15	11	18	10	18	9	18	14	15	13	13	8	6	12	14	11	176	146	▲30
むらかみ小児科クリニック	2		3	7	1	2	2	2	6		1	2		5	3	3		4	4		2	1	7		31	26	▲5
メディカルはば伊豆高原	13	8	10	10	14	14	13	12	12	11	11	14	15	11	14	15	10	11	16	12	14	8	12	16	154	142	▲12
メディカルはば法華塚	1	1					2							1					3	1		2	1		7	5	▲2
山本医院	12	7	5	6	11	4	8	9	9	5	1	3	11	8	7	6	7	10	4	7	3	6	4	2	82	73	▲9
やまもプラザファミリークリニック	13	6	7	9	7	5	7	12	11	8	8	7	5	9	12	9	9	12	7	9	10	6	10	10	106	102	▲4
横山医院	18	14	14	16	13	9	29	13	19	16	22	12	20	18	16	16	14	12	16	14	13	13	21	18	215	171	▲44
伊東市立夜間救急医療センター	7	5	6	3	6	7	7	8	3	5	3	6	7	6	5	7	5	7	4	3	4	3	4	3	61	63	▲2
介護老人保健施設いとうの杜	28	22	30	19	19	18	24	11	10	15	23	15	21	22	21	19	17	12	18	19	21	16	15	18	247	206	▲41
介護老人保健施設のぞみ	3	2	1	2	4	5	5	7	4	6	3	2	4	4		1	3	5	5	5	3	2	3	5	38	46	▲8
介護老人保健施設みはらし	5	6	7	7	8	3	5	7	5	7	4	8	4	1	3	3	1	7	8	7	10	5	10	6	70	67	▲3
市内歯科クリニック	2	1	2	2		1	2	1	1			3	2	2		1	2		2	1	1	3	2	5	16	20	▲4
伊東の丘いずみ		3	1	3	3	5		2	1		3		4	3	1	1			2			3	1	2	16	22	▲6
特別養護老人ホーム																									0	0	▲0
市内接骨院																									0	0	▲0
宛先不明					1	1	3		3	2	1		1				1								4	9	▲5
市内合計	353	293	314	346	348	337	380	375	356	286	376	313	406	355	347	349	330	314	348	299	282	259	326	293	4166	3819	▲347
伊東市以外	157	107	136	122	156	124	139	155	178	161	139	133	153	153	175	147	142	172	128	127	116	116	124	123	1743	1640	▲103
合計	510	400	450	468	504	461	519	530	534	447	515	446	559	508	522	496	472	486	476	426	398	375	450	416	5909	5459	▲450

▲110 18 ▲43 11 ▲87 ▲69 ▲51 ▲26 14 ▲50 ▲23 ▲34 ▲450

令和6年度 逆紹介件数（医療機関別）

医療機関名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度																						
青木クリニック	6	1	3	5	3	2	2	5	4	4	4	6	4		2	2	2	4	4	4	2	2	2	5	38	40	2
阿部脳神経外科医院	8	3	11	3	4	3	2	9	3	1	3	3	6	6	4	3	5	3	4	4	4	2	4		58	40	▲18
伊豆高原クリニック	2	2	8	2	4	4	2	4	3	2	3	3	5	1	4	2	4	4	2	4	2	3	2	3	41	34	▲7
伊豆高原メディカルたかやなぎ整形外科	4	8	6	6	8	3	3	3	1	4	2	12	7	6	5	3	1	7	3	3	2	4	2	5	44	64	20
伊豆高原ゆうゆうの里診療所	5	5	6	8	2	4	5	3	3	4	5	4	1	5	4	7	1	4	4	3	4	4	6	4	46	55	9
伊豆のさと診療所		1	1			1				1		1		1	1		1				1	1			3	7	4
伊豆まさき整形外科	2	1		3	3	1	2	1	2		2		1	1	2	1	2	1	2	1	3	3	1		22	13	▲9
伊東つくしクリニック	1		2		3	1	3	2	4		3	1	2	1	2	6		1	3	1	4	2	2	2	29	17	▲12
伊東ヘルスサポートクリニック	3	7	3	6	6	3	8	1	5	5	8	8	10	5	8	6	9	9	3	4	9	6	11	8	83	68	▲15
伊東吉田眼科耳鼻科クリニック																									0	0	0
上山レディースクリニック	1	1	1	1	1				2		1		2	2		1	1	3			1	1	1		11	9	▲2
大川胃腸科外科	7	4	4	4	8	3	4	6	8	5	8	5	8	7	9	13	8	10	3	8	14	9	6	10	87	84	▲3
おおたか内科クリニック	8	4	9	7	6	3	14	3	7	5	5	10	6	7	5	10	9	6	5	4	7	5	12	7	93	71	▲22
かとう内科・皮膚科クリニック	2	1	3		2	2	1	1		2		1			1	2	2				2	4	1		15	12	▲3
木村整形外科クリニック	2	3	3	5	3	5	3	5	4	3	5	1	2	1	3	3	5	5	2	2	2	4	5	2	39	39	0
許田医院	3	7	1	9	2	1	1	8	4	7	5	7	5	2	3	6	10	7	4	9	10	5	1	6	49	74	25
グレースホームケアクリニック伊東	5	6	5	6	6	8	8	5	8	5	1	2	9	7	7	8	6	9	5	5	7	5	7	5	74	71	▲3
佐藤産婦人科医院			1					2			1					1				1					3	3	0
城ヶ崎やまだクリニック	1	1	3	1				1	3	2	1		1	1	1	1	1	1		2			1		12	10	▲2
祖父尼皮ふ科	2	2	5	1	5	3	2		1	1	2	1	1	2	2		3	2	2	3	2	2		1	27	18	▲9
高野医院	8	11	9	15	7	10	6	10	5	10	13	5	11	7	12	2	5	14	11	7	6	10	16	10	109	111	2
たかやす医院	1	5	3	1	2	8	3	2	2	3	1	2	2	5	5	4	3	9	2	1	3	4	9	3	36	47	11
田島医院	3	2	7	3	5	1	7	2	2	1	5		5	1	3	8	4	2		3	5	3	2	1	48	27	▲21
たちばなメディカルクリニック	18	21	17	6	14	12	10	19	12	12	14	7	15	14	14	12	23	18	18	15	12	10	15	15	182	161	▲21
たちばなメディカルクリニック広野院	10	11	4	5	7	4	8	4	8	3	5	3	9	5	8	7	8	3	10	4	10	5	9	8	96	62	▲34
なかた整形外科クリニック	3	3	4	1	2	7	7	5	6	2	4	1	4	5	5	6	5	6	6	7	1	6	5	3	52	52	0
なかむら内科・消化器内科クリニック	7	3	6	6	4	3	5	2	17	8	9	5	11	1	10	8	2	6	6	5	3	4	11	4	91	55	▲36
なぎさクリニック	1		6	2	2			2	4	3	1	3	3	2	3	2	2	3		2	1		1	1	24	20	▲4
はあとふる内科泌尿器科伊豆高原	11	11	15	15	10	9	13	11	18	10	18	9	14	17	15	13	13	11	14	11	12	15	19	4	172	136	▲36
はあとふる内科泌尿器科川奈	5	6	16	5	8	5	12	9	13	8	7	3	5	9	10	9	9	5	7	11	10	5	6	7	108	82	▲26
ばすぎ整形外科クリニック	5	8	7	6	2		8	5	5	7	1	3	9	1	7	3	1	5	7		5	7	6	10	63	55	▲8
長谷川胃腸科内科医院	2	1	4	2	1	1	6	2	4	4	3	2	2	1		3	4	6	1	1	3	1	3	2	33	26	▲7
長谷川眼科	2	1	1	2	2	3	2	1	5			2	4	2	1	1	1		2	2	1		1	2	22	16	▲6
月出整形外科医院																									0	0	0
皮フ科小西医院	2	6	4	2	4	4	1	1	3	3	2	2	3	4	6	2	2	3	2	3	5	5	6	8	40	43	3
日吉クリニック	3	2	5	1	2	1	4	3	5	1	4	4	5	5	3	2	7	2	4	4	2	2	3	5	47	32	▲15
ヒルサイド眼科クリニック		3	2		3	1	1	2			4	1	3	2	3		2	1	1		2	1	1		22	11	▲11
藤井クリニック					1			1	1		1				1		2	1	1					1	7	3	▲4
まさき耳鼻科医院	7	1	2	3	10	2	5	1	3	3	3	1	1	2	2	1	1	6	3	2	1	2	1	1	39	25	▲14
松尾耳鼻咽喉科	4	6	3		7	6	3	5	3	9	3	3	3	2	14	6		7	10	3	2	8	2	5	54	60	6
むらかみ小児科クリニック	2	1	3				1	1	1	1				1	1	3	1	2			1		2		12	9	▲3
メディカルはば伊豆高原	8	5	10	6	5	12	9	5	8	8	10	6	9	8	4	11	7	11	12	4	8	5	15	12	105	93	▲12
メディカルはば法華塚													1		1		1	1						1	3	2	▲1
山本医院	11	9	12	10	7	7	12	7	17	5	11	5	16	8	19	11	7	11	8	14	13	11	8	10	141	108	▲33
やまもプラザファミリークリニック	5	5	3	1	3	1	6	3	6		3	2	5	5	4	1	6	7	8	3	7	3	8	4	64	35	▲29
横山医院	14	18	11	21	22	15	10	15	12	12	14	11	22	19	18	16	25	23	17	38	21	17	22	22	208	227	19
伊東市立夜間救急医療センター		1																							0	1	1
介護老人保健施設いとうの杜	26	20	27	22	18	21	23	14	16	22	17	19	25	27	12	14	21	18	21	19	18	21	18	17	242	234	▲8
介護老人保健施設のぞみ	7	3	4	8	8	3	6	5	7	5	4	4	3	5	4	6	4	6	5	5	7	4	3	6	62	60	▲2
介護老人保健施設みはらし	11	14	10	17	16	11	12	12	5	3	10	10	12	13	12	10	13	13	15	12	14	12	14	14	142	141	▲1
市内歯科クリニック	4	8	5	9	12	7	4	2	8	6	8	9	7	6	4	7	9	8	14	7	4	5	15	4	94	78	▲16
伊東の丘いずみ	2	1		2	2	1	2	2		2	2		4	4	3	1					2	3	1	1	18	17	▲1
施設	2	2	4	5	4	2	4	1	3	2		4	1		2	1	2	2	5	1	3	2	1	6	31	28	▲3
整骨院																									0	0	0
その他	14	4	8	2	5	2	3		8	4	7	3	4		4		4		6		3		3	3	69	18	▲51
																									0	0	
市内合計	260	249	287	245	261	206	253	213	269	208	243	194	288	236	273	244	264	287	262	242	258	231	292	249	3210	2804	▲406
伊東市以外	199	201	193	224	180	210	188	200	254	219	206	198	258	226	227	211	199	236	217	231	196	218	233	220	2550	2594	44
合計	459	450	480	469	441	416	441	413	523	427	449	392	546	462	500	455	463	523	479	473	454	449	525	469	5760	5398	▲362

▲9 ▲11 ▲25 ▲28 ▲96 ▲57 ▲84 ▲45 60 ▲6 ▲5 ▲56 ▲362

● オープン検査利用件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	5年度	6年度	5年度	6年度																						
オープン検査件数	151	137	132	138	137	162	119	166	115	130	117	116	136	121	111	136	115	123	108	105	121	105	149	116	1511	1555
伊東市以外	2	3	2	2	2	1	1		2	2	1		2	3	3		2	2	3	1	3	1		1	23	16
合計	153	140	134	140	139	163	120	166	117	132	118	116	138	124	114	136	117	125	111	106	124	106	149	117	1534	1571

44

▲ 7

37

● オープン検査医療機関別件数（伊東市内のみ）

医療機関名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	5年度	6年度	5年度	6年度																						
青木クリニック		1	8	1	5	2	5	1	1	3	1		1		2	2	5		2	2	2	2	4	2	36	16
阿部脳神経外科医院	1	3	1	1		1	1	4		1	1		3	2	2	1	1	2	2	4		2			12	21
伊豆高原クリニック																									0	0
伊豆高原メディカルたかなぎ整形外科	5	5		8	3	8	6	3	5	5	2	1	3	3	5	3	3	4	6	4	3	4	8	4	49	52
伊豆高原ゆうゆうの里診療所	13	15	9	13	13	9	7	16	11	7	5	14	15	6	11	11	7	13	17	13	11	18	13	14	132	149
伊豆のさと診療所	1		2	1	1	2		1		2		1	1		2	3		1	1			1	2		10	12
伊豆まさき整形外科	12	5	13	6	7	9	15	9	8	10	5	4	4	9	5	4	8	12	8	7	6	2	8	5	99	82
伊東つくしクリニック			1		1												1						1	1	3	2
伊東ヘルスサポートクリニック	2	2		2	2	3		2	2	1	3	4	1	3	1	2	6		2	1	2	1	4	1	25	22
伊東吉田眼科耳鼻科クリニック																									0	0
上山レディースクリニック																									0	0
大川胃腸科外科																									0	0
おおたか内科クリニック	6	6	1	4	5	3	1	5	3	4	3	3	4	4	2	9	1	4	1		6	1	3	3	36	46
かとう内科・皮フ科クリニック																									0	0
木村整形外科クリニック	4	4	6	2	4	3	5	4	6	5	6	4	5	8	4	7	4	4	5	6	4	3	9	9	62	59
許田医院	1	2	2	2	2	3		3	2	1	4	3	1	3		2	2		1	3	1	4		3	16	29
グレースホームケアクリニック伊東								2		1						2		1							0	6
佐藤産婦人科医院																									0	0
城ヶ崎やまだクリニック																									0	0
祖父尼皮ふ科																									0	0
高野医院	20	19	12	11	15	22	13	19	16	18	16	18	19	18	9	10	16	10	8	10	14	18	20	7	178	180
たかやす医院			2											1											2	1
田島医院		1						1				1		1		1		1	1	1			1		2	7
たちばなメディカルクリニック	12	6	9	10	8	5	12	13	7	7	9	8	5	7	6	11	5	8	4	10	7	11	11	6	95	102
たちばなメディカルクリニック広野院	3	2	3	1	2	5	1		1	3	1		1	2			1		2		1			1	12	18
なかた整形外科クリニック	4	8	2	6	4	7	4	4	2	7	3	4	3	5	5	5	4	5	2	2	5	1	5	3	43	57
なかむら内科・消化器内科クリニック	6	5	4	8	5	9	9	9	6	5	9	5	7	5	5	11	5	6	6	3	8	2	6	2	76	70
なぎさクリニック																									0	0
はあとふる内科泌尿器科伊豆高原	16	12	11	10	17	7	3	11	9	10	5	7	14	6	9	12	7	10	12	6	7	2	13	10	123	103
はあとふる内科泌尿器科川奈	6	10	5	6	9	11	6	5	3	3	3	5	2	7	6	4	4	5	3	8	2	2	4	6	53	72
ぼすぎ整形外科クリニック	23	10	13	9	19	28	15	21	11	17	12	19	17	11	15	14	15	14	12	8	23	10	19	22	194	183
長谷川胃腸科内科医院			1	1	1		1	1				1		1		1									6	2
長谷川眼科																									0	0
月出整形外科医院																									0	0
皮フ科小西医院																									0	0
日吉クリニック	2		4	2	2		2	2	2		4	1	3	1	2		3		2		1	1	1	1	27	8
ヒルサイド眼科クリニック																									0	0
藤井クリニック		1		1									1												0	3
まさき耳鼻科医院	5	3	5	7		3	2	11	4	1	2	1	2		1	4		2	1	2	3	5	4	5	29	44
松尾耳鼻咽喉科	1	2	2	6	3	6	1	5		6	2	5	4	5	3	1	5	6	1	3	1	2	3	2	26	49
むらかみ小児科クリニック																									0	0
メディカルはば伊豆高原	1	4	3	5	3	1	1	1	5	2	6	4	8	4	5	2	1	2	3	2	3		4	3	43	30
メディカルはば法華塚								1																	0	1
山本医院	3	8	9	10	2	8	2	7	8	6	9	1	8	6	7	13	11	7	5	4	8	8	3	3	75	81
やまもプラザファミリークリニック	2	1	2	5	3	3	5	3	3	3	3	2	3	3		1	2	3	3	3	3	2	2	2	31	31
横山医院	2	2	2		1	4	2	2		2	1	1	1		2	1		1		1	1	2	2	1	14	17
伊東市立夜間救急医療センター																									0	0
介護老人保健施設											1				1										2	0
市内歯科クリニック																									0	0
合計	151	137	132	138	137	162	119	166	115	130	117	116	136	121	111	136	115	123	108	105	121	105	149	116	1511	1555
伊東市以外	2	3	2	2	2	1	1		2	2	1		2	3	3		2	2	3	1	3	1		1	23	16
合計	153	140	134	140	139	163	120	166	117	132	118	116	138	124	114	136	117	125	111	106	124	106	149	117	1534	1571

▲ 20

9

0

3

17

2

▲ 17

▲ 1

▲ 3

0

0

0

0

10

0

▲ 3

13

6

0

0

0

▲ 1

5

7

6

14

▲ 6

0

▲ 20

19

▲ 11

▲ 4

0

0

0

▲ 19

0

3

15

23

0

▲ 13

1

6

0

3

0

▲ 2

0

0

▲ 13

6

24

46

15

▲ 2

▲ 14

22

8

▲ 5

▲ 18

15

37

令和6年度 紹介率・逆紹介率(地域医療支援病院紹介率) オープン込み 初診のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率 ①/②	6年度	76.5%	75.5%	74.9%	79.2%	70.7%	73.3%	75.9%	80.5%	69.0%	73.3%	73.6%	74.0%
	5年度	77.7%	73.0%	80.8%	74.7%	75.0%	79.2%	79.2%	75.9%	75.8%	70.3%	78.5%	75.8%
逆紹介率 ③/②	6年度	117.5%	103.6%	99.6%	96.2%	99.2%	92.7%	98.7%	102.7%	108.6%	120.9%	114.2%	104.6%
	5年度	98.5%	109.3%	100.5%	95.1%	104.5%	100.1%	113.0%	109.1%	105.5%	111.2%	130.5%	106.6%

50%

70%

紹介)

紹介状あり初診(総数)	264	326	316	361	305	294	345	359	333	286	257	291	3,737
オープンCT・MRI(初診)	118	124	133	133	110	99	112	113	105	85	89	99	1,320
オープン栄養(初診)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(夜間救急センター・みばらし)	-6	-6	-8	-10	-11	-6	-2	-8	-9	-6	-4	-4	-80
(休日及び夜間患者)	-20	-38	-33	-31	-34	-21	-32	-25	-45	-39	-29	-36	-383
(医師不在施設・介護老人保健施設)	-7	-8	-4	-7	-4	-2	-10	-3	-2	-6	-4	-9	-66
① 紹介患者の数	349	398	404	446	366	364	413	436	382	320	309	341	4,528
5年度	430	368	419	399	426	416	444	398	381	355	332	378	4,746

逆紹介)

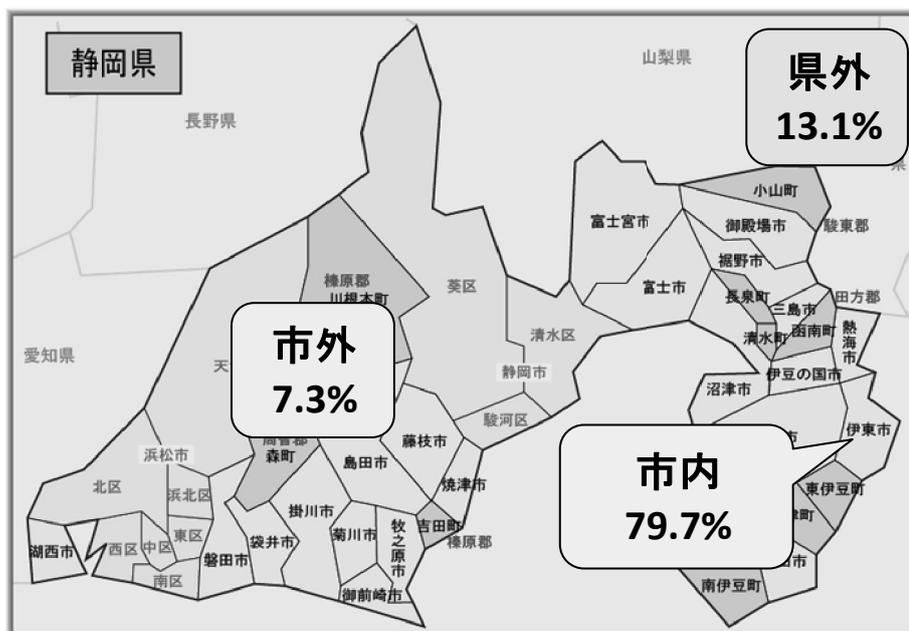
紹介状あり(総数)	450	469	416	413	427	392	462	455	523	473	449	469	5,398
オープンCT・MRI(全件)	140	140	163	166	132	116	124	136	125	106	106	117	1,571
(夜間救急センター・みばらし)	-15	-17	-11	-12	-3	-10	-13	-10	-13	-12	-12	-14	-142
(死ななし・医師不在施設・海外・介護老人保健施設)	-39	-46	-31	-25	-43	-38	-36	-25	-34	-30	-34	-43	-424
③ 逆紹介患者の数	536	546	537	542	513	460	537	556	601	537	509	529	6,403
5年度	545	551	521	508	594	526	633	572	530	533	525	628	6,666

初診患者)

初診患者数	774	871	860	901	886	791	848	839	903	888	730	791	10,082
救急車初診(総数)	-230	-236	-189	-233	-253	-202	-193	-221	-241	-295	-219	-223	-2,735
休日及び夜間患者(救急車除く)	-88	-108	-132	-105	-116	-93	-111	-77	-109	-96	-90	-105	-1,230
健康診断からの患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
治療を再開した患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 初診患者の数	456	527	539	563	517	496	544	541	553	497	421	463	6,117
5年度	553	504	518	534	568	525	560	524	502	512	472	481	6,253

地域別救急患者件数

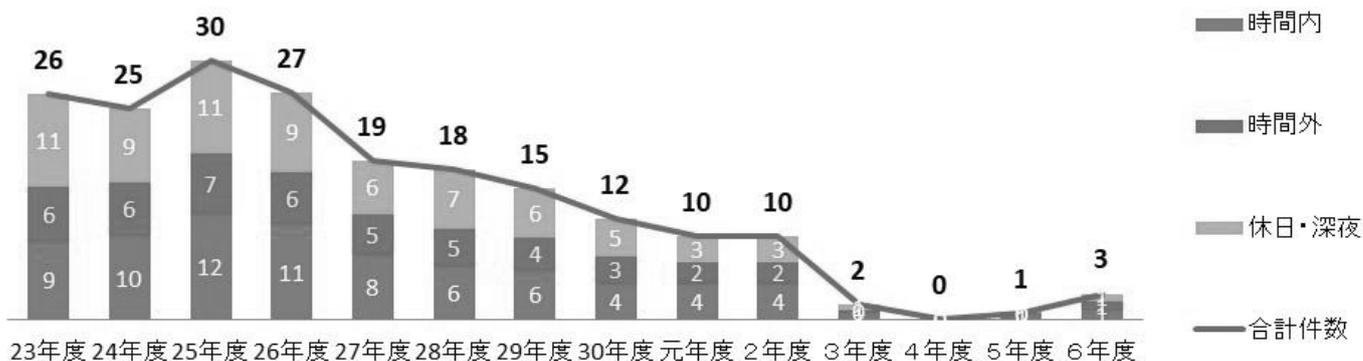
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市内	412	410	439	449	483	443	446	416	580	607	408	396	5,489
(割合)	78.8%	78.4%	81.9%	79.0%	76.8%	84.1%	82.7%	81.6%	80.4%	80.0%	78.5%	74.4%	79.7%
市外	26	33	46	37	46	33	39	33	59	64	38	46	500
(割合)	5.0%	6.3%	8.6%	6.5%	7.3%	6.3%	7.2%	6.5%	8.2%	8.4%	7.3%	8.6%	7.3%
県外	85	80	51	82	101	51	54	61	82	88	74	90	899
(割合)	16.3%	15.3%	9.5%	14.4%	16.0%	9.7%	10.0%	12.0%	11.4%	11.6%	14.2%	16.9%	13.1%
合計	523	523	536	568	630	527	539	510	721	759	520	532	6,888



分娩件数 推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	2	1	1	2	1	3	2	0	5	1	0	1	19
時間外	0	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	6
休日・深夜	1	1	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	6
合計件数	3	4	1	4	3	3	2	0	7	2	0	2	31

年度別 1月あたり平均分娩件数 推移



14. その他

(1) 指定医療・認定施設等

二次救急指定病院、労災指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、母体保護法指定医療機関、被爆者一般疾病医療機関、災害拠点病院、エイズ拠点病院、静岡県地域肝疾患連携拠点病院、静岡県難病協力病院、認知症疾患医療センター

(2) 施設基準一覧

基本診療料に関する施設基準

一般病棟入院基本料 10 対 1 入院基本料、看護必要度加算 2、臨床研修病院入院診療加算、救急医療管理加算、医師事務作業補助体制加算 120 対 1、妊産婦緊急搬送入院診療加算、診療録管理体制加算、急性期看護補助体制加算 25 対 1、急性期看護補助体制加算夜間 100 対 1、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 1、感染防止対策加算 1、患者サポート体制充実加算、ハイリスク妊娠管理加算、退院調整加算 2、救急搬送患者地域連携受入加算、データ提出加算 2、ハイケアユニット入院医療管理料 1、回復期リハビリテーション病棟入院料 2、入院時食事療養費 (I)

(3) 土地、建物、設備等

① 土地

敷地面積 21,956.37 m²
建築面積 8,582.90 m² (うち病院棟 4,511.04 m²)

② 建物

延床面積 18,628.35 m² (病院棟)
1,722.50 m² (アプローチ棟)
4,573.36 m² (立体駐車場棟)
21.00 m² (ボンベ庫棟)

③ 構造 病院棟 鉄筋コンクリート造 (免震構造)

アプローチ棟 鉄筋コンクリート造
立体駐車場棟 鉄骨造

④ 規模 病院棟 地上 5 階

アプローチ棟 地上 1 階
立体駐車場棟 地上 3 階

⑤ 高さ 20.64 m * 離着陸場 (ヘリポート) を除く

⑥ 外構 植栽帯

駐車場 321 台 (うち車椅子使用者用 6 台)
駐輪場 (二輪) 12 台
離着陸場 (ヘリポート) 着陸帯 18 m × 18 m
受入想定機種 BK117 (ドクターヘリ、静岡県防災ヘリ)
夜間照明 (航空灯火) 設置

⑧ 病棟構成

* 4階北病棟、5階北病棟は個室的多床室

5階北：51床／4床室×8室、2床室×2室

1床室×15室（うち重症2室、感染2室）

5階南：50床／4床室×8室、2床室×1室、

1床室×16室（うち重症2室）

4階北：43床／4床室×8室、1床室×11室（うちLDR

1室）

4階南：42床／4床室×8室、2床室×1室、1床室×8室

3階南：50床／4床室×8室、2床室×1室、

1床室×16室（うち重症2室）

集中治療室：14床／（ICU4床、CCU4床、HCU6床）

*各階に食堂、談話室

⑨ 各階特徴

4階

産婦人科外来が、産婦人科病棟と同一フロア

分娩可能な部屋 分娩室（清浄度100,000）、

LDR室、陣痛室（畳敷）の計3室

スタッフステーションに隣接した新生児室（清浄度10,000）

リハビリテーション室 全ての疾患に対応可能な広さ確保

3階

手術室4室（清浄度1,000×1室、清浄度10,000×3室）

集中治療室14床（清浄度100,000）

ICU個室（清浄度10,000）は無菌対応、個室は感染対応

2階

ホスピタルモール 災害時に医療行為が可能

（医療ガスアウトレット＋発電機系回路コンセント）

外来診察室×22室、点滴・ケア室×13ベッド、生理機能検

査室

一般撮影×3室、CT室×2室、X線TV室×2室、骨密度・

マンモグラフィ、血管造影（アンギオ）、磁気共鳴画像（MR

I）、外来治療室

（化学療法）×11ベッド、内視鏡室×3室＋内視鏡診察室×

2室、

救急処置室×2室、救急診察室×4室

1階

・薬剤部門・検体検査部門

・中央材料室（洗浄、滅菌）

*小荷物専用昇降機にて、救急部門と手術部門に供給

・健診センター

放射線検査、エコー・心電図、浴室（温泉）

・一般用食堂、職員用食堂、厨房（電化厨房）、中央監視室

その他

温泉は自家泉、温質、単純温泉、弱アルカリ性

効能はリウマチ性疾患、運動障害、神経症

(3) 主要医療機器一覧

医療機器名	数量
膝用 CPM パフォーマ	2
採尿蓄量比重自動測定装置	1
コードレス分娩監視装置システム	1
ノーバスオムニマルチカラーレーザー光凝固装置	1
散瞳一体型眼底カメラファイリングシステム	1
眼科用手術顕微鏡	1
超音波眼科手術装置	1
超音波画像診断装置 (A Bモード)	1
I O L マスター	1
無散瞳眼底カメラ	1
多項目自動血球分析装置	1
超音波診断装置	22
4D 超音波診断装置	1
超音波メス	1
新生児用 ABR 聴力検査装置	1
耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	1
エンドスクラブ 2 システム	1
ナルコメド GS 麻酔管理システム	2
テラソン超音波診断装置	1
脳神経外科手術用顕微鏡	1
脳神経外科手術用ナビゲーションシステム	1
マキシドライバーセット	1
A V インパルスシステム	1
コブレーター 2 サージェリーシステム	1
ハイディフィニションカメラ	1
気腹装置	1
ジンマーエムパワー 2	1
関節鏡システム	1
焼灼術用電気手術ユニット	1
手術顕微鏡	1
循環器用超音波診断装置	1
臨床用ポリグラフ検査システム	1
運動負荷試験システム	1
陽圧式人工呼吸器	1
除細動器	1

電子内視鏡システム	2
電子内視鏡システム/経鼻内視鏡	1
長期画像保管装置	1
ポータブル X 線装置	2
三次元画像作成ソフト	1
一般撮影用 X 線装置	3
コンピュータ断層撮影装置(128 列)	2
MRI 装置	1
X 線用画像処理装置	1
X 線 TV システム	1
無線式散薬調剤監査システム	1
全自動散薬分包機	1
全自動錠剤分包機	1
調剤支援システム	1
服薬指導支援システム	1
多用途筋機能評価訓練装置	1
パルスマイクロ波治療器	1
肩用 C P M センチュラ	1
近赤外線治療器	1
総合刺激装置	1
小型全自動尿分析装置	1
富士ドライケム分析器	1
誘発電位筋電図検査装置	1
全自動細菌検査システム	1
多項目自動血球分析装置	1
緊急マルチ自動分析装置	1
全自動科学発光酵素免疫測定システム	1
凍結切片作製装置	1
ティーチング顕微鏡・デジタルカメラ	1
迅速マルチ自動分析装置	1
ホルター心電図	1
簡易呼吸器	1
人工呼吸器	5
血液浄化装置	1
経腸栄養ポンプ	1
除細動器	1
ポケット ECG モニター	2

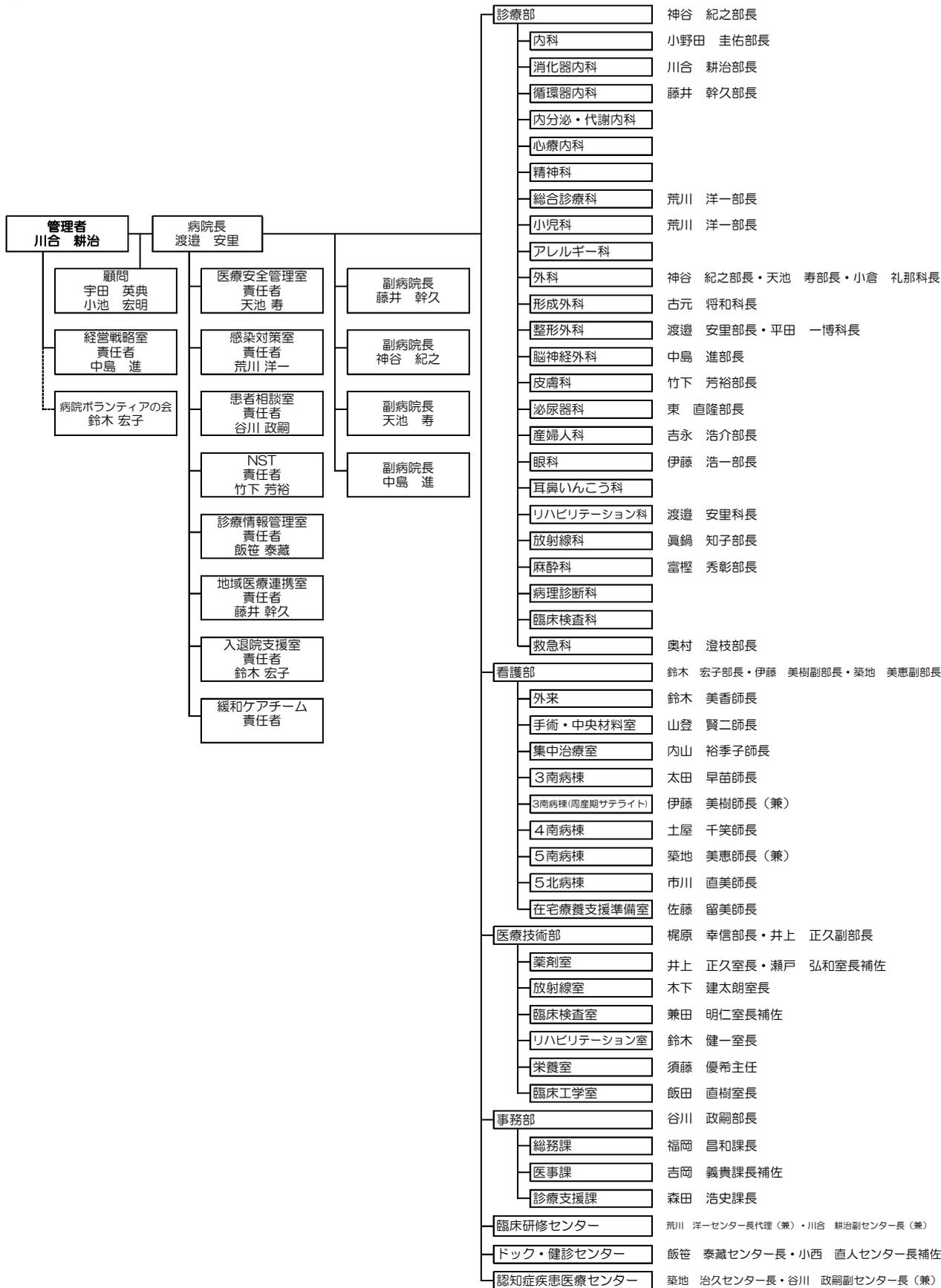
ドブラ胎児診断装置	1
リーチインショーケース	1
内視鏡ビデオシステム一式	1
TPS シェーバーハンドピース	1
簡易人工呼吸器	1
リスホルムブレンデ	1
脳外科用パワーツール	1
開腹器	2
LED 光線治療器	1
エチコンエンドトレーナー	1
骨密度診断装置	1
システム顕微鏡	1
エアウェイスコープ	1
分娩監視装置	1
ポータブル撮影装置	1
血圧脈波検査装置	1
バイオハザード対策用安全キャビネット	1
ベンチレーター840VV+	2
ベンチレーター840	1
尿自動分析装置	1
アクトカルディオグラフ	2
ベンチレーター840VV+	1
ベンチレーター840	1
X線TVシステム	1
マイクロスピードuni	1
補助循環装置	1
高周波手術装置	1
X線骨密度測定装置	1
立位撮影台(FPD)	1
スパイロメーター	1
オーディオボックス	2
オーディオメーター	2
自動視力計	1
血液ガス分析装置(台付)	1
集中管理システム 1 式	1
血沈測定装置	1
生化学自動分析装置	2

全自動血液凝固装置	2
グリコヘモグロビン A1c 測定装置	1
全自動免疫測定装置一式	1
全自動血液塗抹装置	1
薬剤管理システム	1
処方監査システム	1
水剤監査システム	1
散薬監査システム	1
自動軟膏練り機	1
注射薬監査システム	1
水剤台(排水付)	1
安全キャビネット	2
ウォッシャーディスインフェクター	2
全自動チューブ洗浄消毒乾燥装置	1
RO 水製造装置(タンク付)	1
高圧蒸気滅菌装置	2
バッグシーラー	2
耳鼻科用内視鏡システム一式	1
赤外線眼振検査装置	1
手術用顕微鏡(スタンド式)	2
除細動器(ペーシング機能無)	4
紫外線照射装置	1
膀胱鏡(結石破碎装置)	1
尿流量測定装置	1
無散瞳眼底カメラ	1
OCT 装置	1
角膜形状解析装置	1
自動点滴装置	10
内視鏡情報管理システム	1
超音波内視鏡システム一式	1
総合肺機能解析システム	1
生理検査システム	1
ホルター心電図解析装	1
長時間心電図記録装置	5
心電図データマネジメントシステム(移設)	1
中心脈波血圧計	1
採血管準備システム	1

トレッドミル	1
血圧監視装置(運動負荷用)	1
生体情報モニター	2
乳房撮影装置(FPD)	1
立位撮影台(FPD)	1
臥位撮影台(FPD)	1
カーディアックステイムレーター	1
血圧監視装置	1
血管造影撮影装置	1
血液凝固測定装置(ACT)	1
ポリグラフ	1
X線 TV 装置(FPD)	1
手術部門システム	1
手術室映像管理システム 一式	1
フットポンプ(静脈血栓予防)	10
内視鏡外科システム 一式	1
術野カメラシステム	4
麻酔記録装置	1
全身麻酔器	1
患者加温装置	1
コンステレーションビジョンシステム LT(硝子体・白内障手術装置)	1
エンドトレーナー	1
HOPKINS II テレスコープ	1
マイクローム	1
細胞収集装置	1
自動染色装置	1
自動封入装置	1
密閉式自動固定包埋装置	1
有機溶剤再生装置	1
病理検査システム	1
医療機器安全管理システム(ME 管理システム一式)	1
生体情報モニター(ベッドサイドモニター)	14
患者加温装置	1
血液ガス分析装置	1
血液凝固測定装置(ACT)	1
経皮的補助循環装置(PCPS)	1
個人用透析装置	1

個人用純水製造装置	1
生体情報モニター(ベッドサイドモニター)	29
心電計	6
昇降式平行棒(角型支持)	1
昇降式平行棒(標準型)	1
レッグエクステンションスラッシュカール リハブ	1
レッグプレス インクライン リハブ	1
セラ・バイタル	1
渦流浴装置(上下肢用)	1
光線治療ユニット	2
機械浴装置	2
吸引娩出器	2
セントラルモニター(8ch)	7
除細動器(ペースング機能無)	6
尿流量測定装置	4
心拍出量測定装置	1
電子カルテシステム	1
保健指導支援システム	1
外科用イメージングシステム	1
H.ピロリ呼気テスト測定用機器	1
レンズメータ	1
新生児ベッド	2
睡眠評価装置	1
バイポーラ切開凝固装置	1
モジュール型車椅子	1
AED	2
MRI 用パルスオキシメータ	1
マンモクライアント	1
超音波乳がん検診システム	1
コルポ スコープ OCS-	1
色素性疾患治療用 Q スイッチルビ-レーザー装置	1
イソ浸透式鼓膜麻酔器	1
生物顕微鏡	1
インビ-ダンスオ-ジ-オメータ	1
整形外科手術用工具 コプリ 2	1
ノンコンタクトトノメーター	1
頭部三点固定器	1

全自動血液培養装置	1
画像処理端末	1
セントラルモニタ用送信機	4
救急カート	1
ライターアングルダイセ（手術用剥離鉗子）	1
清拭車	1
整形外科用バッテリーパワーシステム	1
保育器デュアルインキュベーター	1
保育器インキュベーター	1
認知機能評価支援システム	1
空気清浄機エアードッグ	3
オゾン発生装置エアフィーノ	1
クリーンパーテーション	1
睡眠評価装置 AlicePDX	1
ネーザルハイフロー	6
臨床検査室用 PCR 検査装置	1
救急外来用 PCR 検査装置	1



(5) 職員の状況

令和6年3月末現在

職 種	職員数
医師	30
臨床研修医	16
薬剤師	7
臨床検査技師	14
診療放射線技師	10
理学療法士	13
作業療法士	9
言語聴覚士	2
管理栄養士	4
栄養士	1
視能訓練士	2
臨床工学技士	2
医療技術助手	
助産師	4
看護師	105
診療看護師	
特定ケア看護師	3
保健師	2
准看護師	2
介護福祉士	11
看護助手	17
医療ソーシャルワーカー	5
精神保健福祉士	1
保育士	4
事務職員	37
クレーク	
システムエンジニア	1
感染対策室長	1
医療安全管理室長	1
合計	304

巻末資料

(1) 院内合同ケースカンファレンス

院内合同ケースカンファレンスは、学術委員会が中心となり、平成27年から開催しています。以下に目的、方法、開催日、テーマを示します。

目的：医療の現場では、日々、自分の行為に対する葛藤や難しい事例に直面する。

そのような時、多職種間の意見交換による情報共通を図りつつ、多面的なアセスメントにより実践に変化をもたらすことで、有益なチーム医療の提供に貢献する。

方法：①事例提供者により、事例の詳細や問題点を提示

②それに関連する職種（スーパーバイザー）が、テーマに沿った知識の提供

③ディスカッション

開催日とテーマ

第39回

令和6年5月20日

【アフターコロナの外来看護】

第40回

令和6年9月25日

【巨大地震発生 その時あなたはどのようにする？】

第41回

令和7年3月3日

【救急車で来院した患者の情報共有～患者家族が納得のいく診療を受けるために医療従事者が心がけること～】

(2) 院内研究発表会

院内研究発表会は、学術委員会が中心となり、平成19年から年2回開催しています。

第33回院内研究発表会（令和6年7月29日）

演題、発表者

演題1 Thomas Jefferson University 研修報告
事務部 医事課 金指新司

演題2 脂肪乳剤（イントラリポス）について
医療技術部 薬剤室 森田紗妃

演題3 協会クリニカルラダー導入の取り組み
看護部 5南病棟師長 築地美恵

演題4 内視鏡診療の新たな展開～AI内視鏡の世界～
診療部 消化器内科部長 川合耕治

第34回院内研究発表会（令和7年2月17日）

演題、発表者

演題1 COVID-19・インフルエンザ同時キットの検査方法と注意点～実際のケースを交えて～

医療技術部 臨床検査室 今田瑞希

演題2 伊東市民病院での分娩再開につきまして
診療部 産婦人科 吉永浩介

伊東市民病院年報

Vol. 20 令和六年度

発行所 伊東市民病院

〒414-0055 伊東市岡196-1

電話 0557(37)2626

FAX 0557(35)0631

編集発行 伊東市民病院 学術委員会

印刷所 東海印刷



公益社団法人 地域医療振興協会

伊東市民病院